

富山市障害福祉に関する アンケート調査報告書

令和8年3月

富山市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類と概要	1
3	回収状況	2
4	調査結果の表示方法	2
II	アンケート調査結果（障害のある市民）	3
1	回答者の基本属性	3
	（1）障害種別	3
	（2）年齢	4
	（3）性別	5
	（4）家族の人数	6
	（5）配偶者の有無	7
	（6）住まいについて	8
	（7）主な介助者	14
2	障害の状況について	17
	（1）障害の等級	17
	（2）差別や嫌な思いをしたことの有無	19
	（3）差別や嫌な思いをしたことの内容	21
3	就労状況や昼間の活動の場について	22
	（1）障害支援区分の状況	22
	（2）強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況	23
	（3）生活費の入手方法	24
	（4）就業状況	25
	（5）平日昼間の過ごし方	32
	（6）活動の場についての不満	33
	（7）学校・施設等に望むこと	33
4	就学等の状況や将来について	34
	（1）通園・通学の状況	34
	（2）通園・通学で困っていること	35
	（3）幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと	36
	（4）学校卒業後の希望	37

5	福祉サービスについて	38
	（1）障害福祉サービスの利用状況	38
	（2）障害福祉サービスの改善希望	39
	（3）手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望	40
	（4）同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望	41
6	外出について	42
	（1）過去1年間の外出の状況	42
	（2）よく利用する移動手段	44
	（3）外出するうえで困ること	45
7	災害時について	46
	（1）災害時に困ること	46
	（2）災害時に備え準備していること	47
	（3）避難行動要支援者支援制度の認知度	48
	（4）避難行動要支援者名簿に登録していない理由	49
8	医療について	50
	（1）医療で困っていること	50
	（2）精神科の初回診察時の年齢	51
	（3）病名	51
	（4）現在の治療状況	51
	（5）入院歴	52
9	相談先について	55
	（1）医療・福祉サービスや就労における相談先	55
10	障害に関する法律について	56
	（1）障害者差別解消法の認知度	56
	（2）改正障害者雇用促進法の認知度	57
11	成年後見制度について	58
	（1）成年後見制度の利用状況と利用希望	58
	（2）成年後見制度を利用しない理由	59
	（3）成年後見制度への関心、利用意向	59
12	情報入手などについて	60
	（1）障害福祉に関する情報の入手先	60
	（2）情報入手や意思疎通の際に困ること	61
13	福祉施策について	62
	（1）暮らしやすくするためにしてほしいこと	62

Ⅲ アンケート調査結果（障害のない市民）	63
1 回答者の基本属性	63
(1) 年齢	63
(2) 性別	63
2 お住まいの地域について	64
(1) 居住年数	64
(2) 住民同士の交流機会	64
(3) 助け合いをする場合の地域の範囲	64
(4) 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと	65
(5) 特に必要と思うことはない理由	66
3 障害への理解について	67
(1) 障害種別の認知度	67
(2) 「共生社会」の認知度	67
(3) 障害者差別解消法の認知度	68
(4) 改正障害者雇用促進法の認知度	68
(5) 障害を理由とした差別への遭遇	69
(6) 遭遇した差別の内容	69
(7) 障害に対する理解の浸透度	70
(8) 障害に対する理解を深めるために必要な取組	71
4 障害のある方との関わりについて	72
(1) 周囲における障害者の有無	72
(2) 障害者への手助けについて	72
(3) 自分や家族が障害のある状態になる可能性の認識	74
(4) 街中で障害者に出会った時の対応	74
(5) 近所で障害のために困っている世帯への対応	75
5 障害のある方の社会参加について	76
(1) 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況	76
(2) 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること	77
(3) 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと	78
6 障害のある方の地域生活について	79
(1) 住みやすさについて	79
(2) 障害のある方の地域移行について	80
7 ボランティアについて	82
(1) ボランティアの関心度	82
(2) ボランティア活動への参加の有無	82

(3) 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向.....	82
(4) 障害のある方に関わるボランティアを活発化するために必要なこと.....	84
8 障害のある方の権利擁護について.....	85
(1) 成年後見制度の認知度.....	85
(2) 障害者虐待についての通報義務の認知度.....	85
IV 自由記載意見.....	86
1 自由記載意見.....	86
(1) 受けた差別や嫌な思いの具体的な内容（その他の意見）.....	86
(2) 障害者施策に関するご意見・要望等.....	94
V 資料編.....	113
1 アンケート調査票（障害のある市民-身体障害）.....	113
2 アンケート調査票（障害のある市民-知的障害）.....	119
3 アンケート調査票（障害のある市民-精神障害）.....	125
4 アンケート調査票（障害のある市民-障害児）.....	131
5 アンケート調査票（障害のない市民）.....	137

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市にお住まいの障害のある市民及び障害のない市民の方に「第5次富山市障害者計画」及び「第8期富山市障害福祉計画・第4期障害児福祉計画」策定の基礎資料とすることを目的に、現在の生活状況や意見・要望等をお聞きするために実施しました。

2 調査の種類と概要

調査の種類と概要は以下のとおりです。

■ 調査の種類と概要

①調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（身体障害者手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する身体障害者手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	3,000人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	身体障害者手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
②調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（療育手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する療育手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	療育手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
③調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（精神障害者保健福祉手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する精神障害者保健福祉手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	精神障害者保健福祉手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
④調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害児）」	
調査対象者	本市に居住する身体障害者手帳及び療育手帳保持者（満18歳未満の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	身体障害者手帳及び療育手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
⑤調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害のない市民）」	
調査対象者	本市に居住する障害のない市民（満18歳以上の者）
調査票配布数	1,000人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	本市に居住する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収

3 回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布・回収状況

調査票区分	配布数	回収数	回収率
①「富山市障害福祉に関するアンケート調査（身体障害者手帳保持者）」	3,000人	1,767人	58.9%
②「富山市障害福祉に関するアンケート調査（療育手帳保持者）」	500人	265人	53.0%
③「富山市障害福祉に関するアンケート調査（精神障害者保健福祉手帳保持者）」	500人	248人	49.6%
④「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害児）」	500人	292人	58.4%
⑤「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害のない市民）」	1,000人	454人	45.4%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

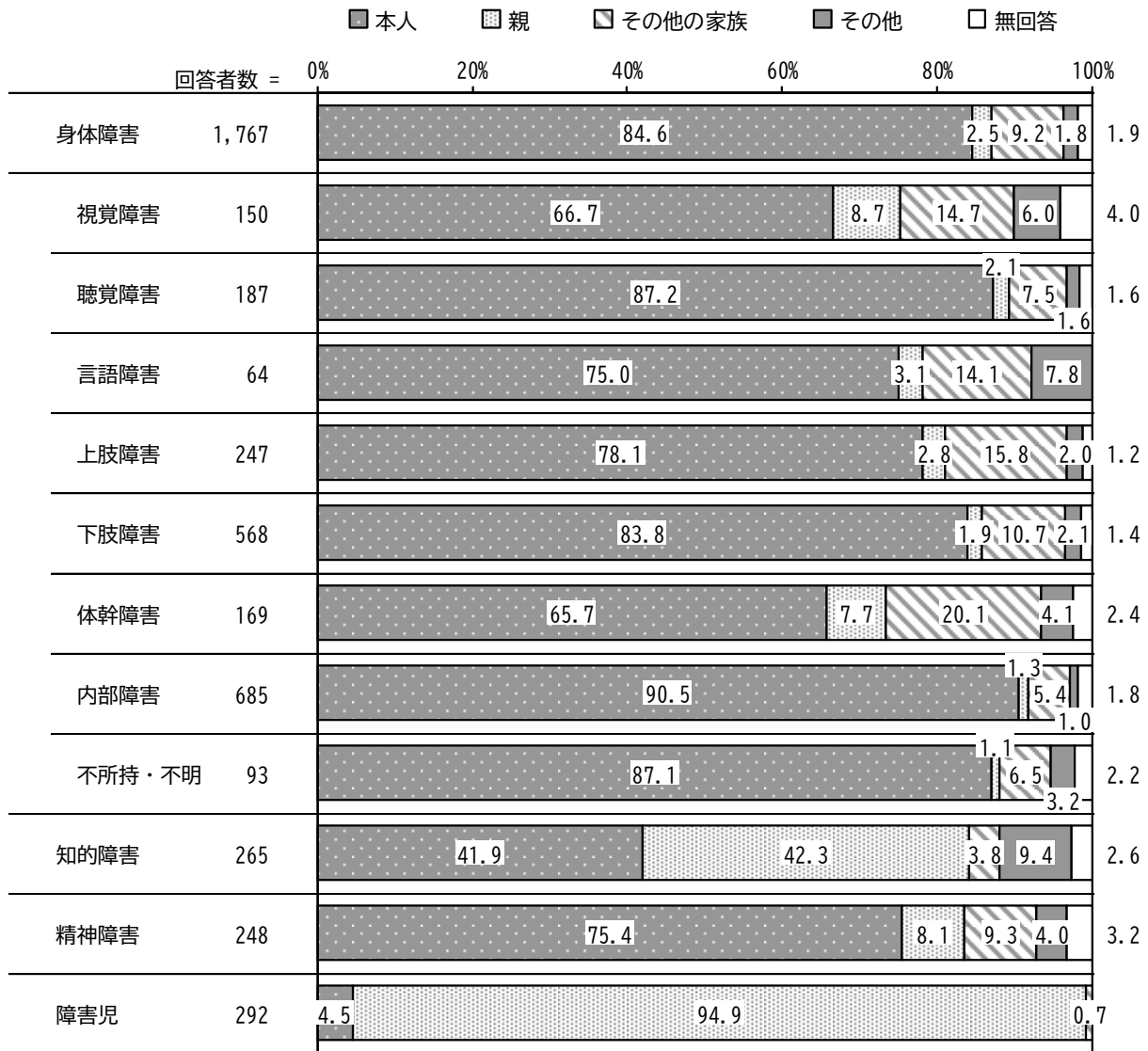
Ⅱ アンケート調査結果（障害のある市民）

1 回答者の基本属性

（1）障害種別

回答者の障害種別は以下のとおりです。

■ 障害種別[単数回答]

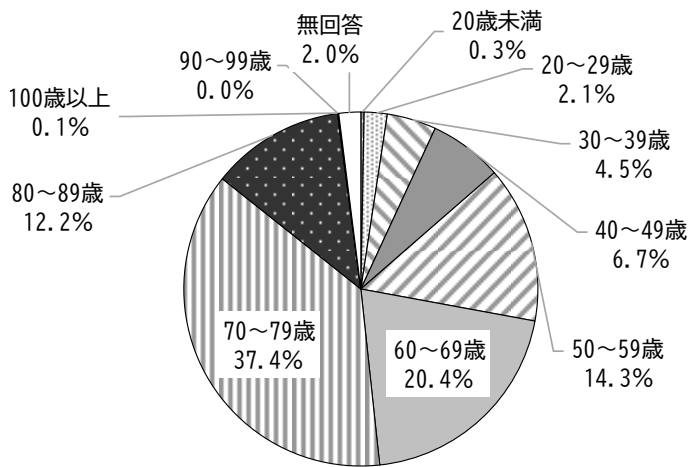


※「言語障害」は音声機能・そしゃく機能障害も含まれています。以降も同じ意味で用いています。

(2) 年齢

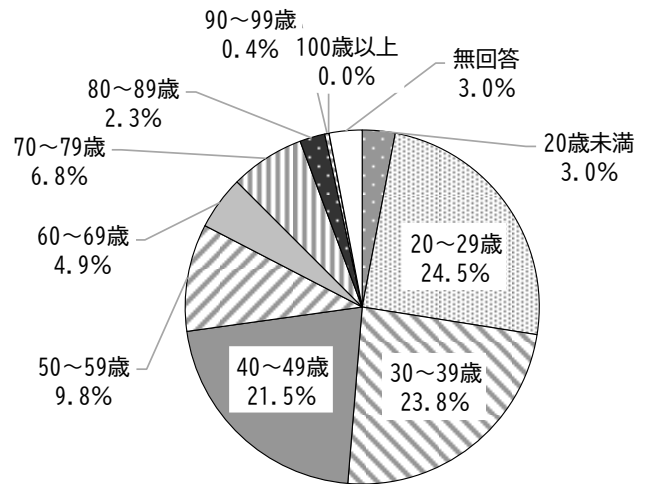
回答者の年齢は以下のとおりです。

■ 年齢（身体障害）[単数回答]



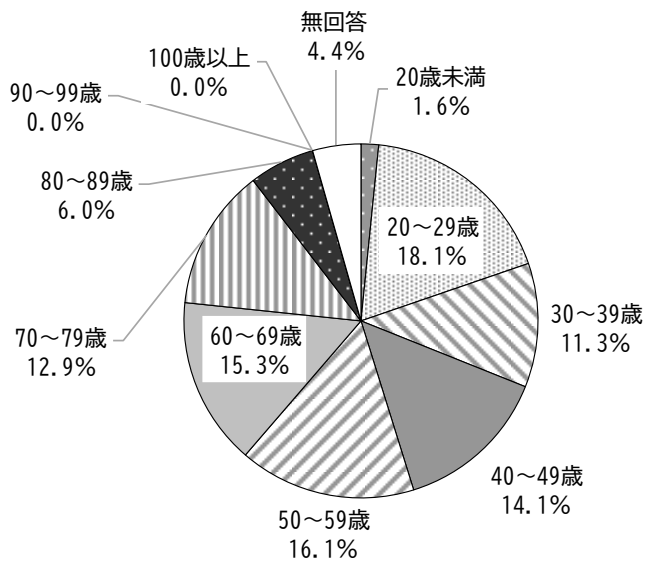
回答者数 = 1,767

■ 年齢（知的障害）[単数回答]



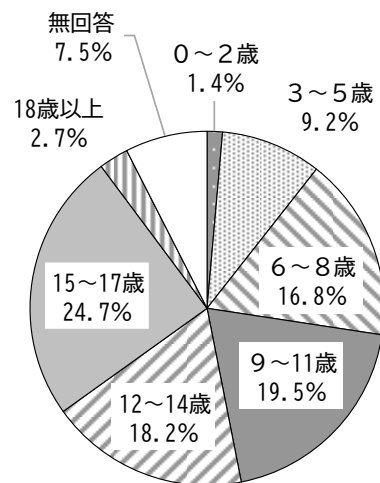
回答者数 = 265

■ 年齢（精神障害）[単数回答]



回答者数 = 248

■ 年齢（障害児）[単数回答]

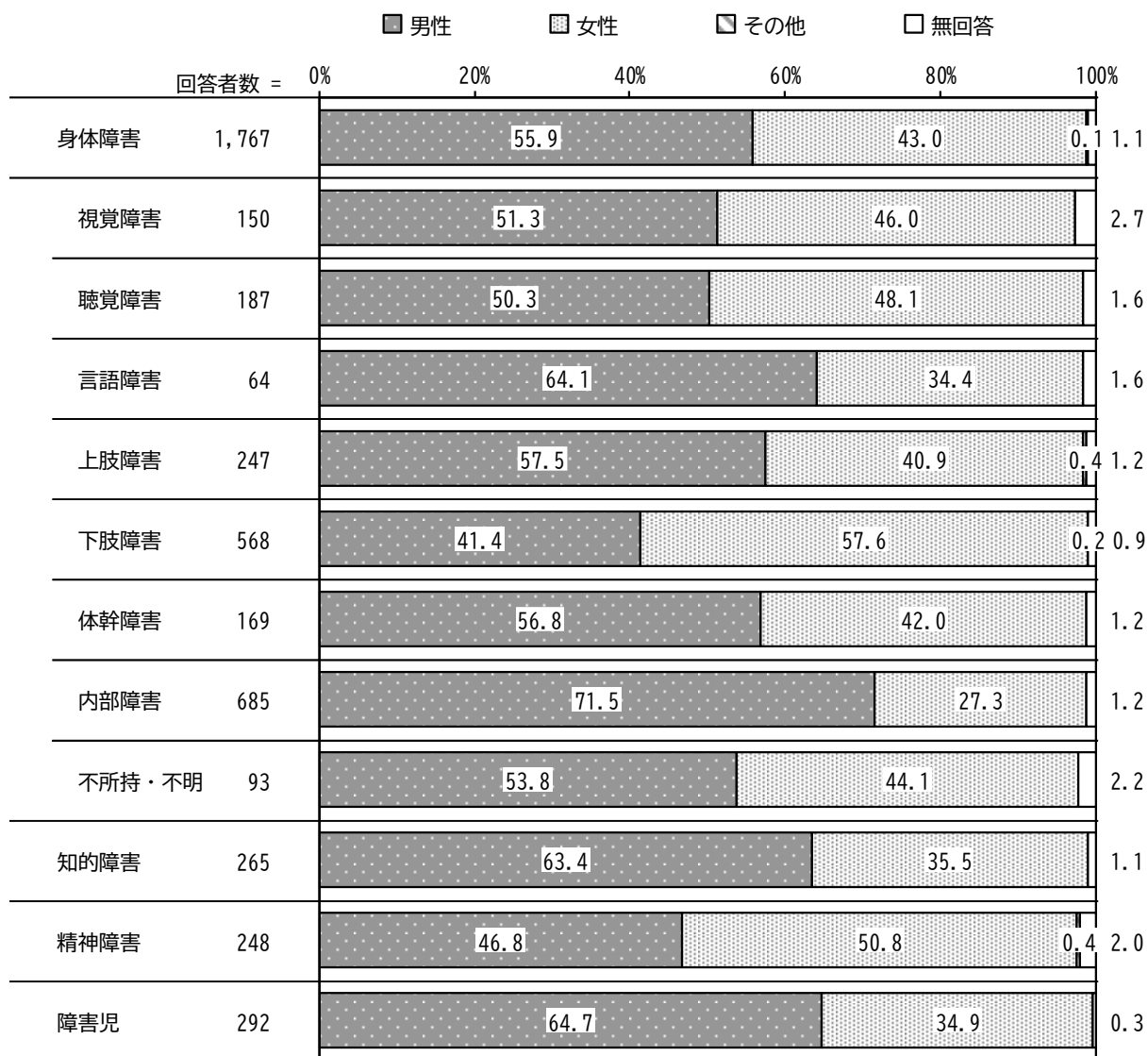


回答者数 = 292

(3) 性別

回答者の性別は以下のとおりです。

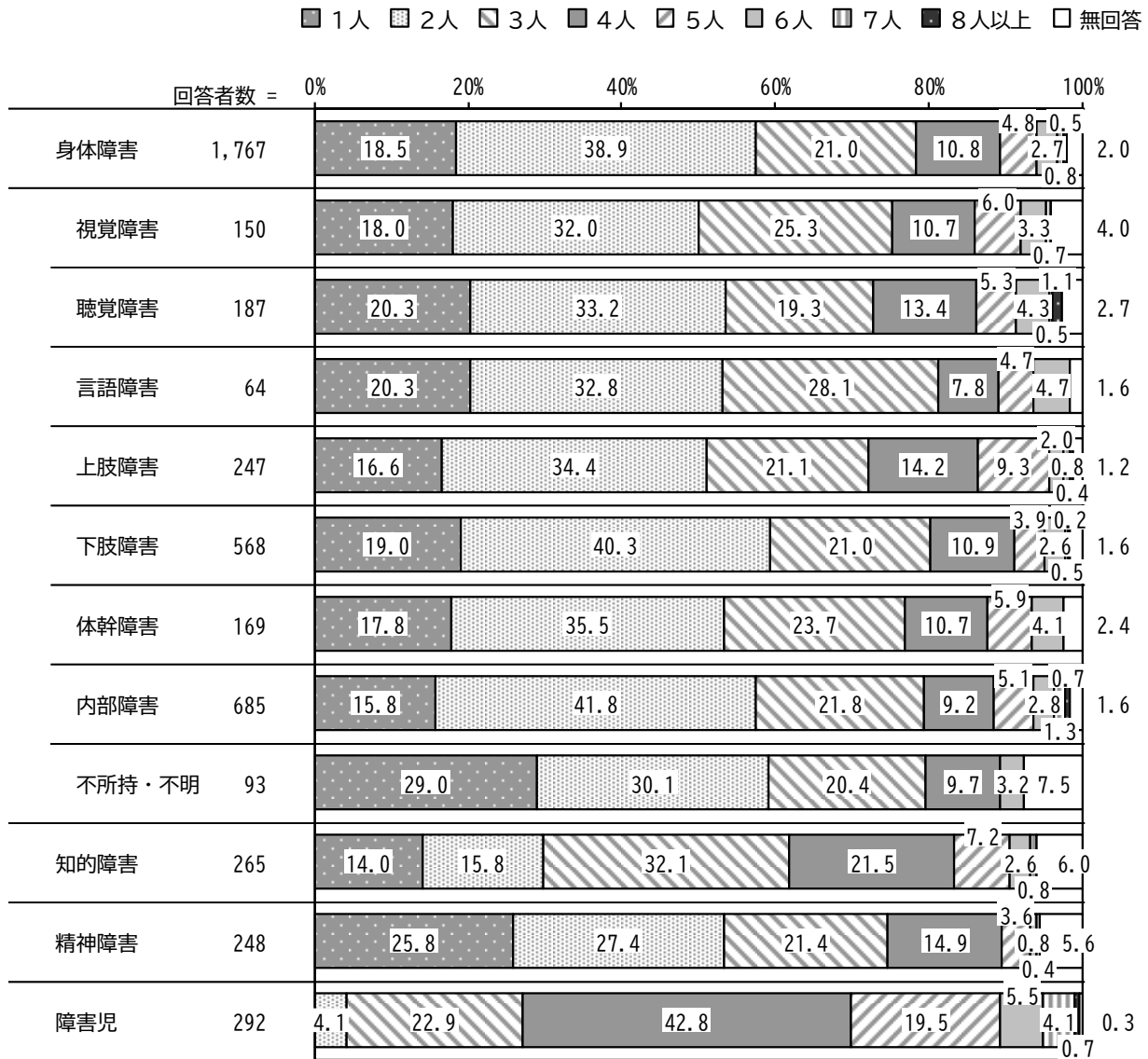
■ 性別[単数回答]



(4) 家族の人数

家族の人数をみると、身体障害、精神障害で「2人」、知的障害で「3人」、障害児で「4人」の割合が高くなっています。また、精神障害は、他の障害と比較して「1人」の割合が高くなっています。

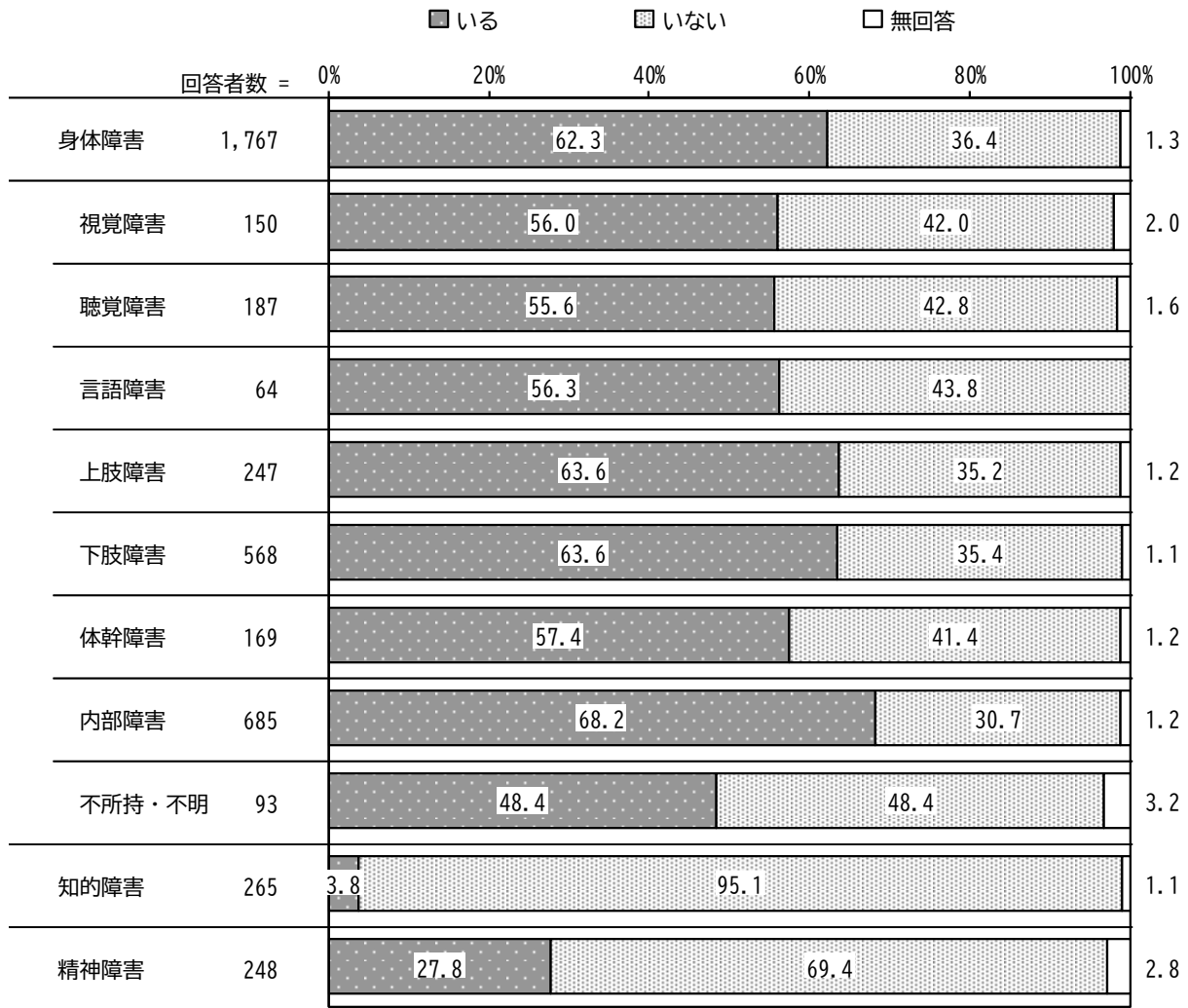
■ 家族の人数[単数回答]



(5) 配偶者の有無

配偶者の有無をみると、身体障害は約6割、精神障害は約3割程度が「いる」と回答しています。

■ 配偶者の有無[単数回答]

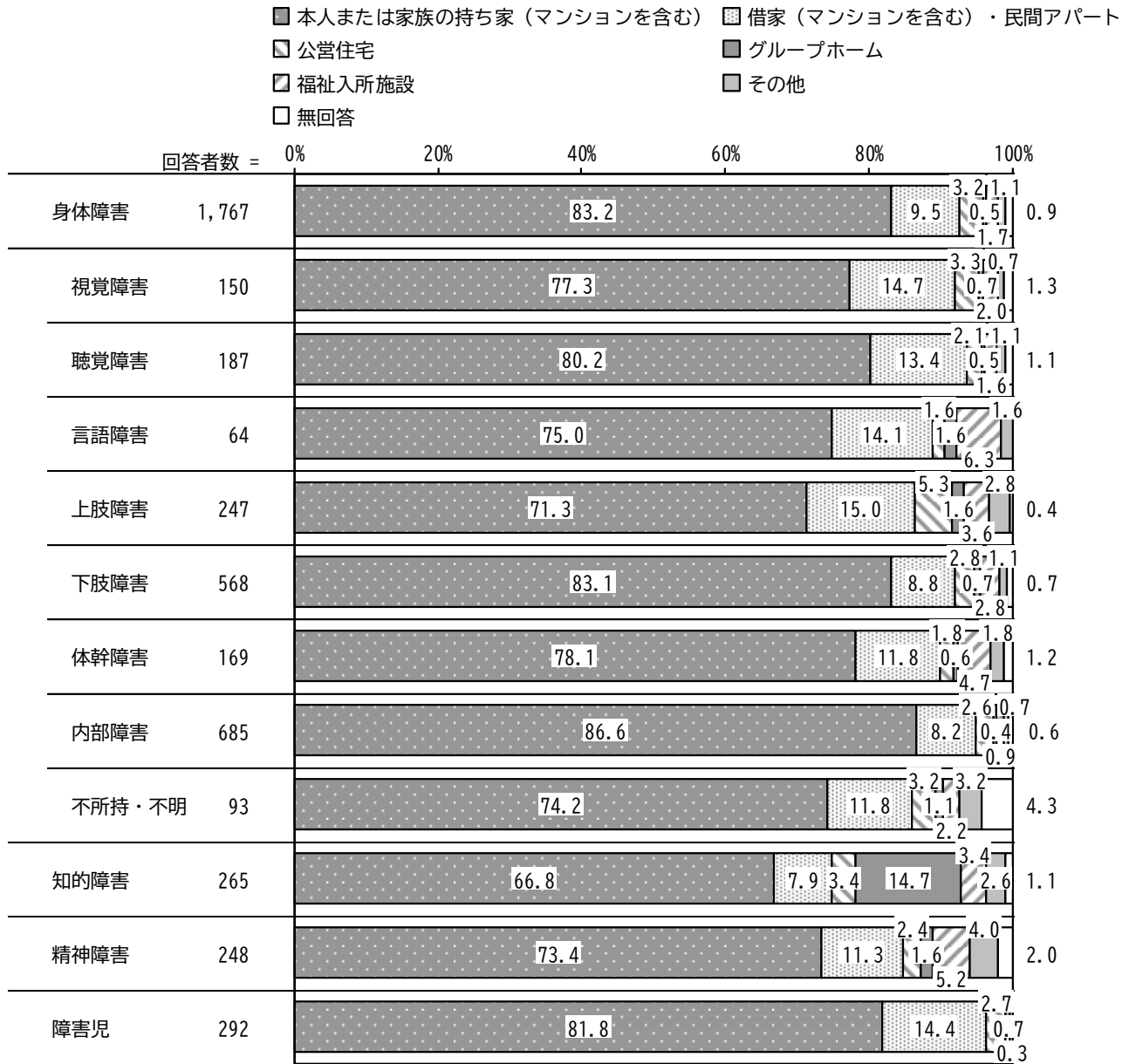


(6) 住まいについて

① 現在の住まい

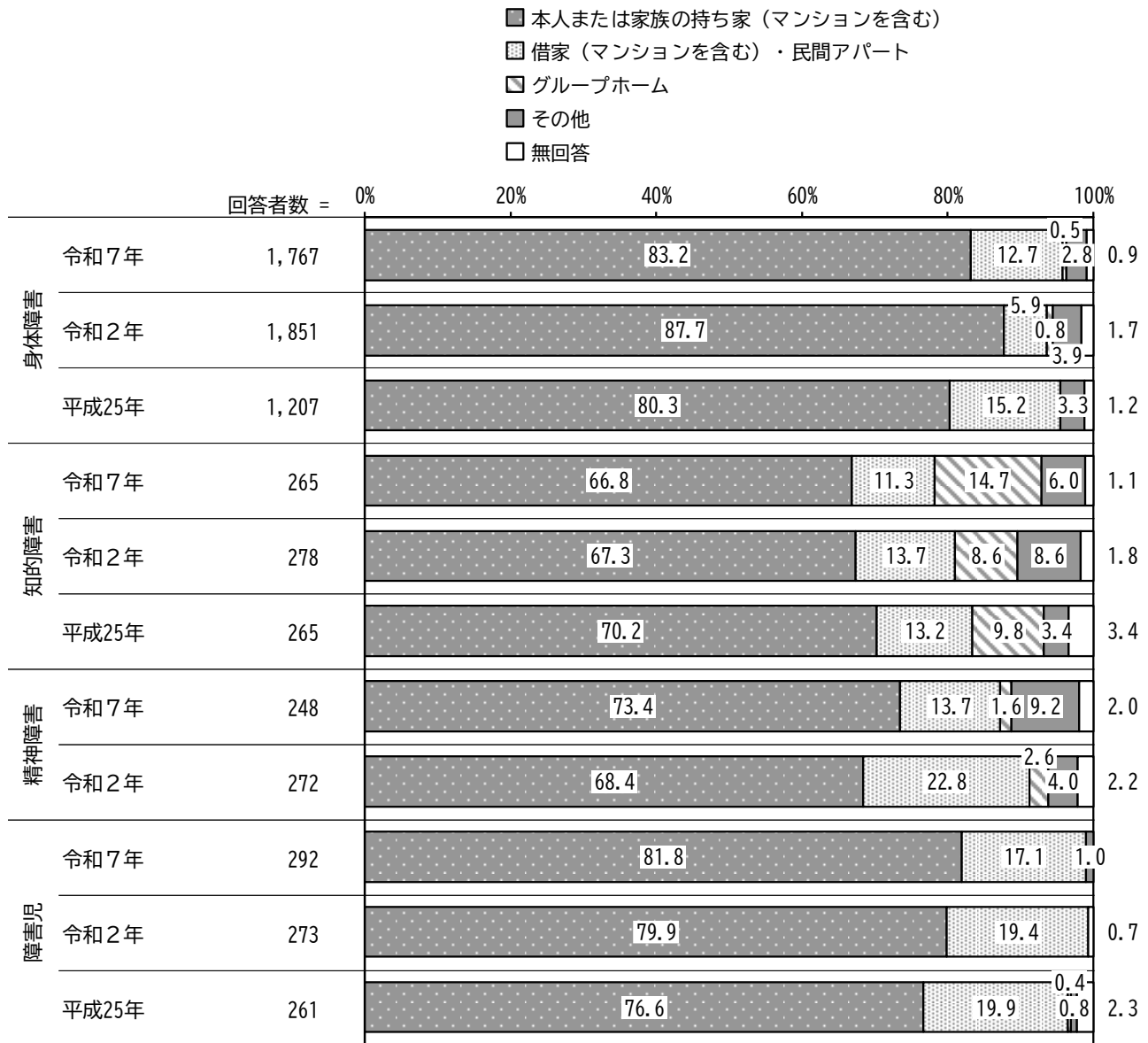
現在の住まいをみると、すべての障害で「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」が最も多くなっています。また、知的障害は、他の障害と比較して「グループホーム」の割合が高くなっています。

■ 現在の住まい[単数回答]



現在の住まいの経年比較をみると、身体障害は「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」が減少し「借家（マンションを含む）・民間アパート」が増加、知的障害は、「グループホーム」が増加、精神障害は「借家（マンションを含む）・民間アパート」が減少し「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」が増加しています。障害児は、年々「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」が増加し「借家（マンションを含む）・民間アパート」が減少しています。

■ 現在の住まい[単数回答]（経年比較）

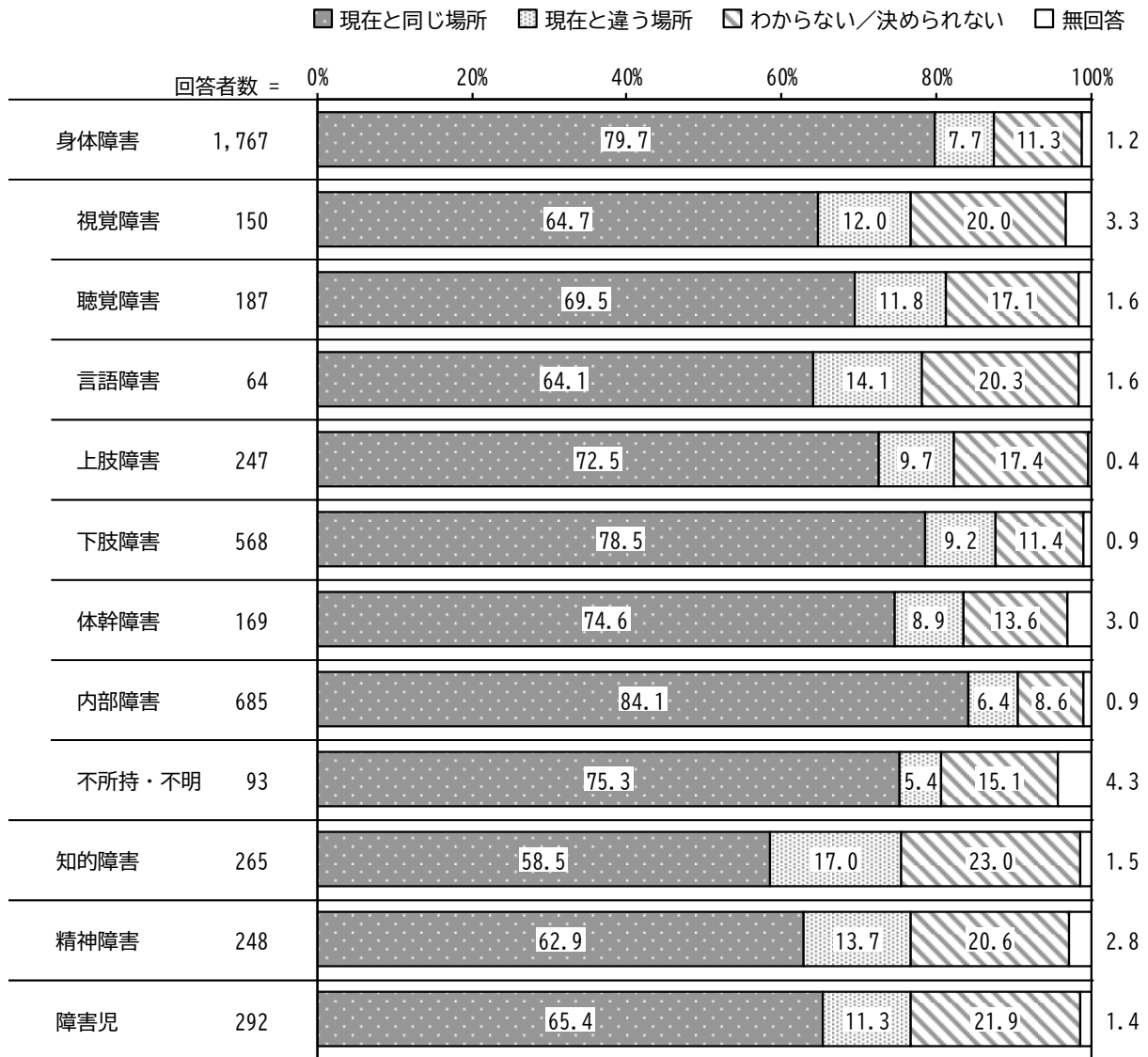


※「借家」には、「公営住宅」、「その他」には「福祉入所施設」を含めてあります。
 ※精神障害の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

② 住まいの希望

住まいの希望をみると、すべての障害で「現在と同じ場所」が最も多くなっており、知的障害や精神障害は、他の障害と比較して「現在と違う場所」の割合が高くなっています。

■ 住まいの希望[単数回答]



③ 住まいの希望（現在以外の具体的な場所）

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の具体的な場所をみると、身体障害、障害児で「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」、知的障害で「グループホーム」、「福祉入所施設」、精神障害で「借家（マンションを含む）・民間アパート」の割合が高くなっています。

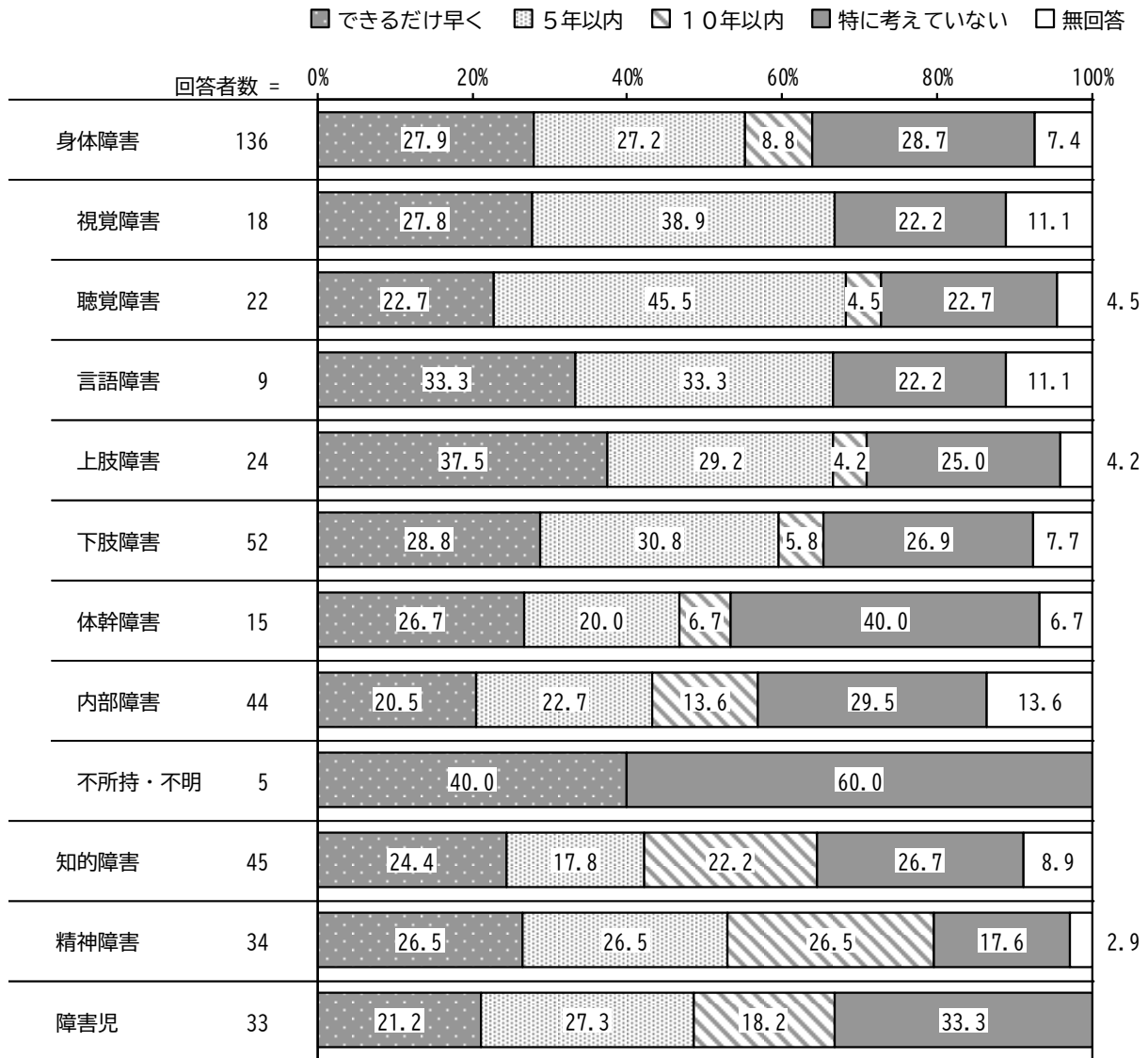
■ 住まいの希望（現在以外の具体的な場所）[単数回答]



④ 希望の住まいへの移行時期

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の希望の住まいへの移行時期をみると、身体障害と精神障害で「できるだけ早く」と「5年以内」を合わせて5割以上となっています。

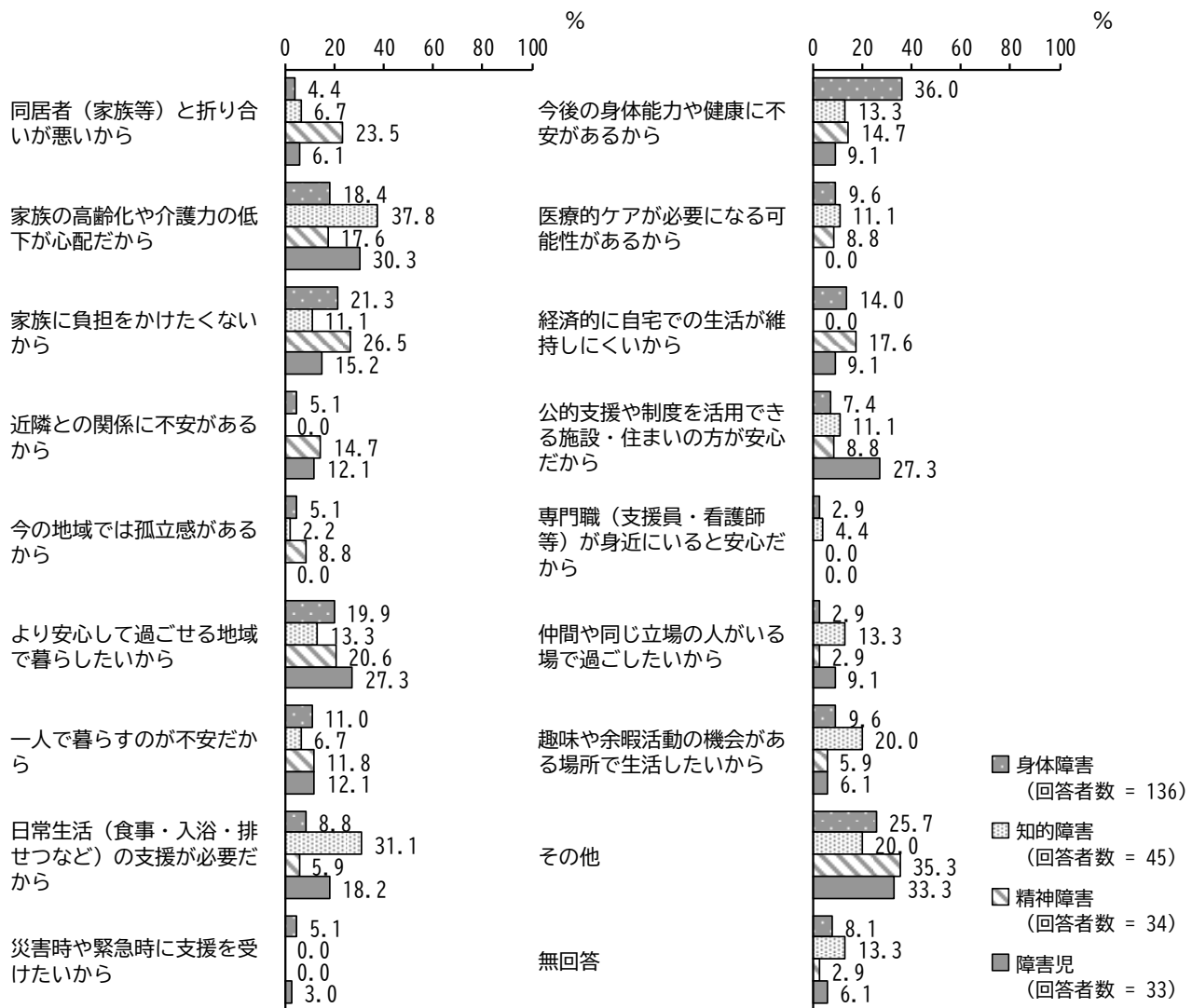
■ 希望の住まいへの移行時期[単数回答]



⑤ 現在と違う場所で生活したい理由

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の違う場所で生活したい理由をみると、身体障害で「今後の身体能力や健康に不安があるから」、知的障害で「家族の高齢化や介護力の低下が心配だから」「日常生活（食事・入浴・排せつなど）の支援が必要だから」、精神障害で「同居者（家族等）と折り合いが悪いから」「家族に負担をかけたくないから」、障害児で「家族の高齢化や介護力の低下が心配だから」「より安心して過ごせる地域で暮らしたいから」「公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから」の割合が高くなっています。

■ 現在と違う場所で生活したい理由[複数回答]

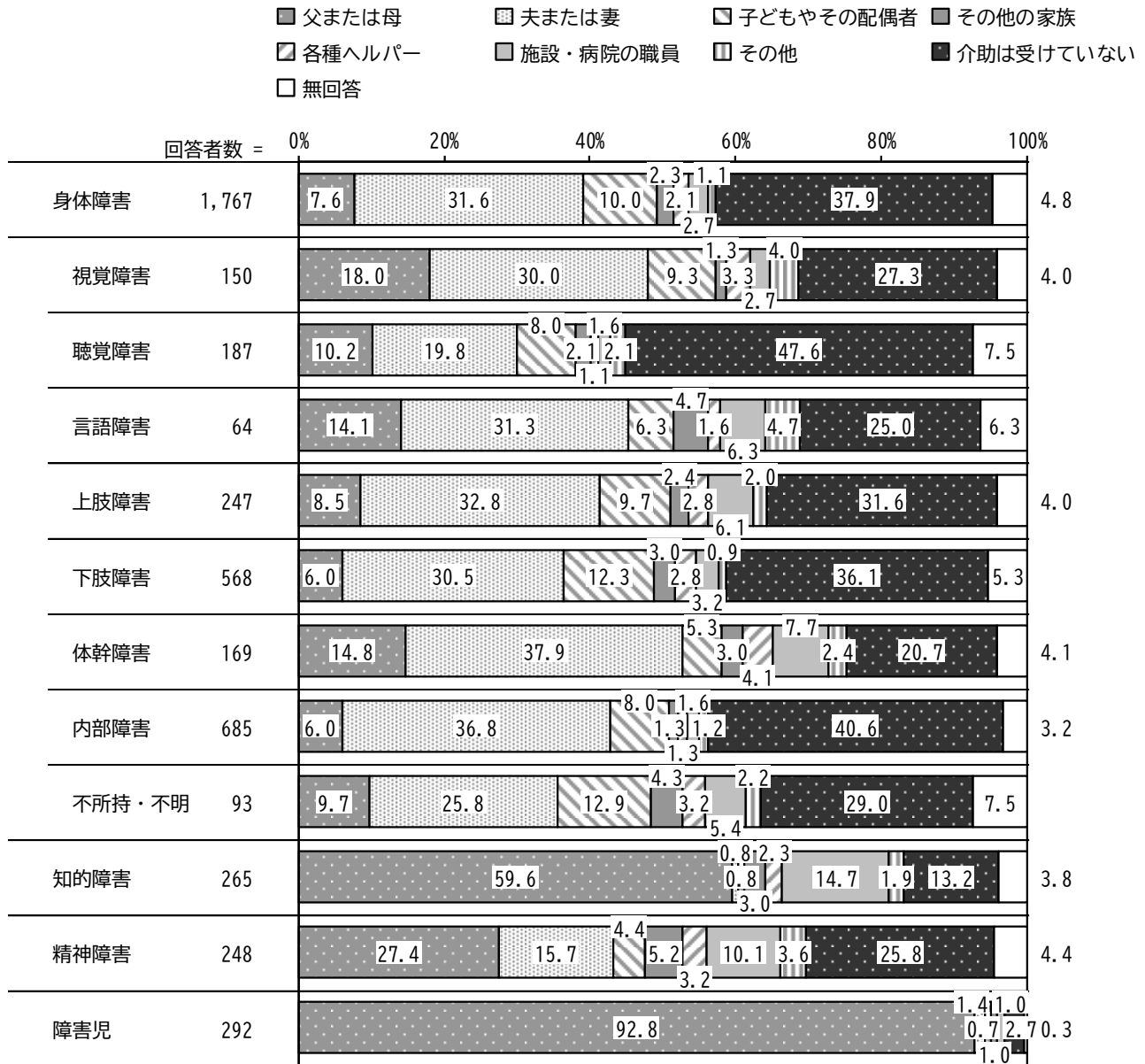


(7) 主な介助者

①主な介助者

主な介助者をみると、身体障害で「夫または妻」、知的障害、精神障害、障害児で「父または母」の割合が高くなっています。

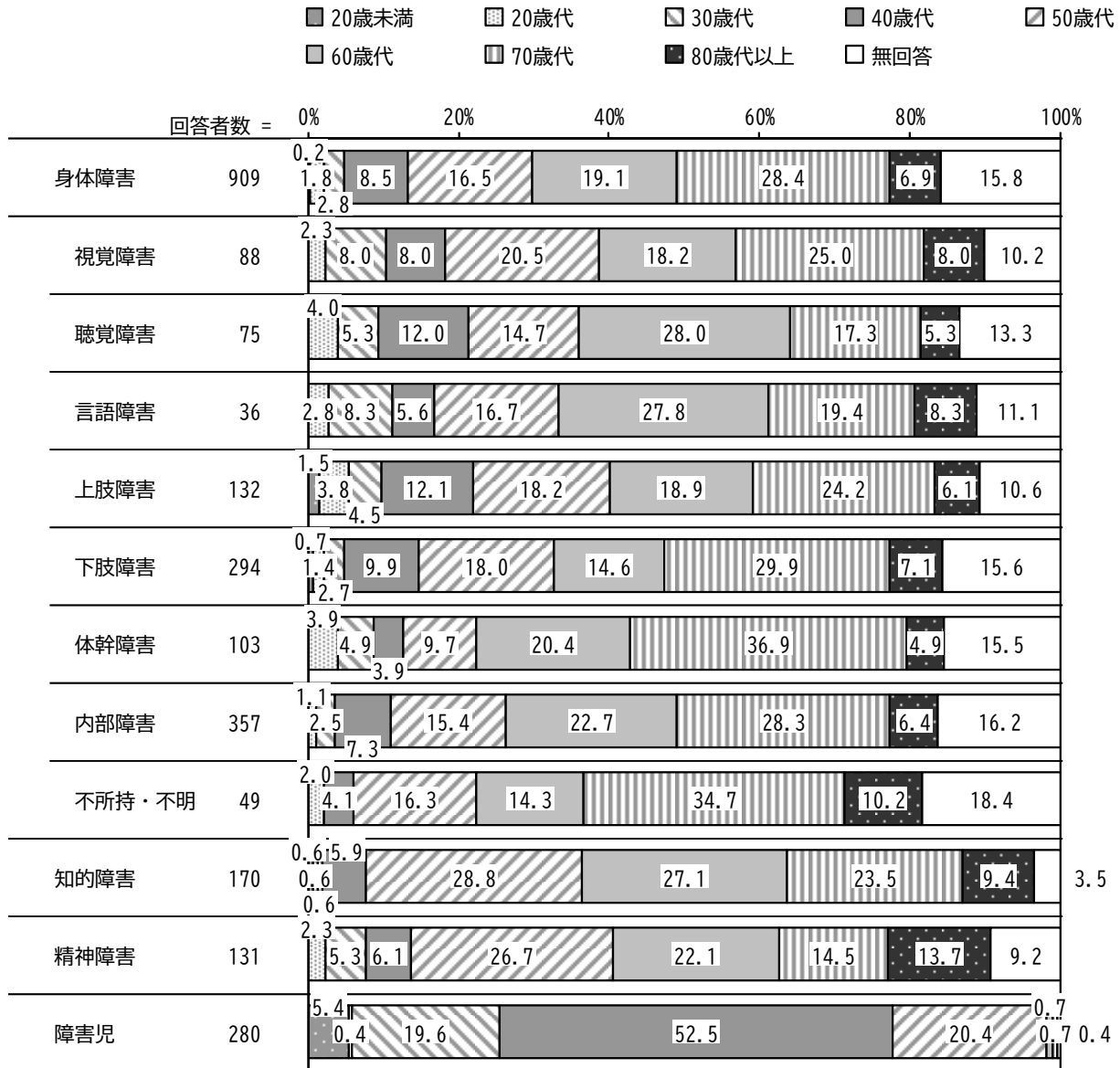
■ 主な介助者[単数回答]



② 主な介助者の年齢

主な介助者の年齢をみると、身体障害で「70 歳代」、知的障害で「50 歳代」「60 歳代」、精神障害で「50 歳代」、障害児で「40 歳代」の割合が高くなっています。

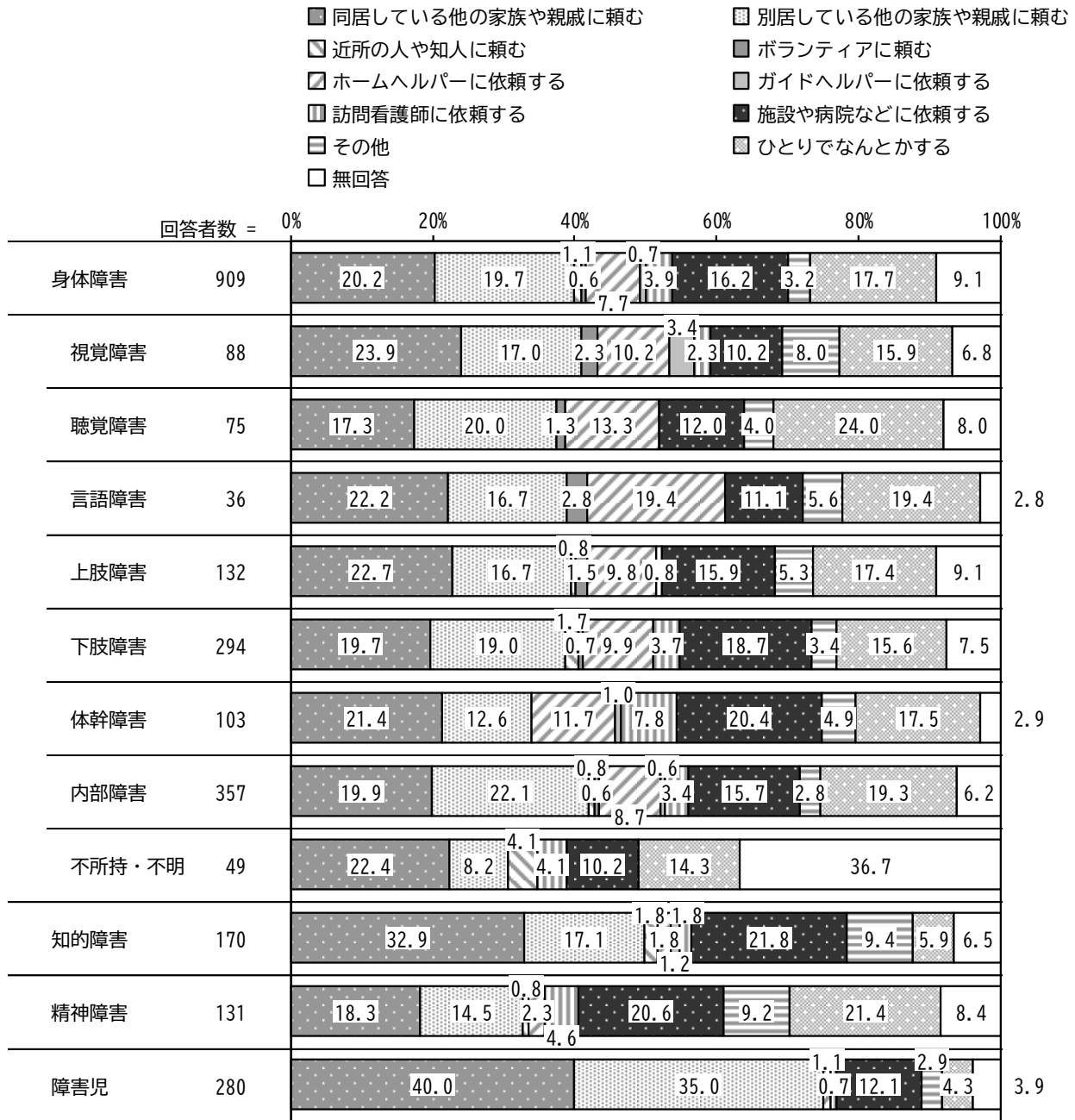
■ 主な介助者の年齢[単数回答]



③ 家族以外の介助者（家族から介助を受けられない場合）

主な介助者が家族であると回答した方で、家族から介助を受けられない場合の介助者をみると、身体障害、障害児で「同居している他の家族や親戚に頼む」「別居している他の家族や親戚に頼む」、知的障害で「同居している他の家族や親戚に頼む」「施設や病院などに依頼する」、精神障害で「施設や病院などに依頼する」「ひとりでなんとかする」の割合が高くなっています。

■ 家族以外の介助者（家族から介助を受けられない場合）[単数回答]



2 障害の状況について

(1) 障害の等級

障害者手帳別の障害の等級は以下のとおりです。

■ 障害の等級[単数回答] (身体障害・18歳以上)

区 分	回答数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	持っていない	無回答
身体障害	1767	20.9	13.3	27.0	26.5	3.6	6.5	0.2	1.8	0.2
視覚障害	150	16.0	28.7	10.0	5.3	9.3	4.7	-	26.0	0.0
聴覚障害	187	-	16.6	8.0	15.5	-	36.4	-	23.0	0.5
音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	64	-	-	18.8	12.5	-	-	-	68.8	0.0
肢体不自由(上肢)	247	10.9	27.1	19.0	17.0	4.0	6.9	3.2	11.3	0.4
肢体不自由(下肢)	568	6.9	11.4	24.1	42.4	4.9	4.8	1.1	3.9	0.5
肢体不自由(体幹)	169	24.9	24.9	13.6	6.5	8.3	1.8	-	18.9	1.2
内部障害	685	36.1	1.6	36.4	21.8	0.1	-	-	4.1	0.0
持っていない・わからない	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	167	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※複数の障害・等級を持つ人や持っていない人や無回答がいるため、合計が100%にならない場合があります。

■ 障害の等級[単数回答] (知的障害・18歳以上)

	回答数	A	B	無回答
知的障害	265	30.2	66.8	3.0

■ 障害の等級[単数回答] (精神障害)

	回答数	1級	2級	3級	無回答
精神障害	248	6.9	58.5	29.8	4.8

■ 障害の等級[単数回答] (身体障害・障害児)

区 分	回答数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	持っていない	無回答
身体障害	292	15.4	5.5	3.8	1.7	0.0	0.3	-	8.9	0.0
視覚障害	12	0.0	8.3	-	8.3	-	-	-	83.3	0.0
聴覚障害	22	-	22.7	9.1	9.1	-	9.1	-	50.0	0.0
音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	9	-	-	0.0	0.0	-	-	-	100.0	0.0
肢体不自由(上肢)	23	21.7	26.1	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	39.1	0.0
肢体不自由(下肢)	28	32.1	25.0	0.0	7.1	0.0	3.6	0.0	32.1	0.0
肢体不自由(体幹)	38	57.9	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-	26.3	0.0
内部障害	28	32.1	3.6	25.0	3.6	0.0	-	-	35.7	0.0
持っていない・わからない	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	188	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※複数の障害・等級を持つ人や持っていない人や無回答がいるため、合計が100%にならない場合があります。

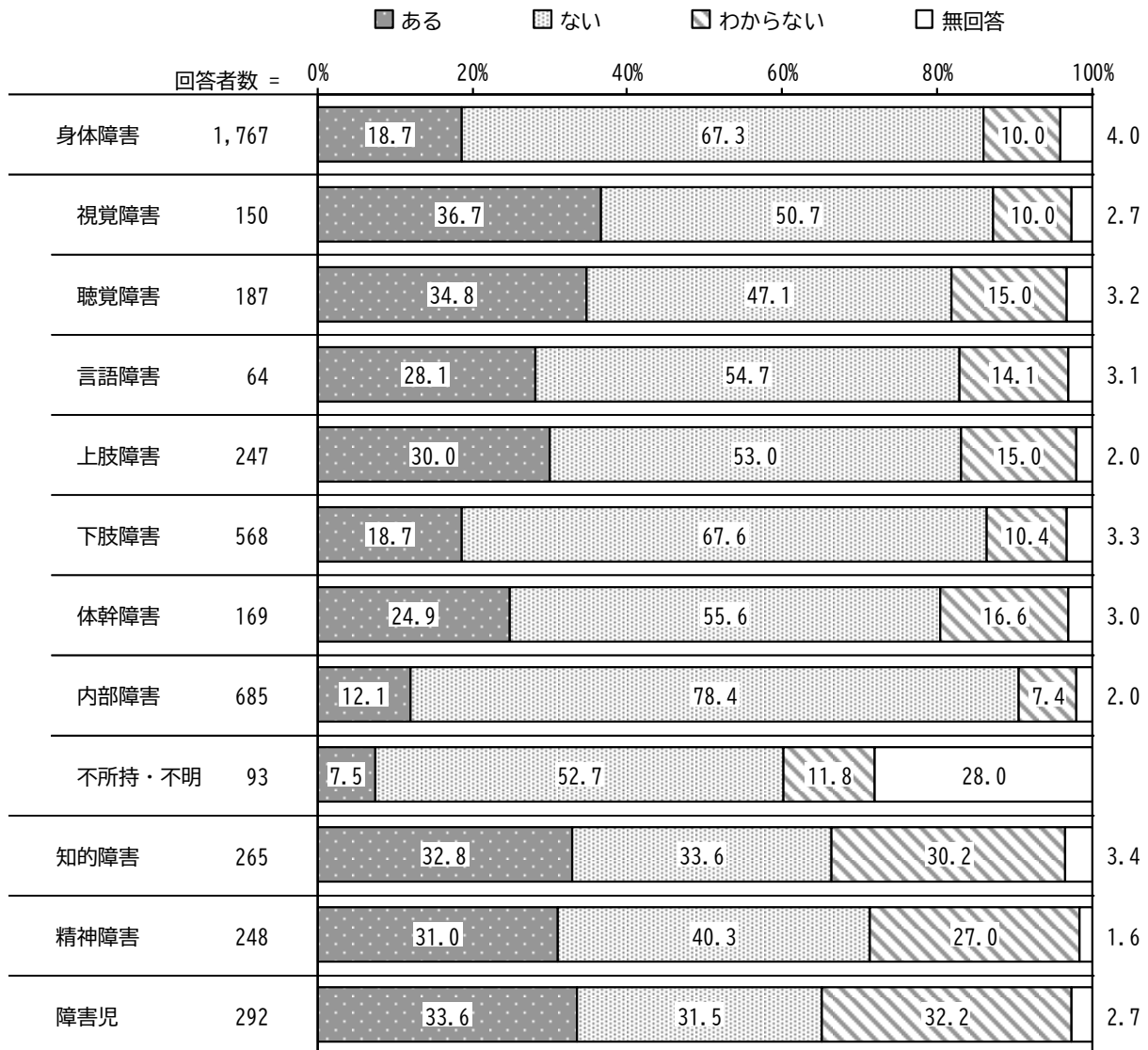
■ 障害の等級[単数回答] (知的障害・障害児)

	回答数	A	B	無回答
知的障害	292	24.0	56.8	19.2

(2) 差別や嫌な思いをしたことの有無

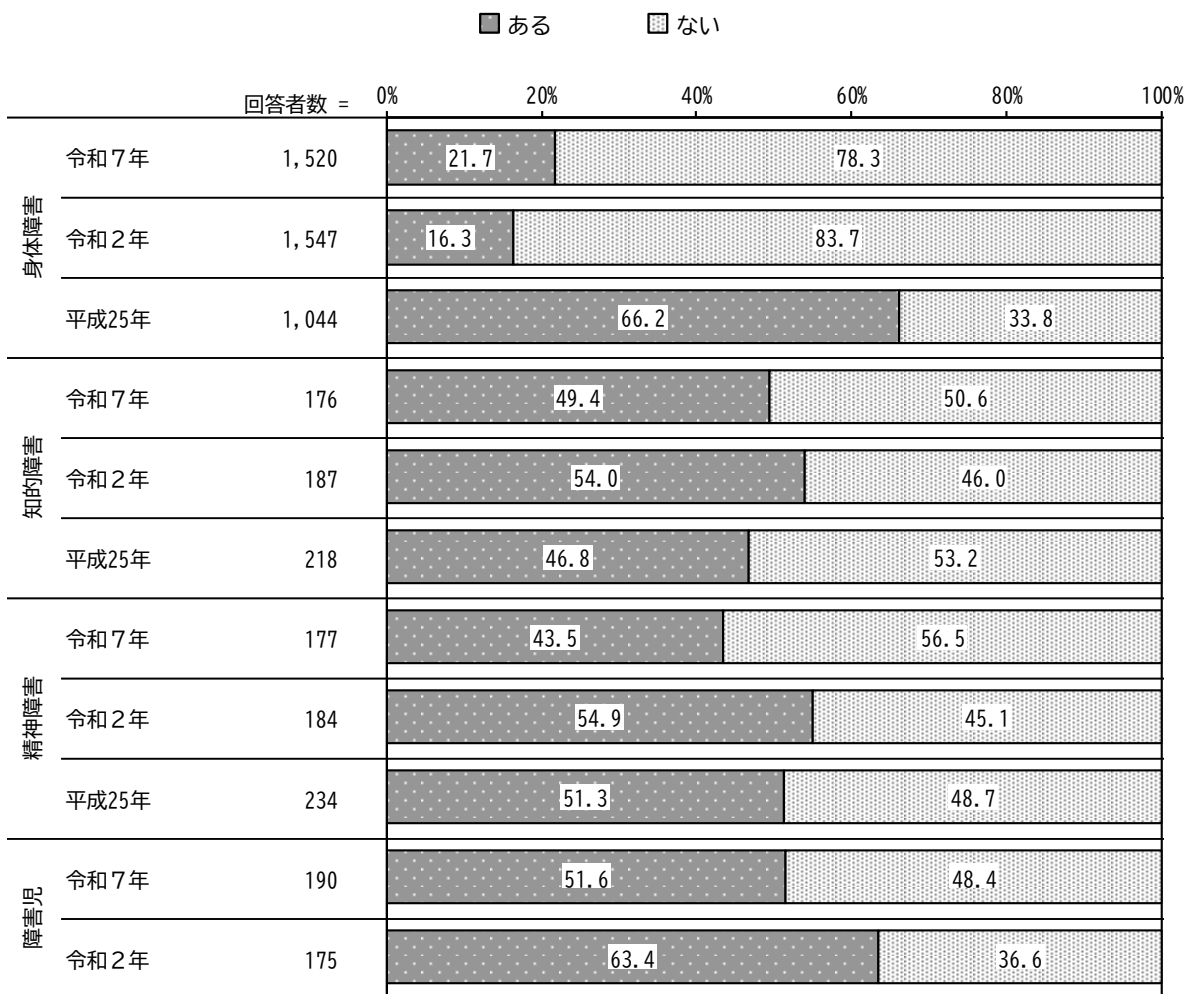
差別や嫌な思いをしたことの有無をみると、身体障害と比較して、知的障害、精神障害、障害児で「ある」の割合が高くなっています。また、身体障害の中でも、視覚障害、聴覚障害は「ある」の割合が高くなっています。

■ 差別や嫌な思いをしたことの有無[単数回答]



差別や嫌な思いをしたことの有無の経年比較をみると、身体障害は「ある」が増加し、知的障害、精神障害、障害児は「ある」が減少しています。

■ 差別や嫌な思いをしたことの有無[単数回答]（経年比較）

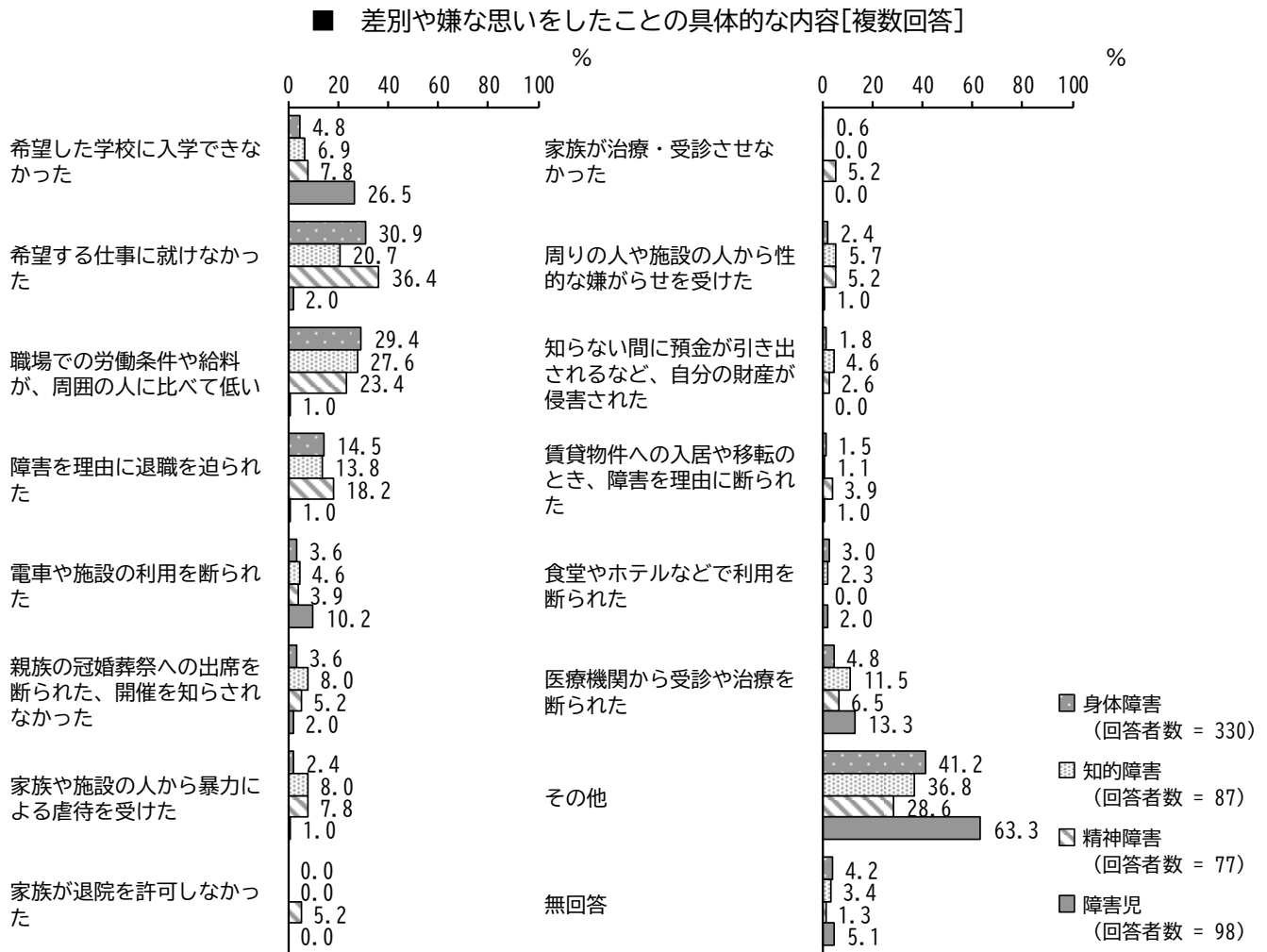


※わからない、無回答を除いて計算しています。

※障害児の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

(3) 差別や嫌な思いをしたことの内容

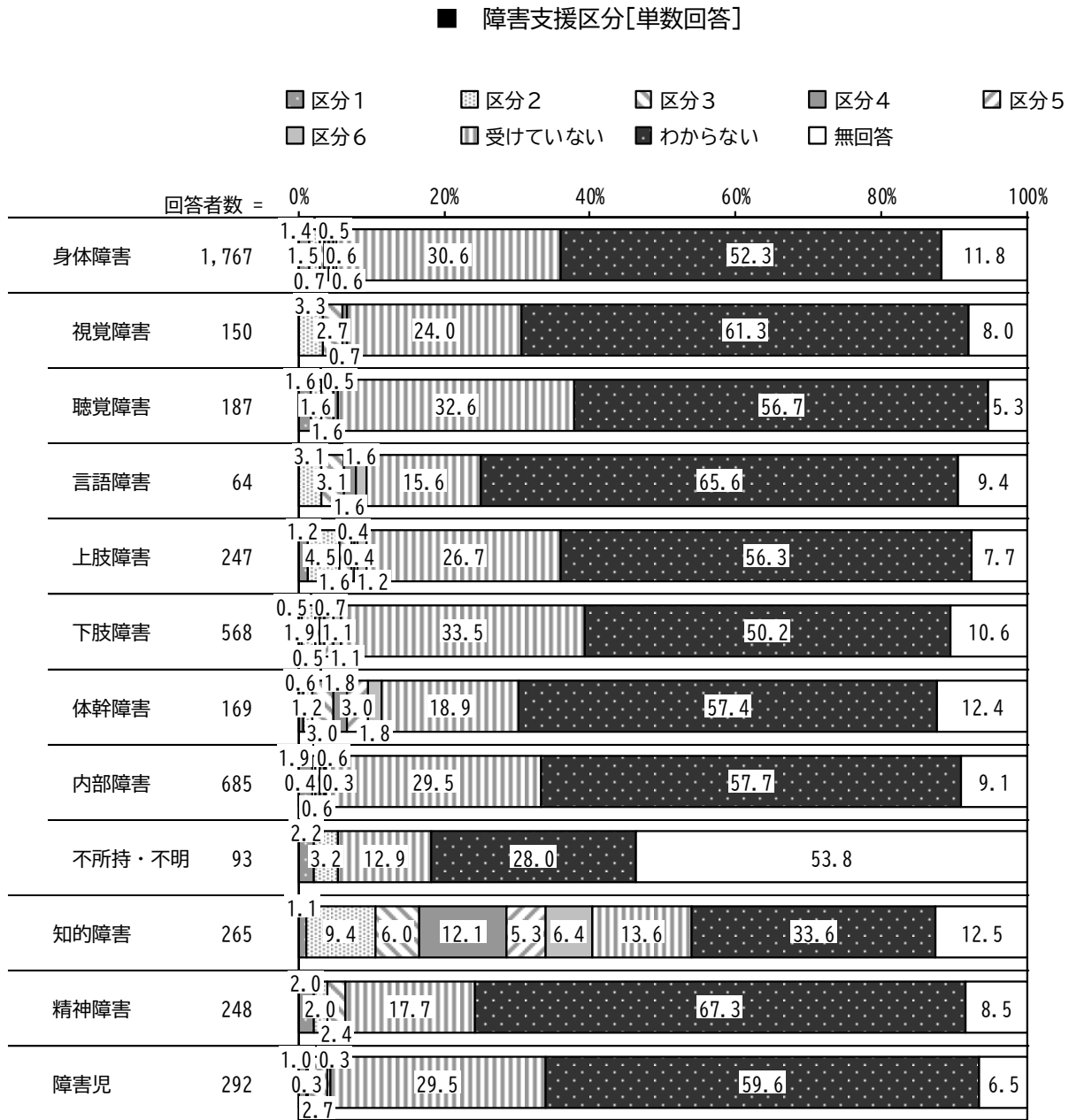
差別や嫌な思いをしたことがあると回答した方の具体的な内容をみると、障害児を除いたすべての障害で「希望する仕事に就けなかった」「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」の割合が高くなっています。また、障害児では「希望した学校に入学できなかった」の割合が高くなっています。



3 就労状況や昼間の活動の場について

(1) 障害支援区分の状況

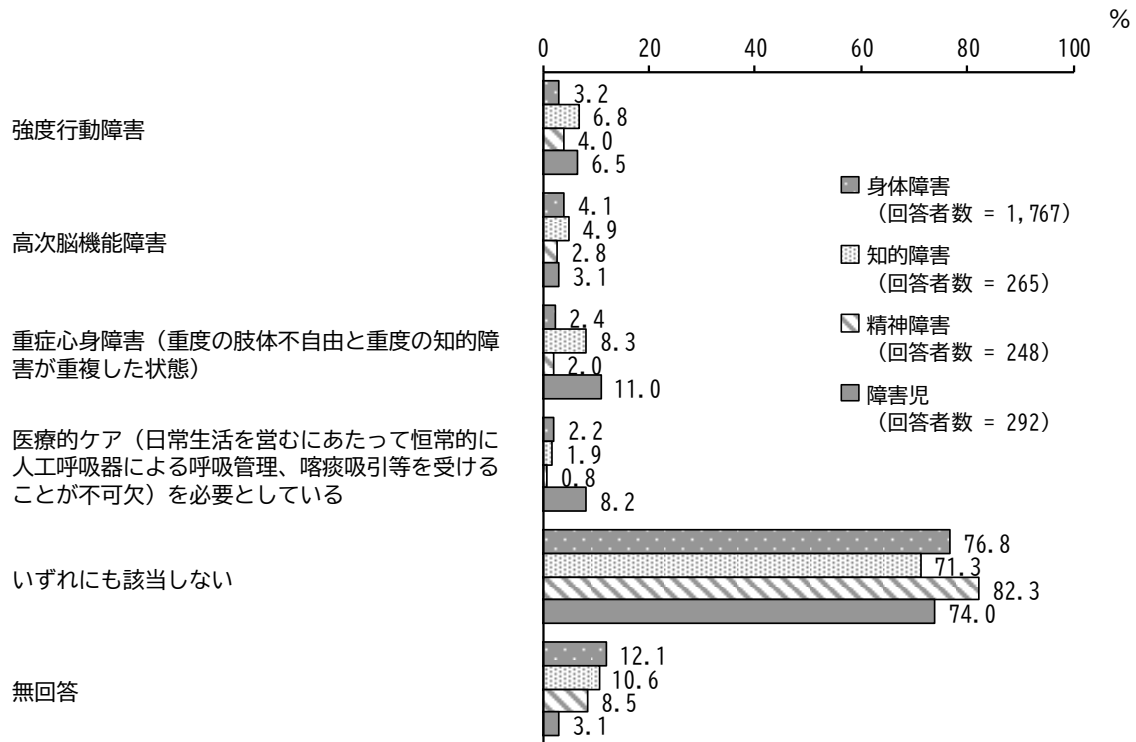
障害支援区分の認定状況をみると、「わからない」が多いものの、身体障害、精神障害、障害児では1割未満、知的障害は約4割程度が認定を受けていると回答しています。



(2) 強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況

強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況をみると、「いずれにも該当しない」が多いものの、知的障害、障害児で「重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態）」の割合が高くなっています。

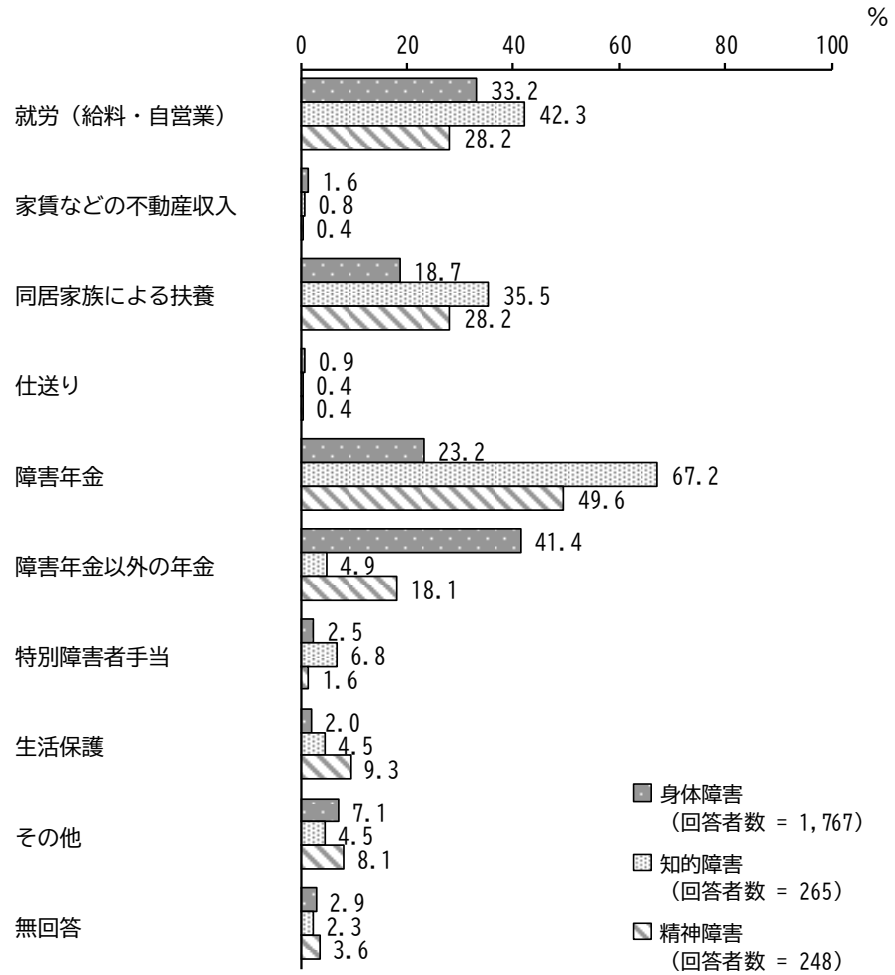
■ 強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況[複数回答]



(3) 生活費の入手方法

生活費の入手方法をみると、身体障害で「障害年金以外の年金」、知的障害、精神障害で「障害年金」の割合が高くなっています。

■ 生活費の入手方法[複数回答]

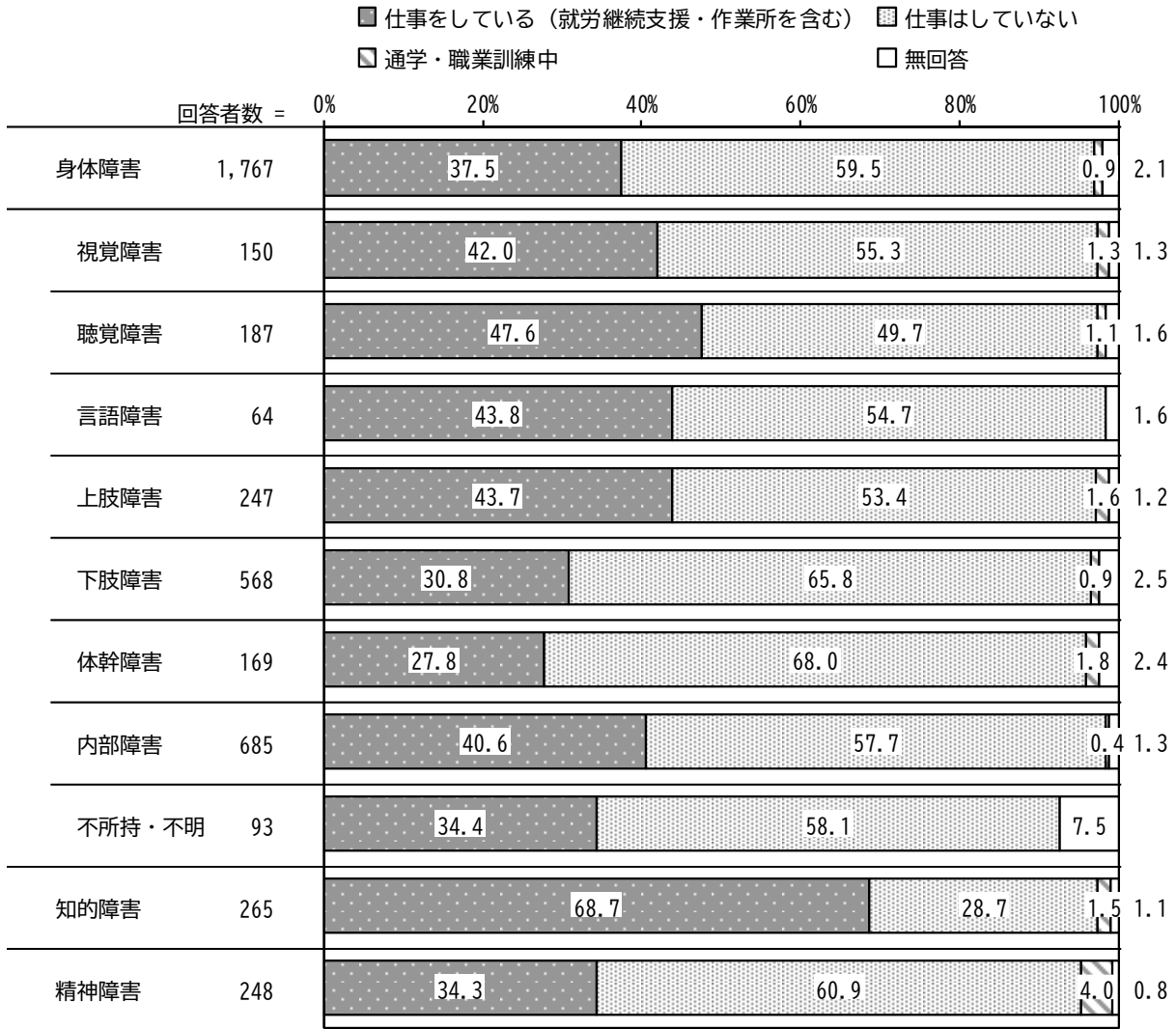


(4) 就業状況

① 就業状況

就業状況を見ると、身体障害は約4割、知的障害で約7割、精神障害で約3割半が「仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む）」と回答しています。

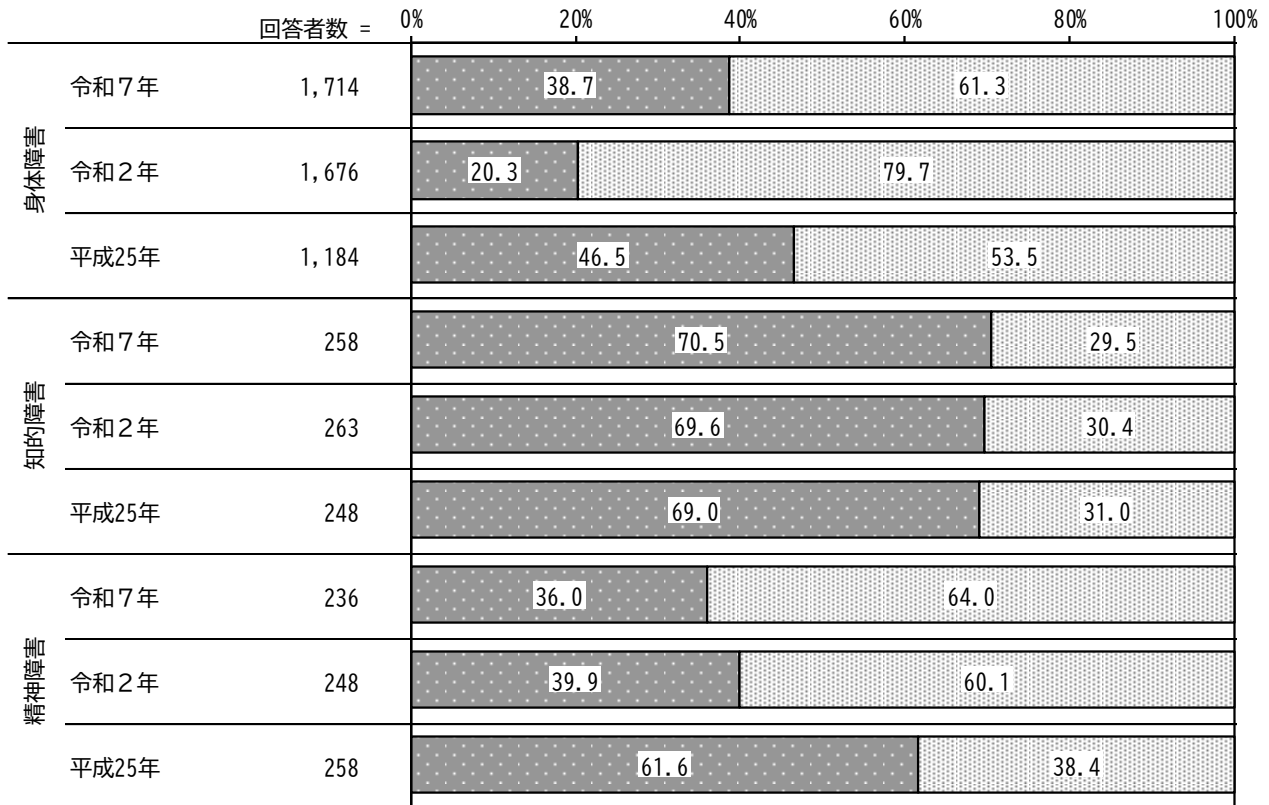
■ 就業状況[単数回答]



就業状況の経年比較をみると、「仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む）」割合は、身体障害が大幅に増加、知的障害は横ばい、精神障害はやや減少しています。

■ 就業状況[単数回答]（経年比較）

■ 仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む） □ 仕事はしていない

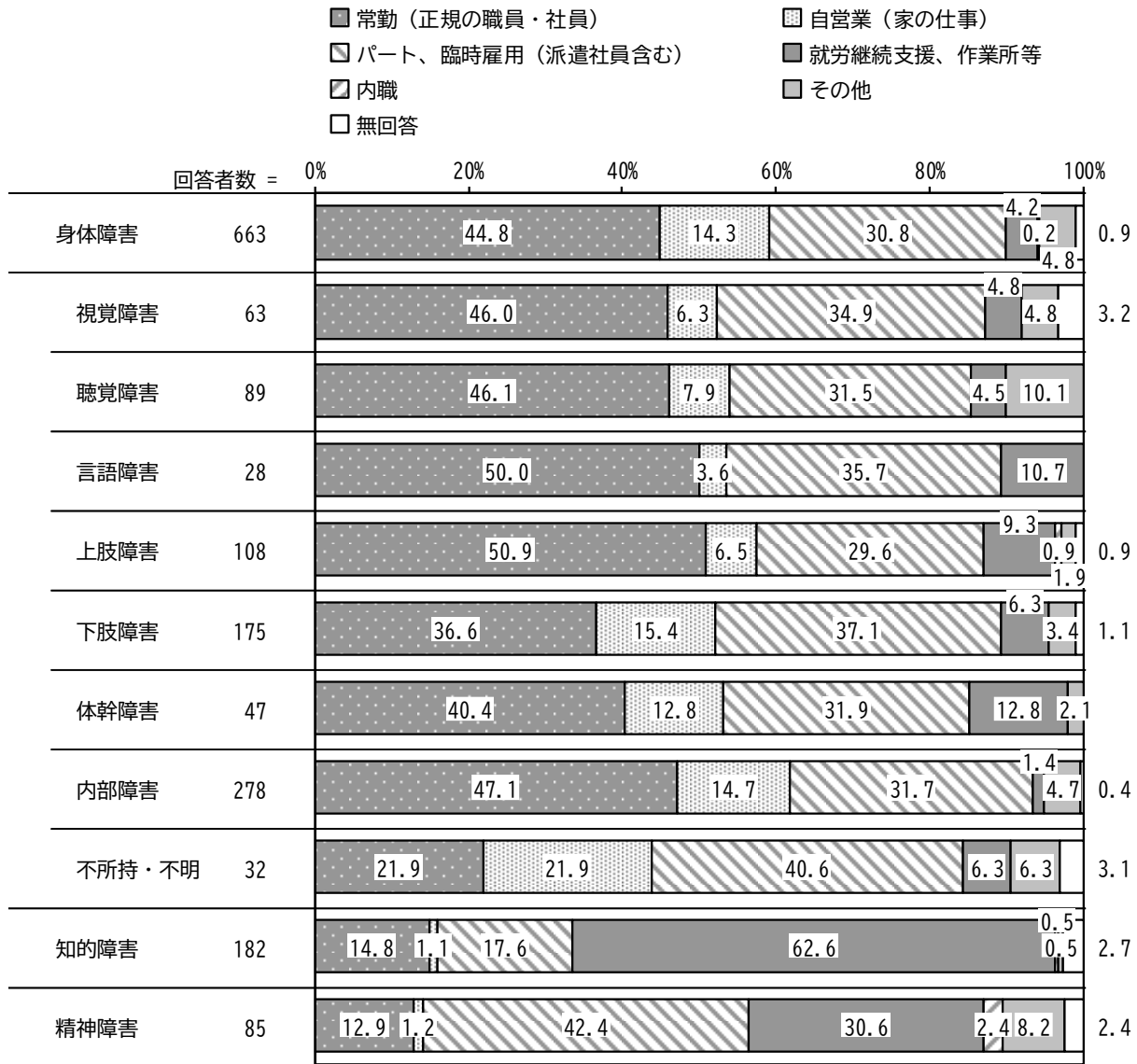


※無回答を除いて計算しています。

② 勤務形態

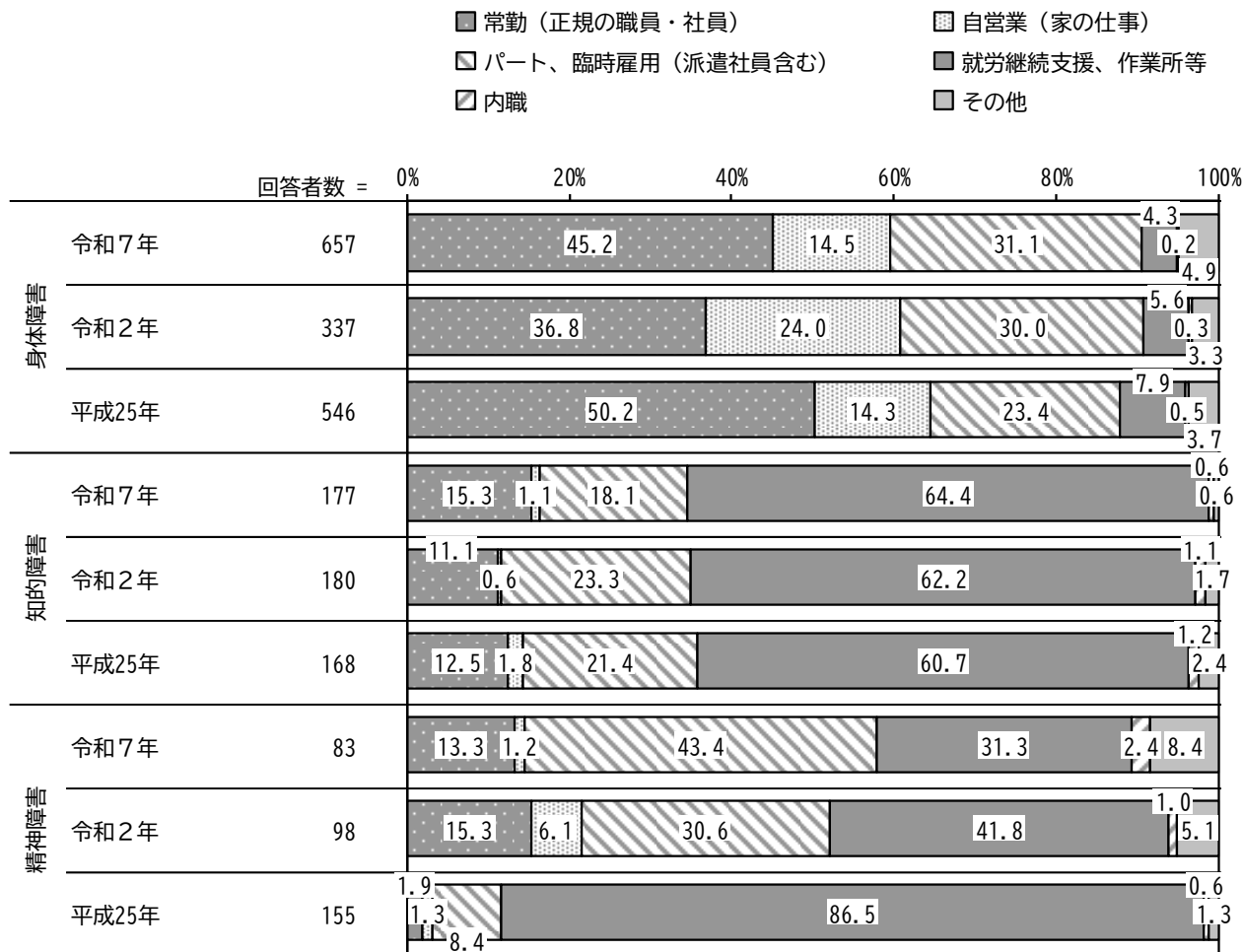
仕事をしている方の勤務形態をみると、身体障害は「常勤（正規の職員・社員）」、知的障害は「就労継続支援、作業所等」、精神障害は「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が最も多くなっています。

■ 勤務形態[単数回答]



仕事をしている方の勤務形態の経年比較をみると、身体障害は「自営業（家の仕事）」が減少し「常勤（正規の職員・社員）」が増加、知的障害は「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が減少し「常勤（正規の職員・社員）」「就労継続支援、作業所等」が増加、精神障害は「常勤（正規の職員・社員）」「就労継続支援、作業所等」が減少し「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が増加しています。

■ 勤務形態[単数回答]（経年比較）

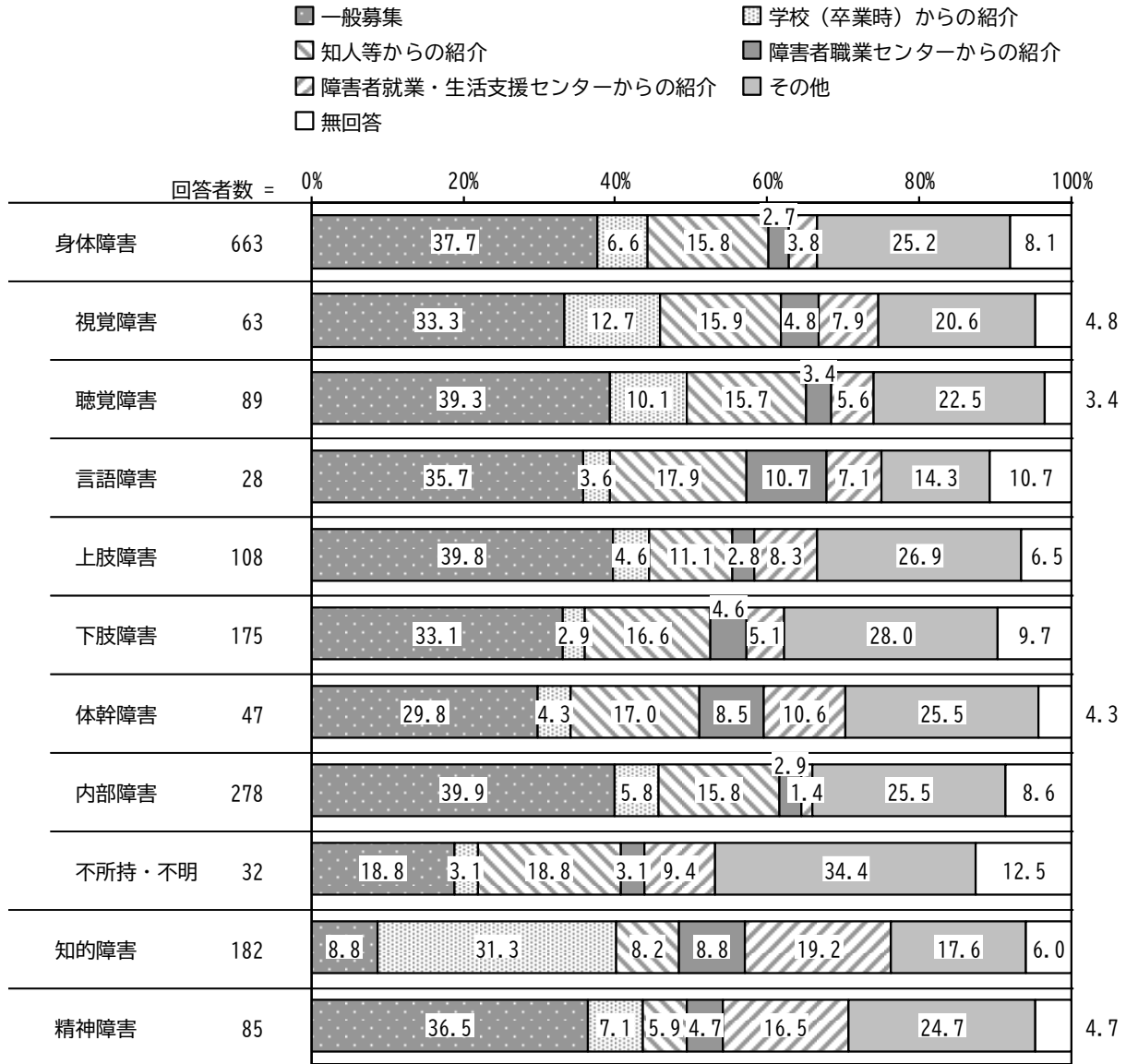


※無回答を除いて計算しています。

③ 仕事をどのようにして見つけたか

仕事をしている方が現在の仕事をどのようにして見つけたかをみると、身体障害、精神障害は「一般募集」、知的障害は「学校（卒業時）からの紹介」が最も多くなっています。

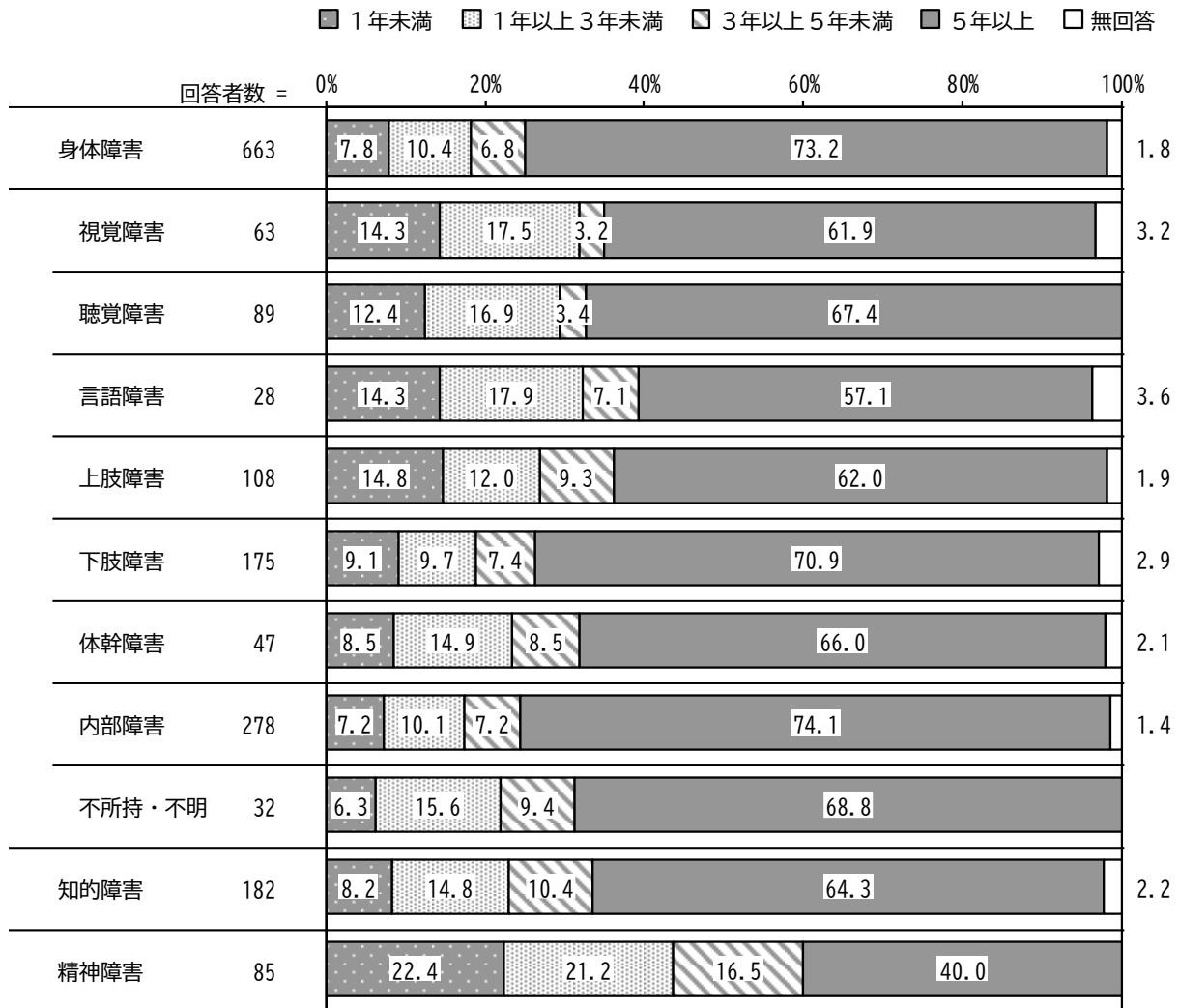
■ 仕事をどのようにして見つけたか[単数回答]



④ 従事期間

仕事をしている方の従事期間をみると、すべての障害で「5年以上」が最も多くなっているものの、他の障害と比較すると精神障害は「5年未満」の割合が高くなっています。

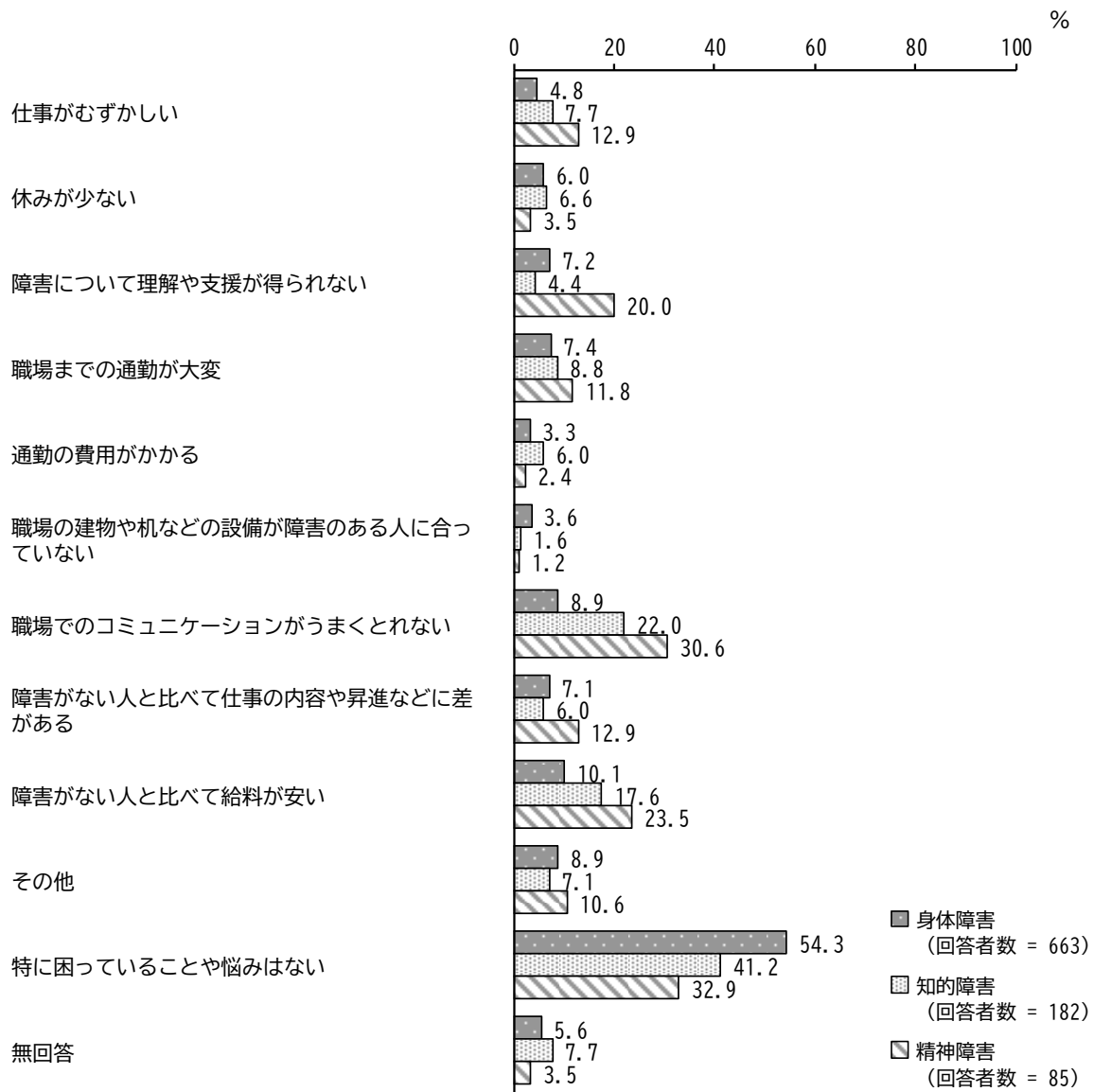
■ 従事期間[単数回答]



⑤ 仕事での悩みや困っていること

仕事をしている方の仕事での悩みや困っていることをみると、すべての障害で「特に困っていることや悩みはない」の割合が高いものの、知的障害、精神障害で「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」「障害がない人と比べて給料が安い」の割合が高くなっています。

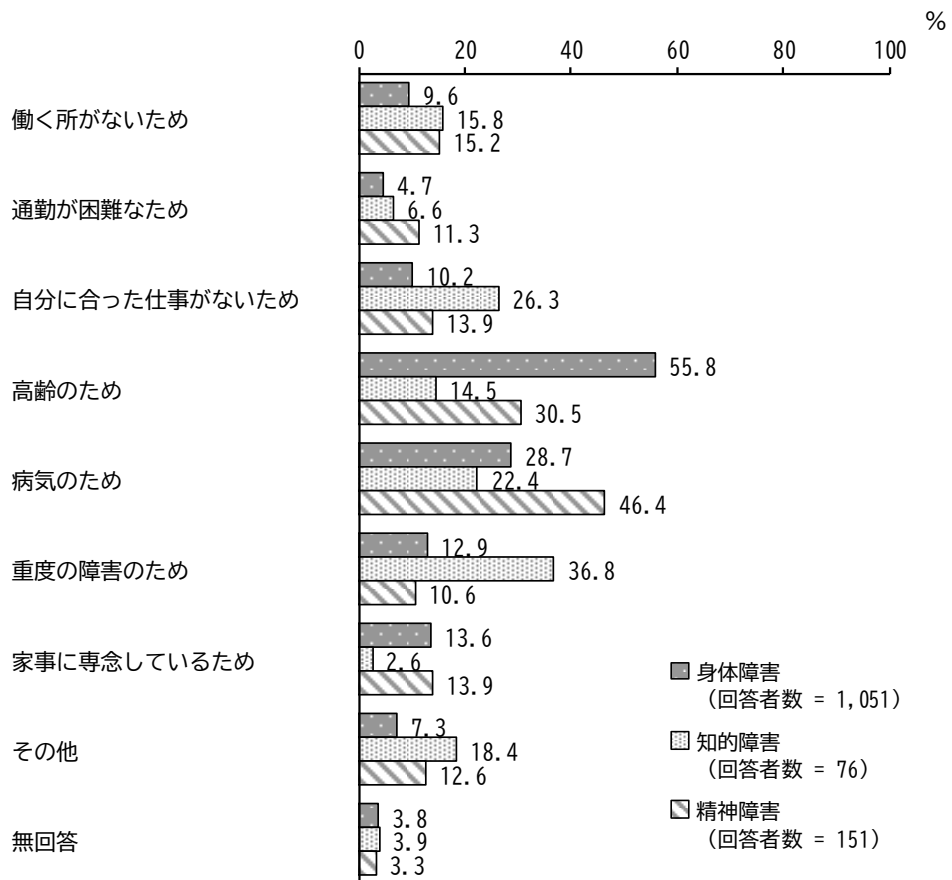
■ 仕事での悩みや困っていること[複数回答]



⑥ 働いていない理由

仕事をしていない方の働いていない理由をみると、身体障害は「高齢のため」、知的障害は「重度の障害のため」、精神障害は「病気のため」の割合が高くなっています。

■ 働いていない理由[複数回答（3つまで）]

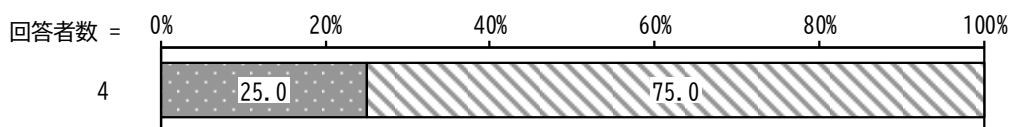


(5) 平日昼間の過ごし方

知的障害で通学・職業訓練中の方の平日昼間の過ごし方をみると、「障害福祉サービス事業所等に通所・入所している」が3件、「高等学校に通っている（特別支援学校を含む）」が1件となっています。

■ 平日昼間の過ごし方[単数回答]

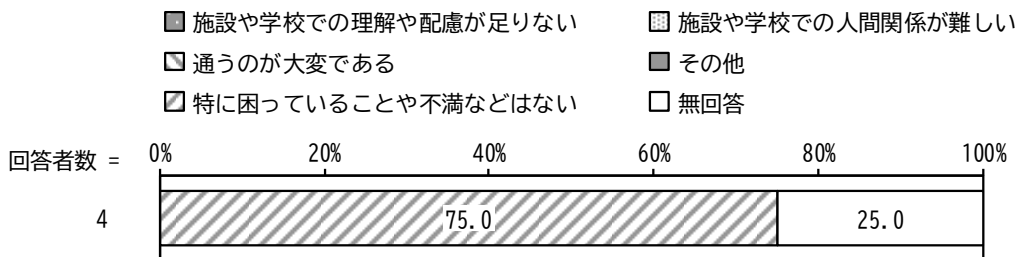
- 高等学校に通っている（特別支援学校を含む）
- 大学・専門学校・高等技術専門学校（職業訓練校）に通っている
- 障害福祉サービス事業所等に通所・入所している
- 自宅にいる
- その他
- 無回答



(6) 活動の場についての不満

知的障害で通学・職業訓練中の方の活動の場についての不満をみると、「特に困っていることや不満などはない」が3件となっています。

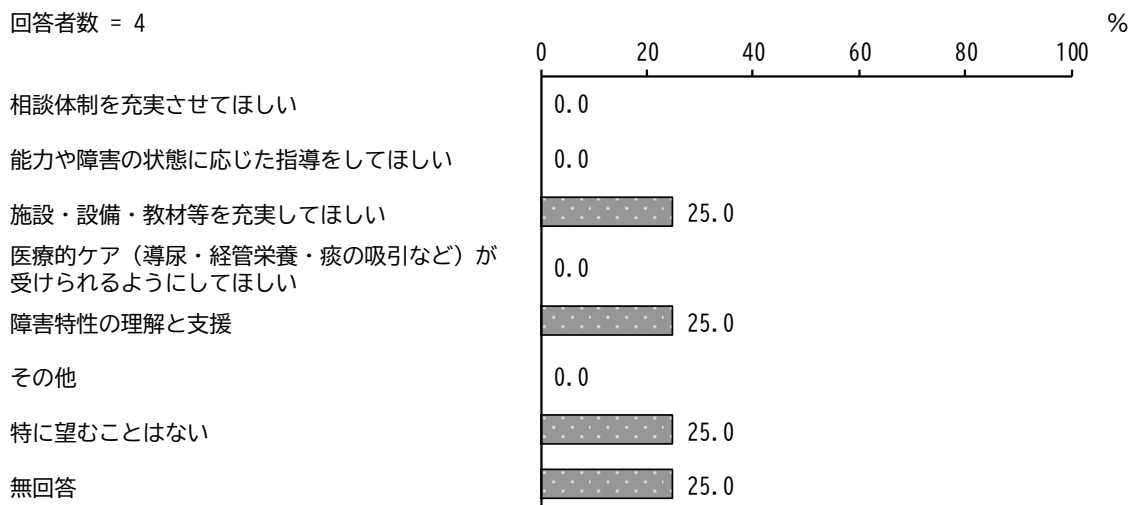
■ 活動の場についての不満[単数回答]



(7) 学校・施設等に望むこと

知的障害で学校や施設等に望むことをみると、「施設・設備・教材等を充実してほしい」、「障害特性の理解と支援」が1件となっています。

■ 学校・施設等に望むこと[複数回答]



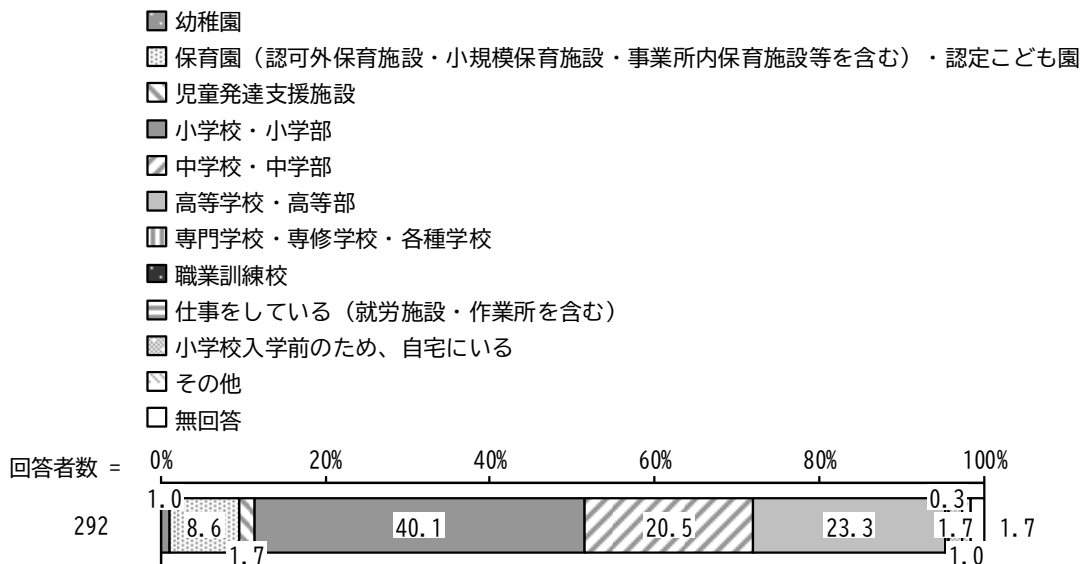
4 就学等の状況や将来について

(1) 通園・通学の状況

① 通園・通学先

障害児の通園・通学先をみると、「小学校・小学部」の割合が40.1%と最も高く、次いで「高等学校・高等部」の割合が23.3%、「中学校・中学部」の割合が20.5%となっています。

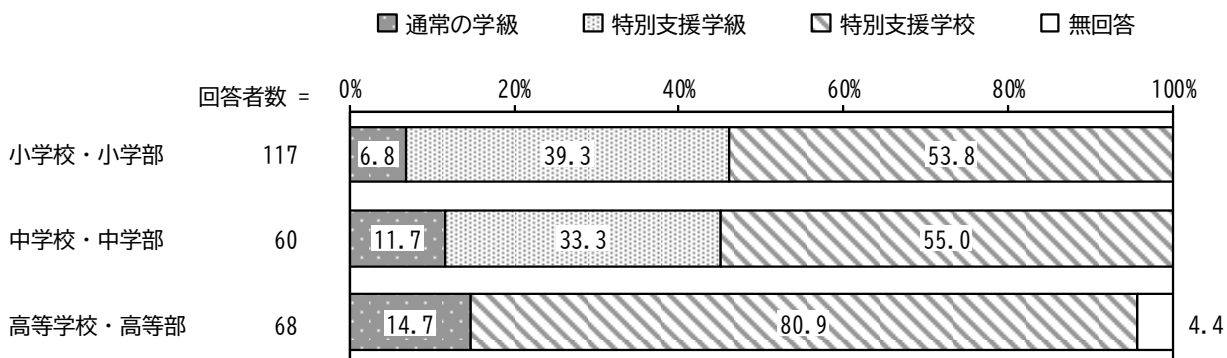
■ 通園・通学先[単数回答]



② 学校・学級の種別

学校・学級の種別をみると、すべての通学先で「特別支援学校」が最も多くなっています。

■ 学校・学級の種別[単数回答]



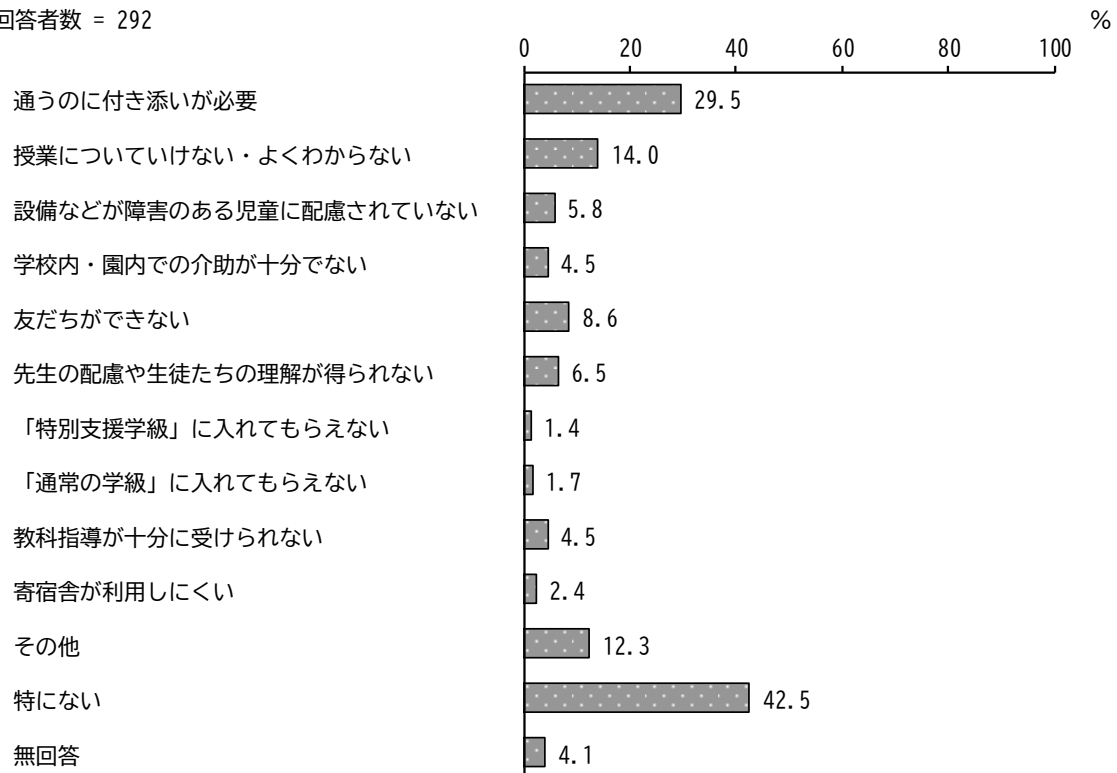
※高等学校・高等部で「特別支援学級」の選択肢はありません。

(2) 通園・通学で困っていること

障害児で通園・通学で困っていることをみると、「特にない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「通うのに付き添いが必要」の割合が29.5%、「授業についていけない・よくわからない」の割合が14.0%となっています。

■ 通園・通学で困っていること[複数回答]

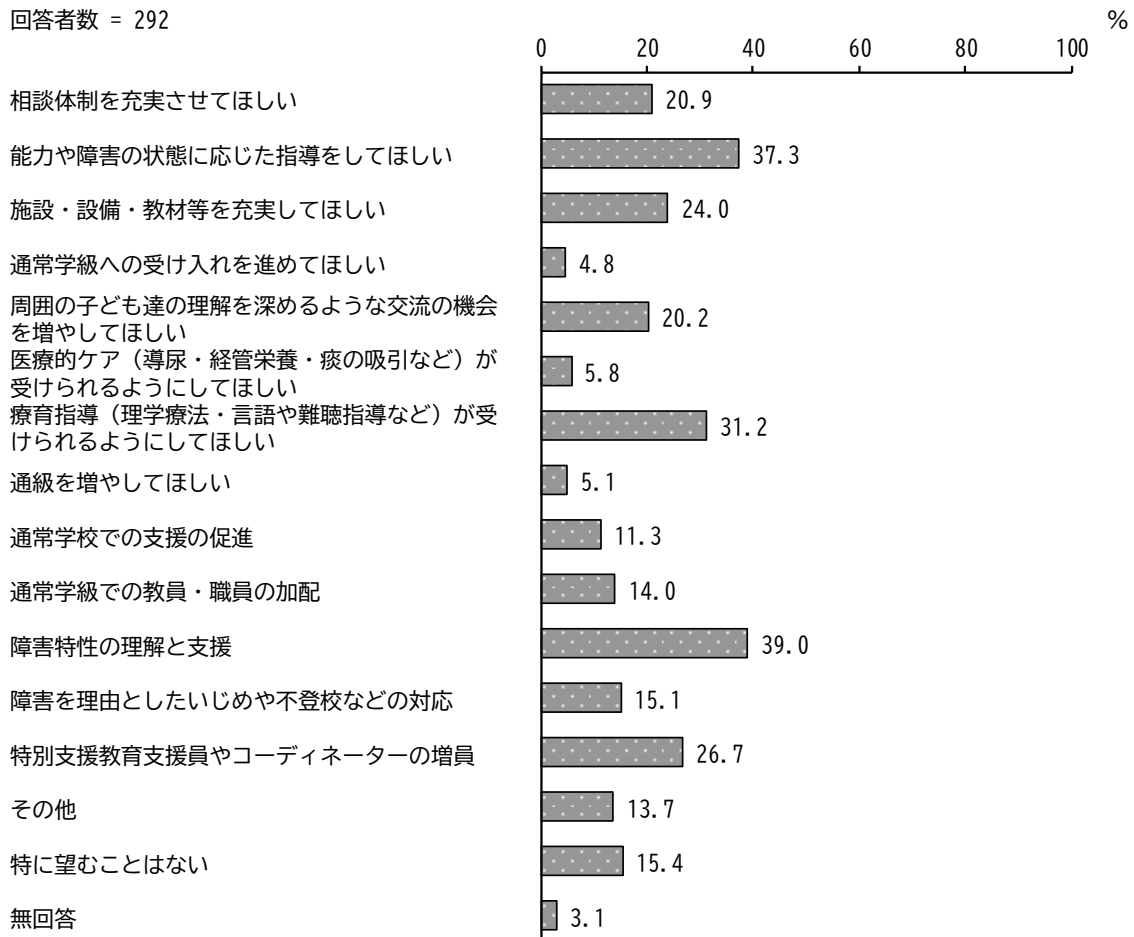
回答者数 = 292



(3) 幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと

障害児で幼稚園・保育園・学校・施設に望むことをみると、「障害特性の理解と支援」の割合が39.0%と最も高く、次いで「能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい」の割合が37.3%、「療育指導（理学療法・言語や難聴指導など）が受けられるようにしてほしい」の割合が31.2%となっています。

■ 幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと[複数回答]

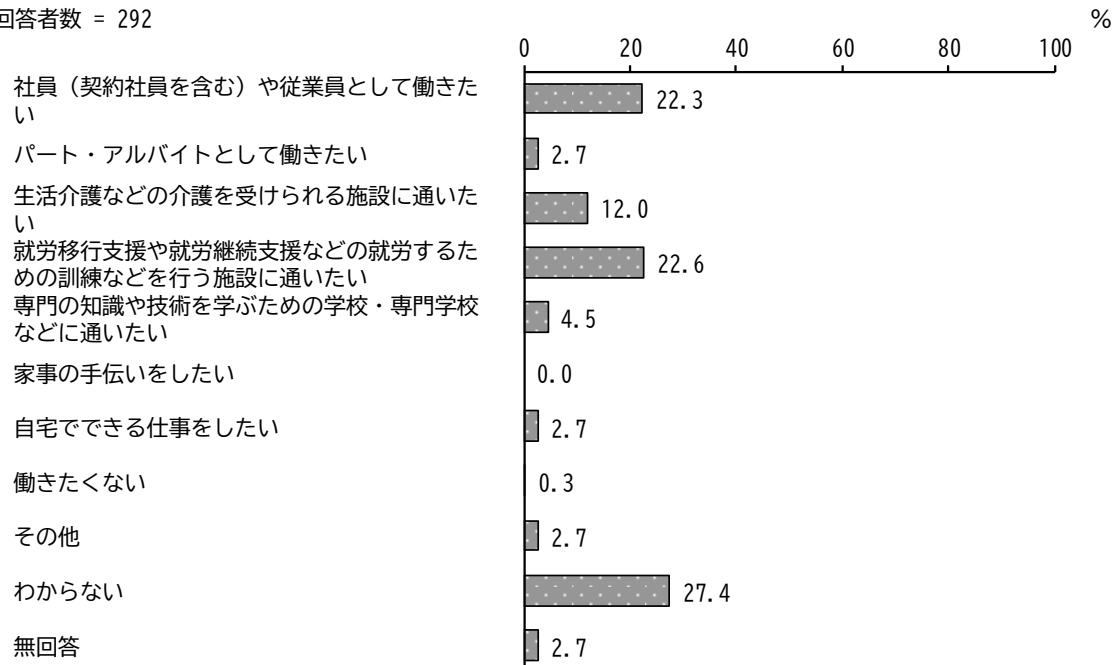


(4) 学校卒業後の希望

障害児で学校卒業後の進路の希望をみると、「わからない」の割合が27.4%と最も高く、次いで「就労移行支援や就労継続支援などの就労するための訓練などを行う施設に通いたい」の割合が22.6%、「社員（契約社員を含む）や従業員として働きたい」の割合が22.3%となっています。

■ 学校卒業後の希望[複数回答]

回答者数 = 292

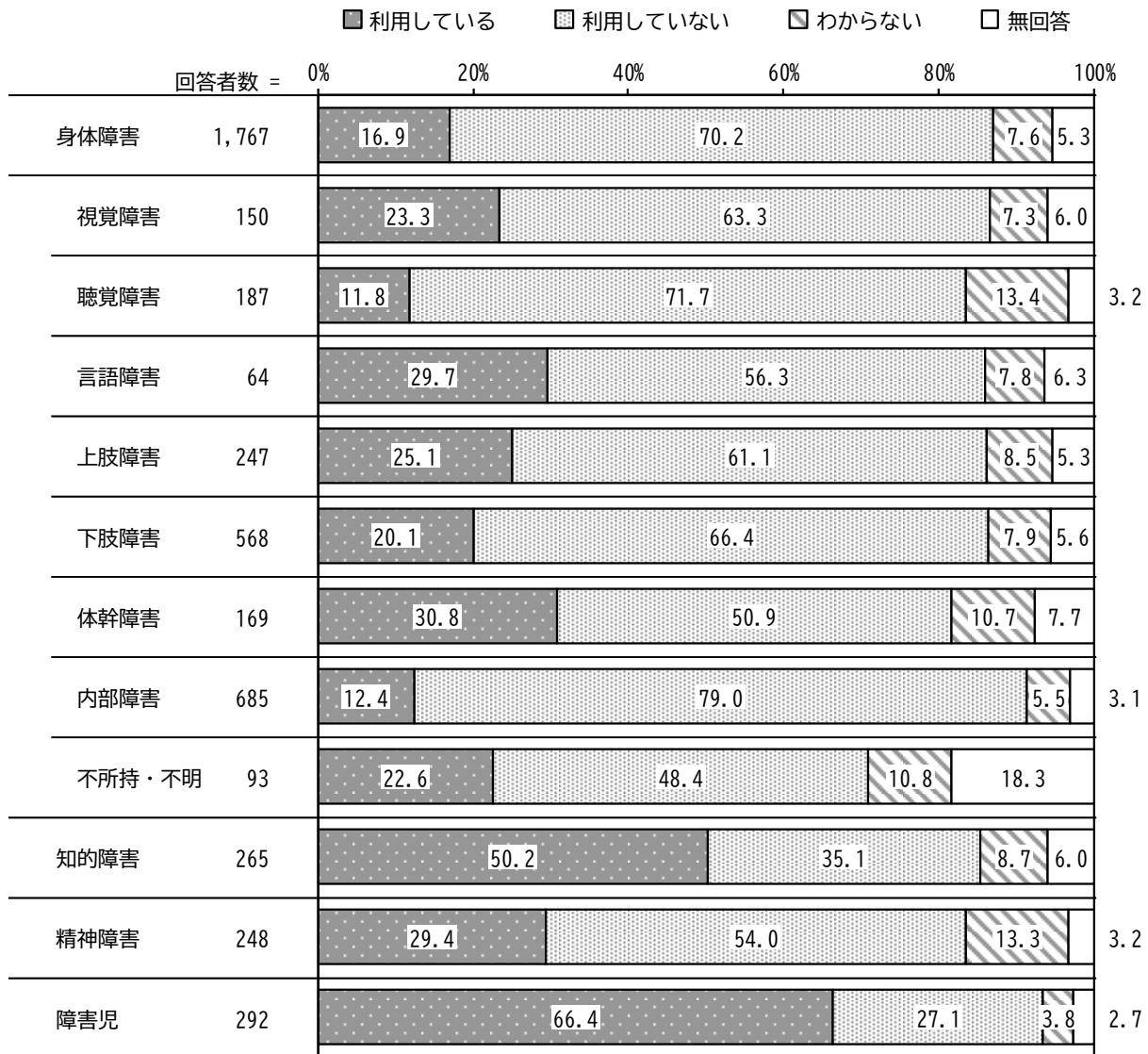


5 福祉サービスについて

(1) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況をみると、身体障害が1割半強、知的障害が5割、精神障害が3割、障害児が6割半利用しています。

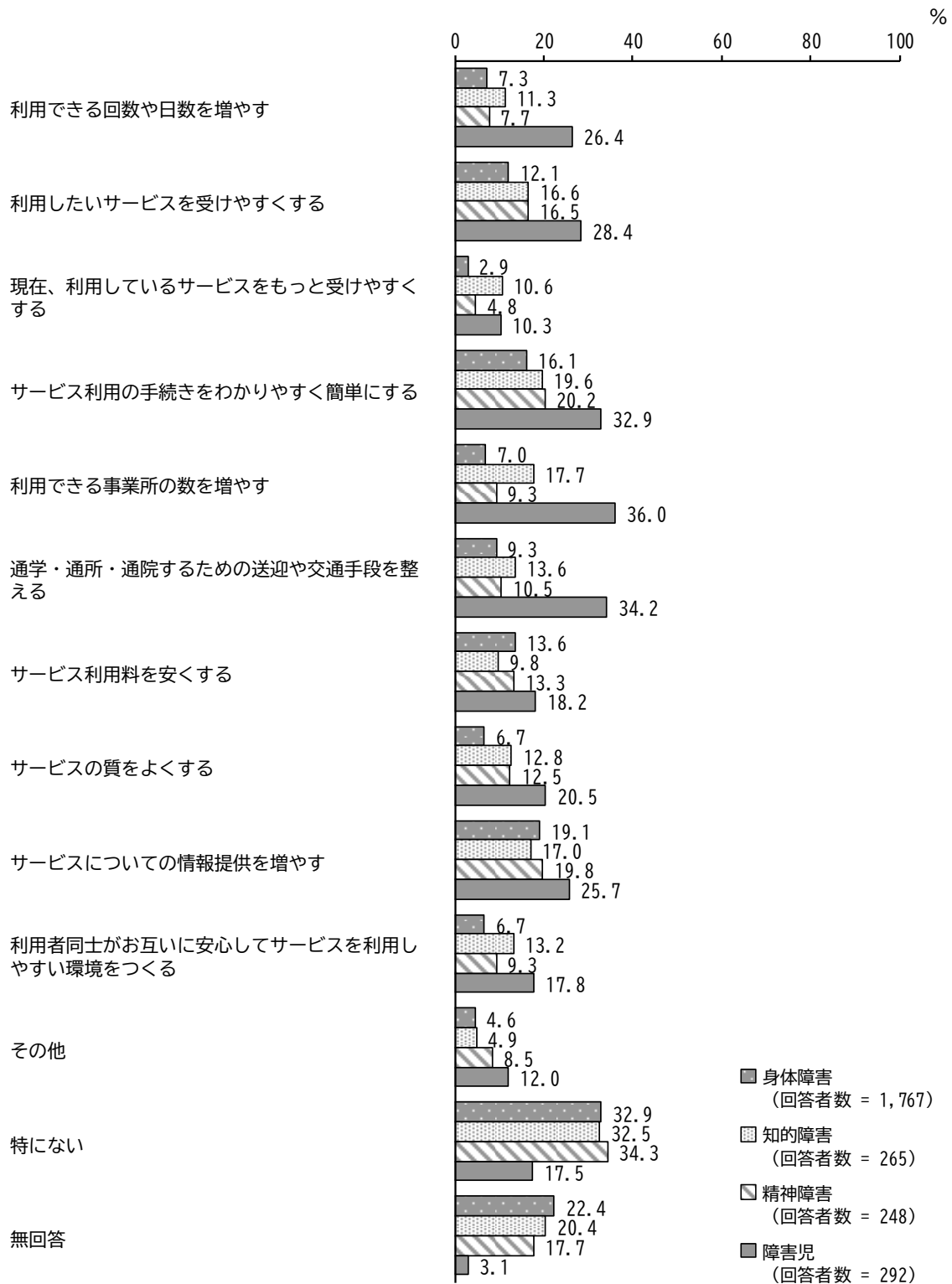
■ 障害福祉サービスの利用状況[単数回答]



(2) 障害福祉サービスの改善希望

障害福祉サービスの改善希望をみると、身体障害、知的障害、精神障害は「特にない」、障害児は「利用したいサービスを受けやすくする」、「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」、「利用できる事業所の数を増やす」、「通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える」の割合が高くなっています。

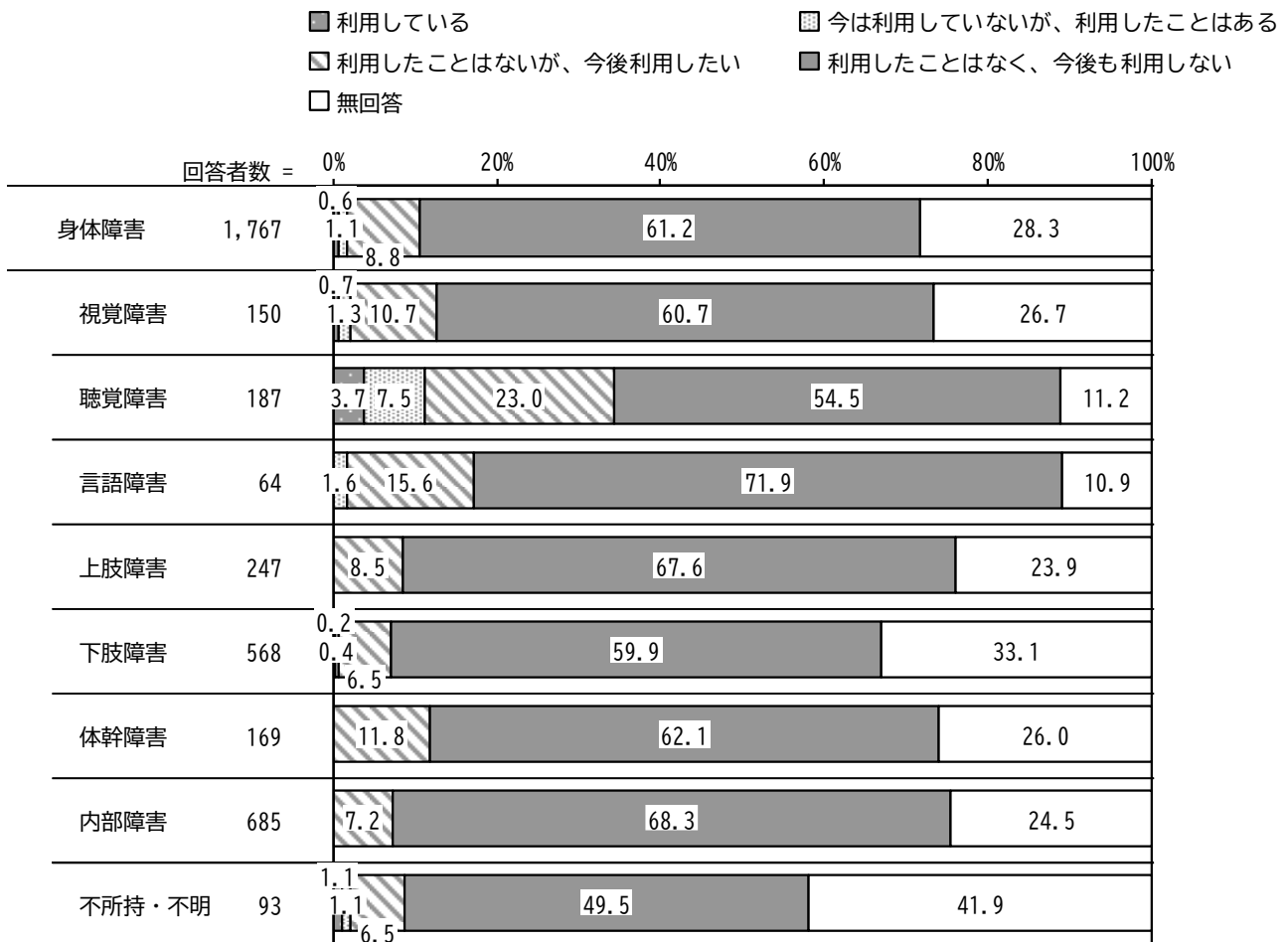
■ 障害福祉サービスの改善希望[複数回答]



(3) 手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望

身体障害で手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望をみると、「利用している」、「今は利用していないが、利用したことはある」は1割未満となっており、「利用したことはないが、今後利用したい」は1割程度となっています。

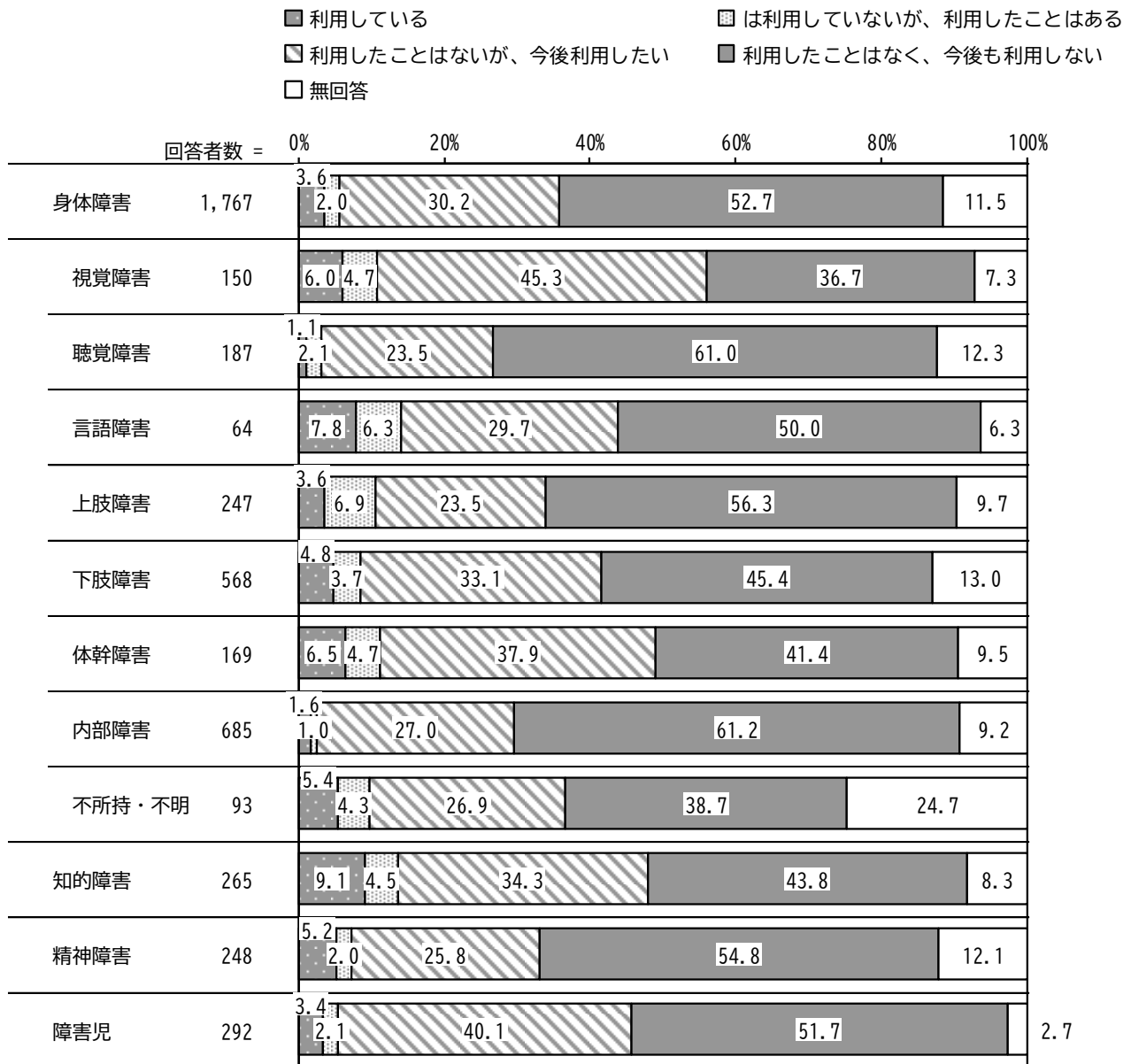
■ 手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望[単数回答]



(4) 同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望

同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望をみると、すべての障害で「利用している」は1割未満となっており、「利用したことはないが、今後利用したい」は身体障害が3割、知的障害が3割半、精神障害が2割半、障害児が4割となっています。

■ 同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望[単数回答]

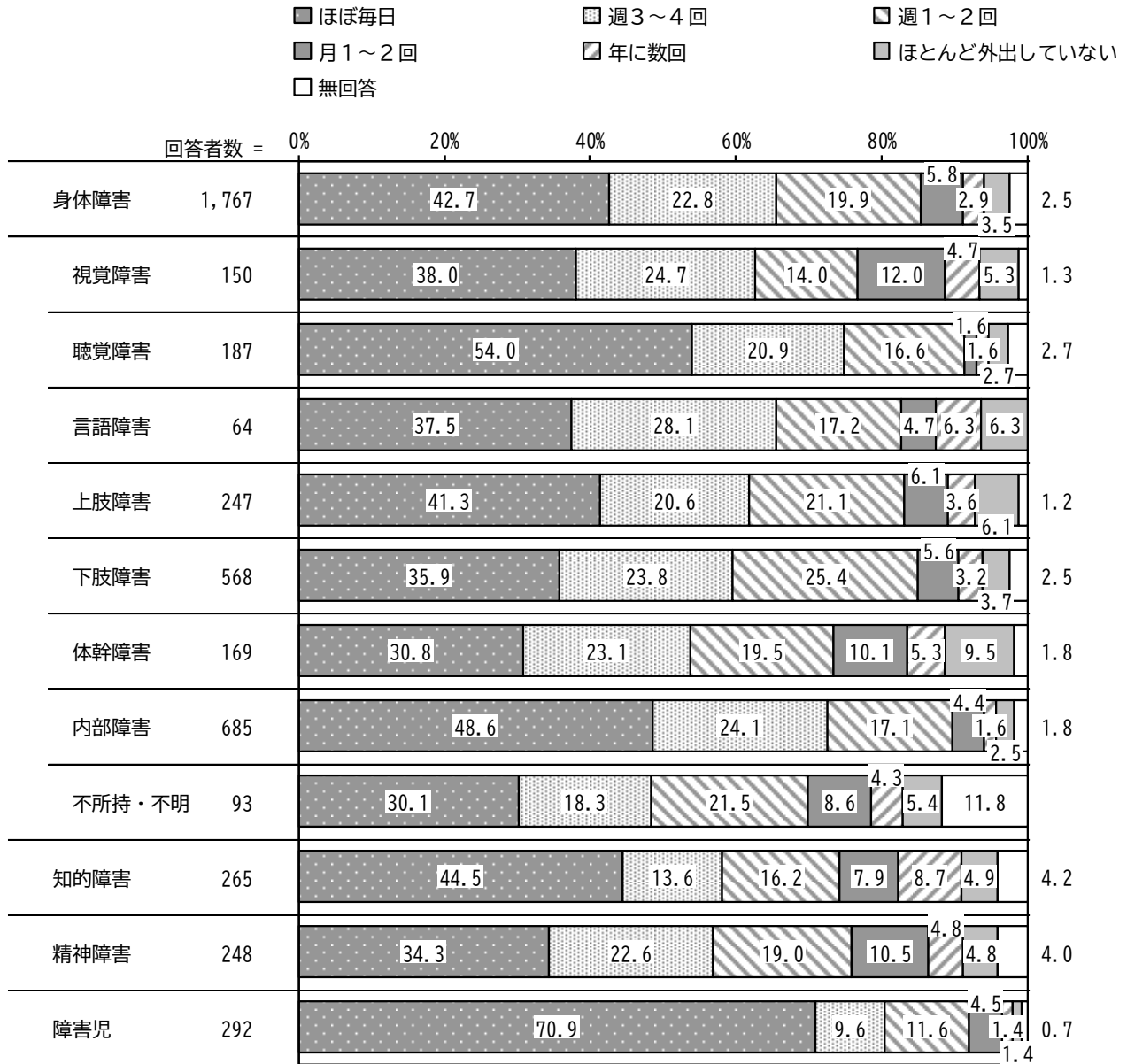


6 外出について

(1) 過去1年間の外出の状況

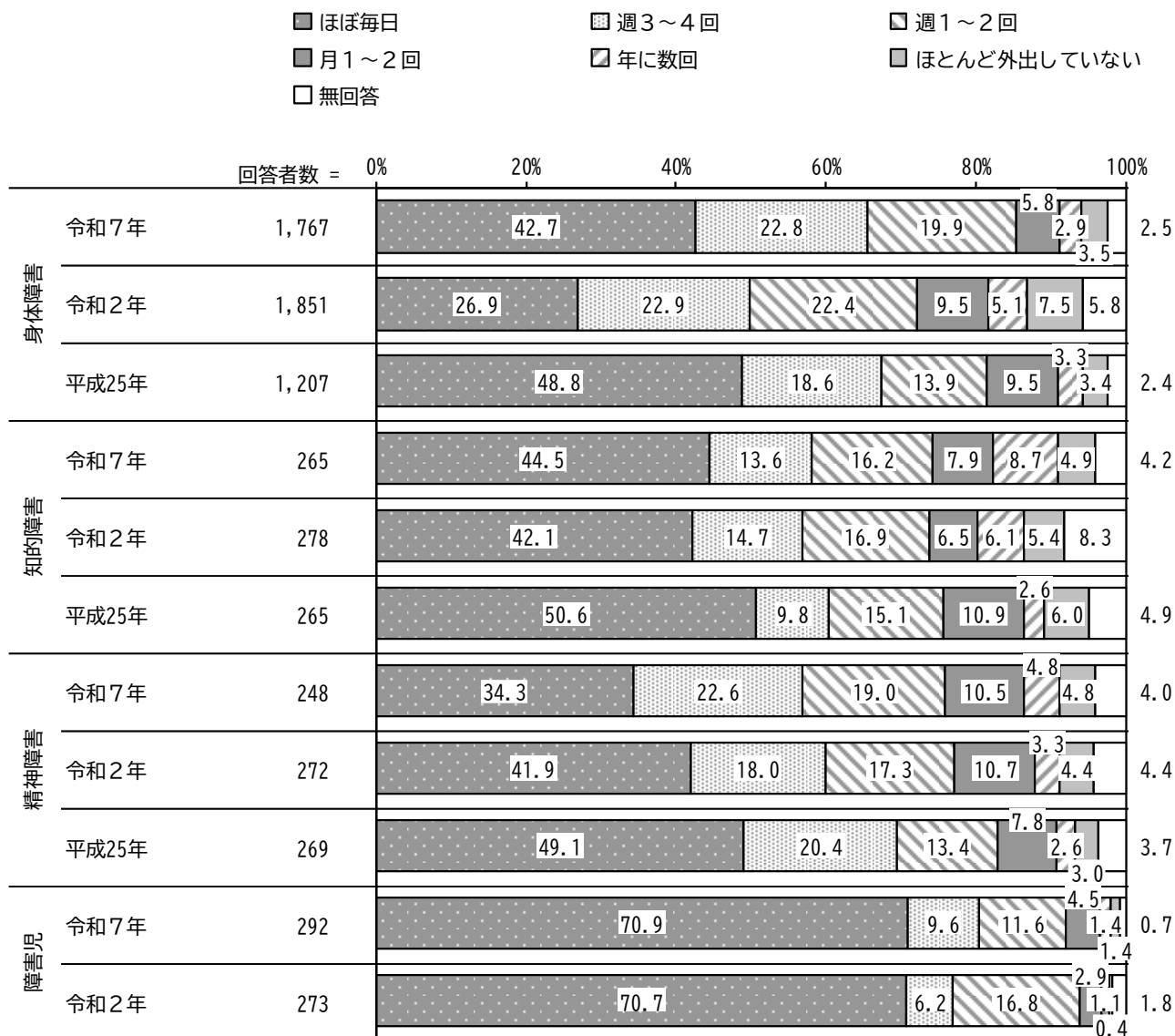
過去1年間の外出の状況をみると、すべての障害で「ほぼ毎日」が最も多くなっています。

■ 過去1年間の外出状況[単数回答]



過去1年間の外出の状況の経年比較をみると、「ほぼ毎日」は身体障害で増加し、知的障害、障害児で横ばい、精神障害で減少しています。

■ 過去1年間の外出状況[単数回答] (経年比較)

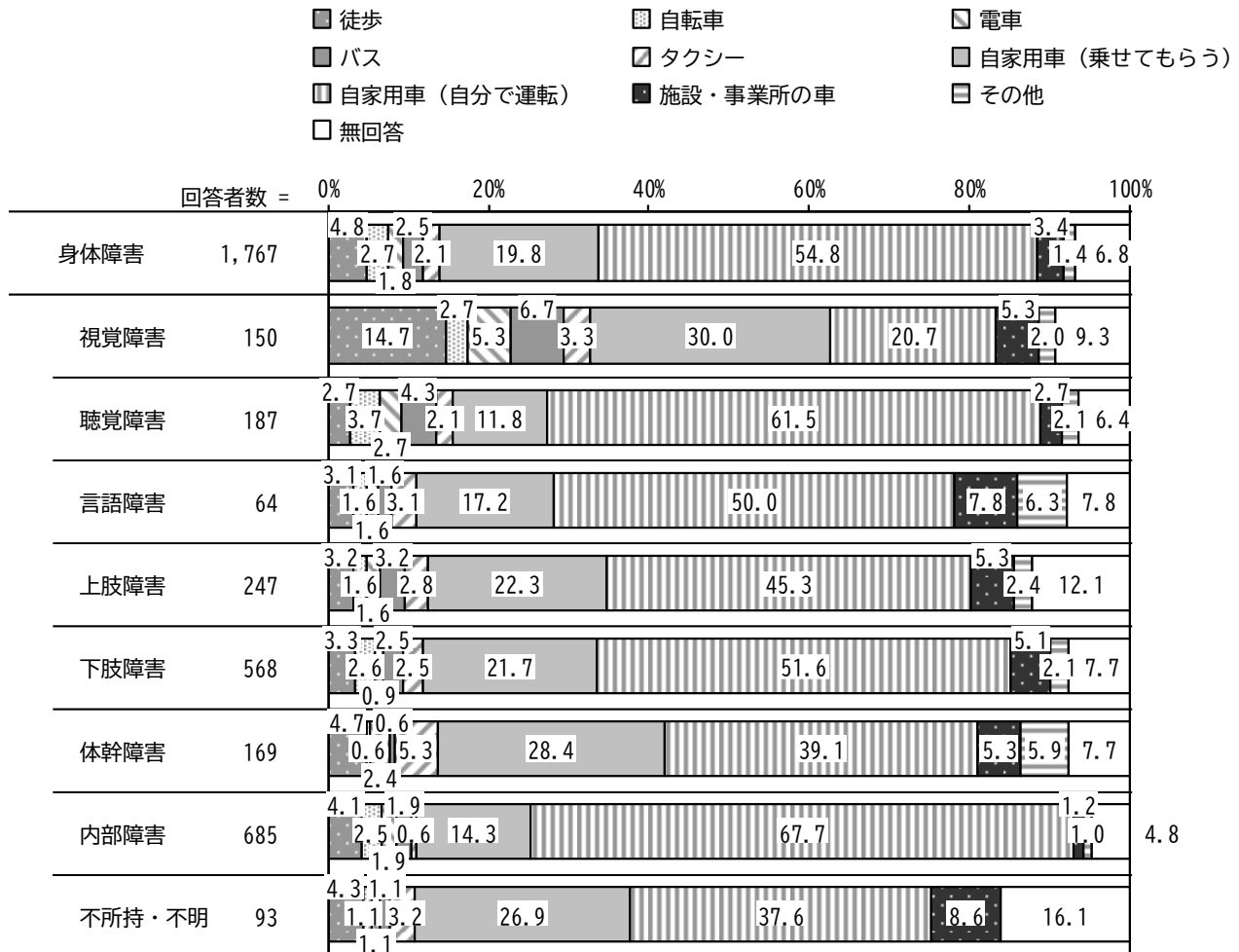


※障害児の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

(2) よく利用する移動手段

身体障害のよく利用する移動手段をみると、「自家用車（自分で運転）」が5割半となっています。身体障害のうち、視覚障害は「徒歩」、「電車」、「バス」の割合が高くなっています。

■ よく利用する移動手段[単数回答]

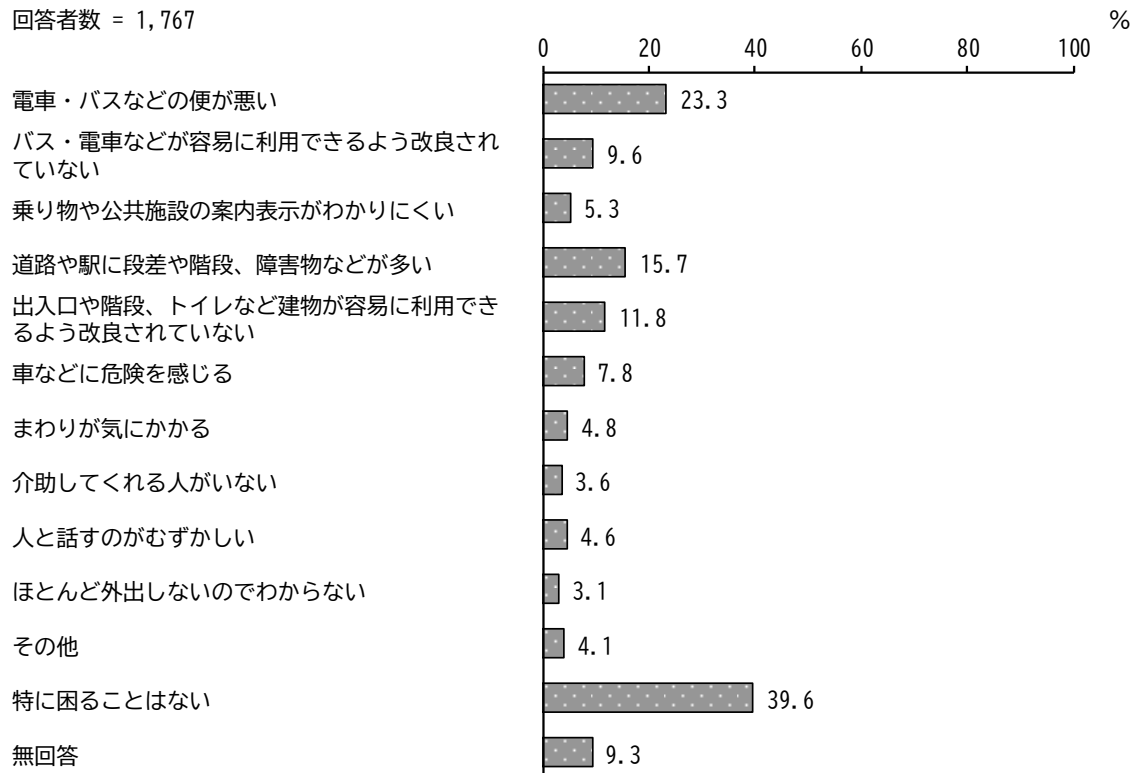


(3) 外出するうえで困ること

身体障害で外出するうえで困ることをみると、「特に困ることはない」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「電車・バスなどの便が悪い」の割合が 23.3%、「道路や駅に段差や階段、障害物などが多い」の割合が 15.7%となっています。

■ 外出するうえで困ること[複数回答]

回答者数 = 1,767

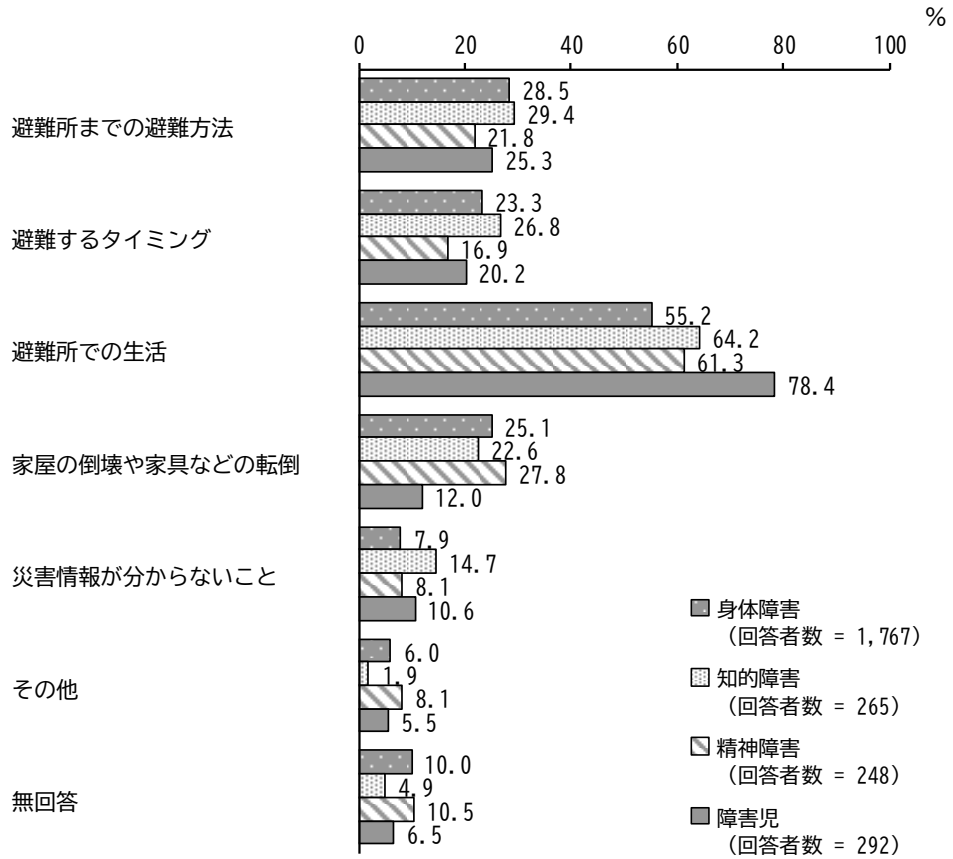


7 災害時について

(1) 災害時に困ること

災害時に困ることをみると、すべての障害で「避難所での生活」の割合が高くなっています。

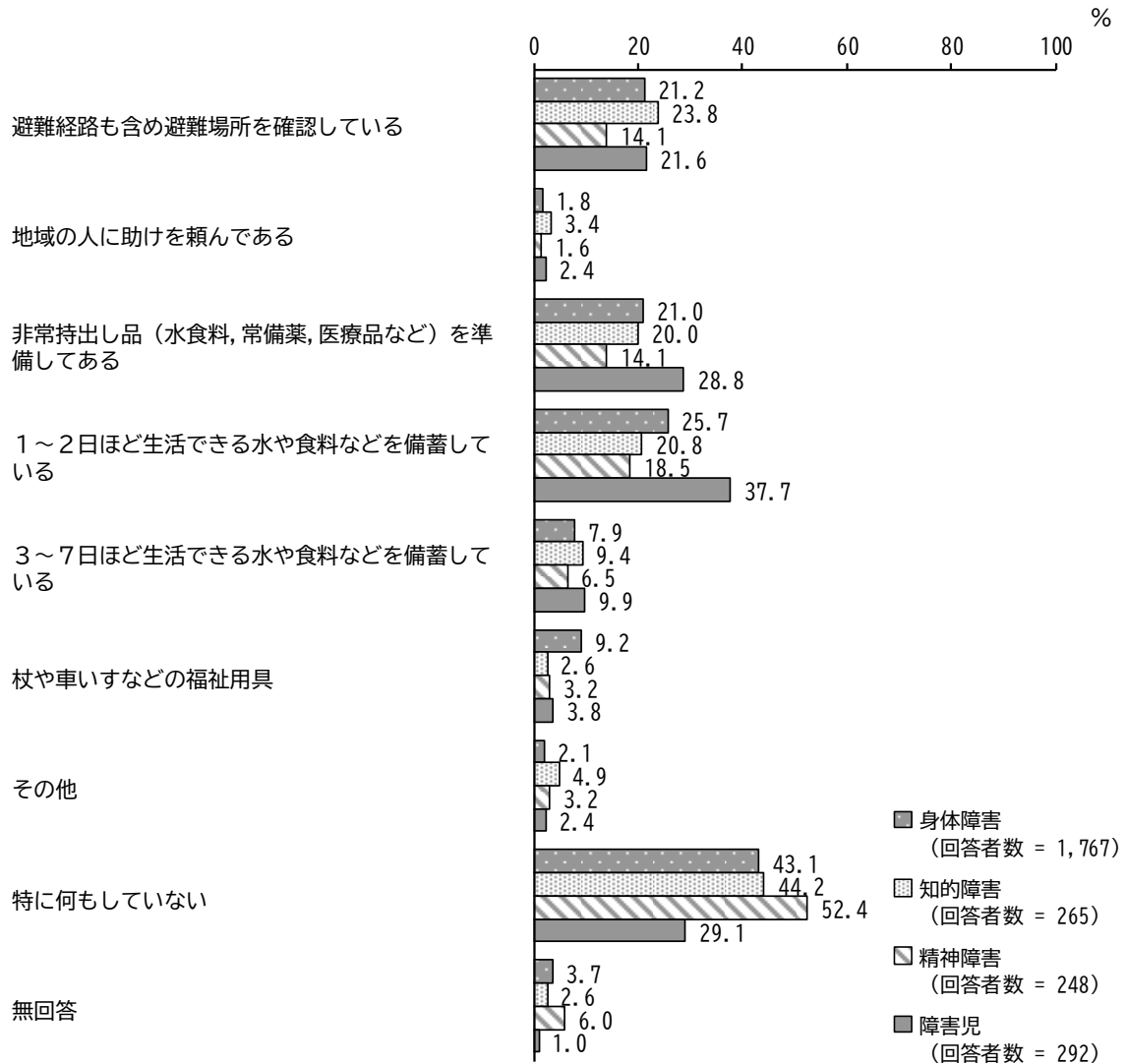
■ 災害時に困ること[複数回答]



(2) 災害時に備え準備していること

災害時に備え準備していることをみると、身体障害、知的障害、精神障害で「特に何もしていない」、障害児で「1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している」の割合が高くなっています。

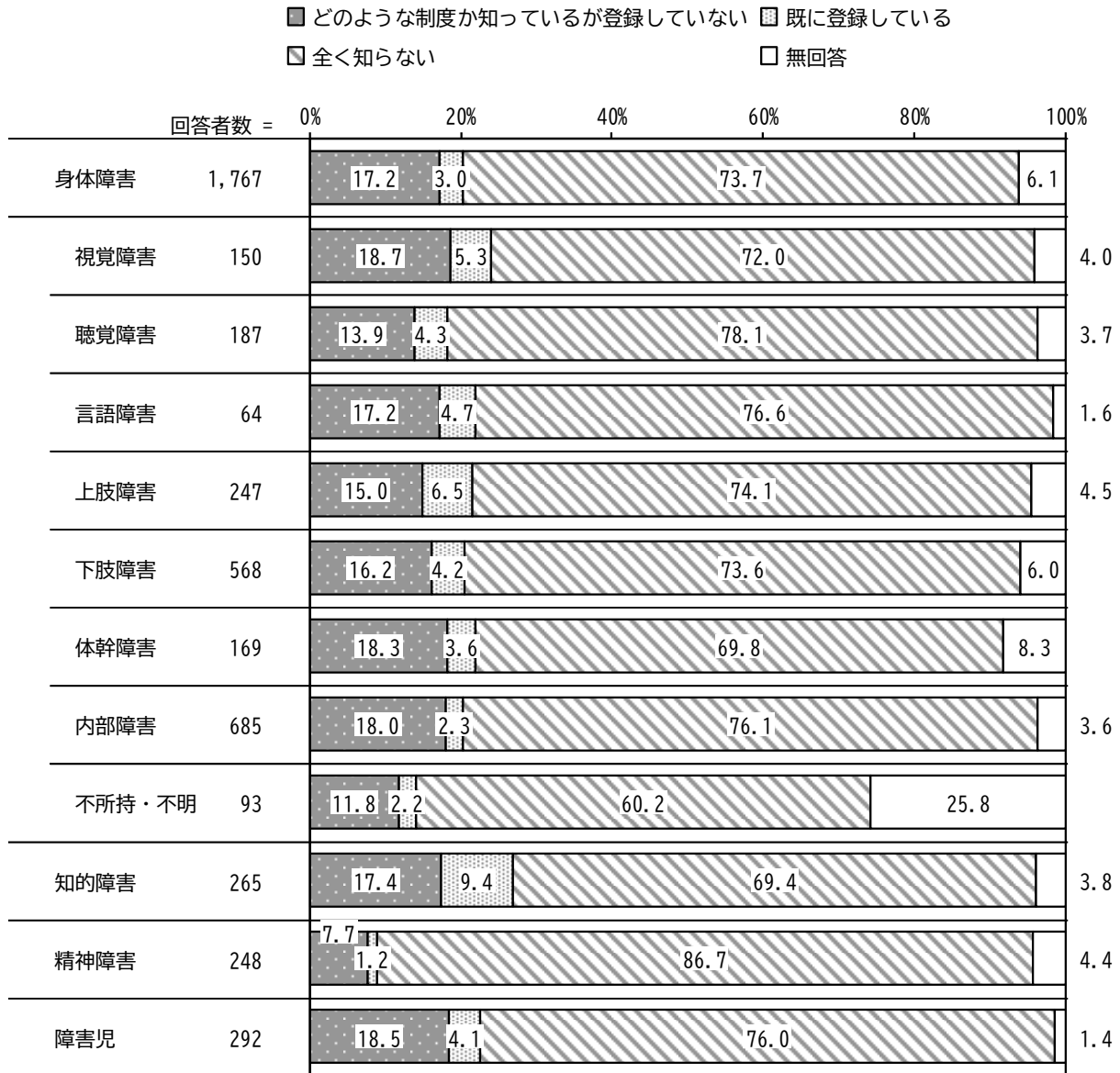
■ 災害時に備え準備していること[複数回答]



(3) 避難行動要支援者支援制度の認知度

避難行動要支援者支援制度の認知度をみると、すべての障害で「全く知らない」の割合が高くなっています。「既に登録している」は、知的障害が約1割となっています。

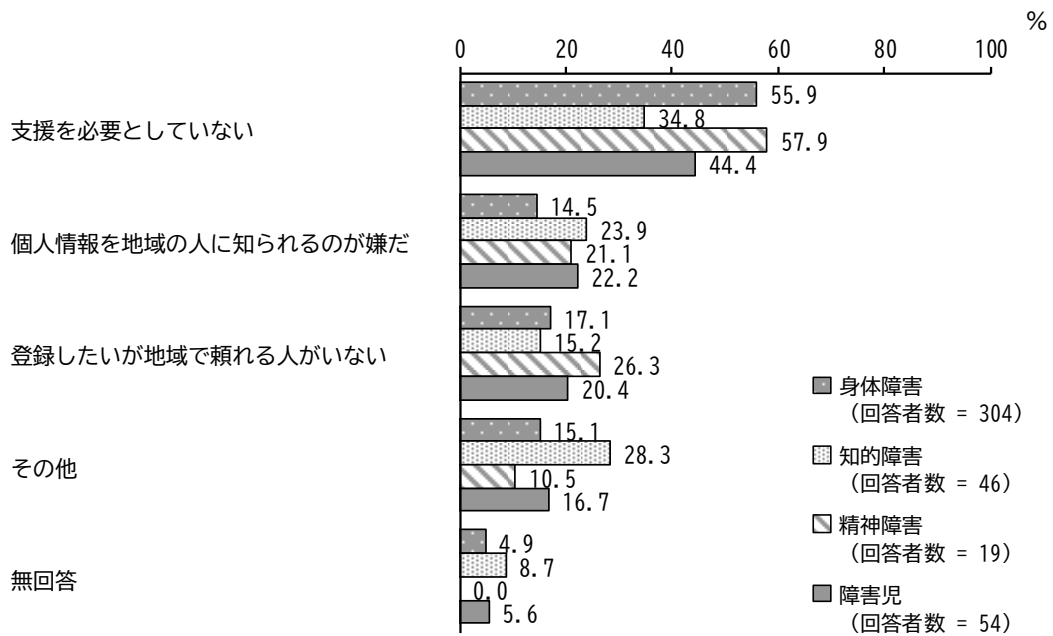
■ 避難行動要支援者支援制度の認知度[単数回答]



(4) 避難行動要支援者名簿に登録していない理由

避難行動要支援者支援制度を知っているが避難行動要支援者名簿に登録していない理由をみると、すべての障害で「支援を必要としていない」の割合が高くなっており、次いで、身体障害、精神障害は「登録したいが地域で頼れる人がいない」、知的障害、障害児は「個人情報を地域の人に知られるのが嫌だ」となっています。

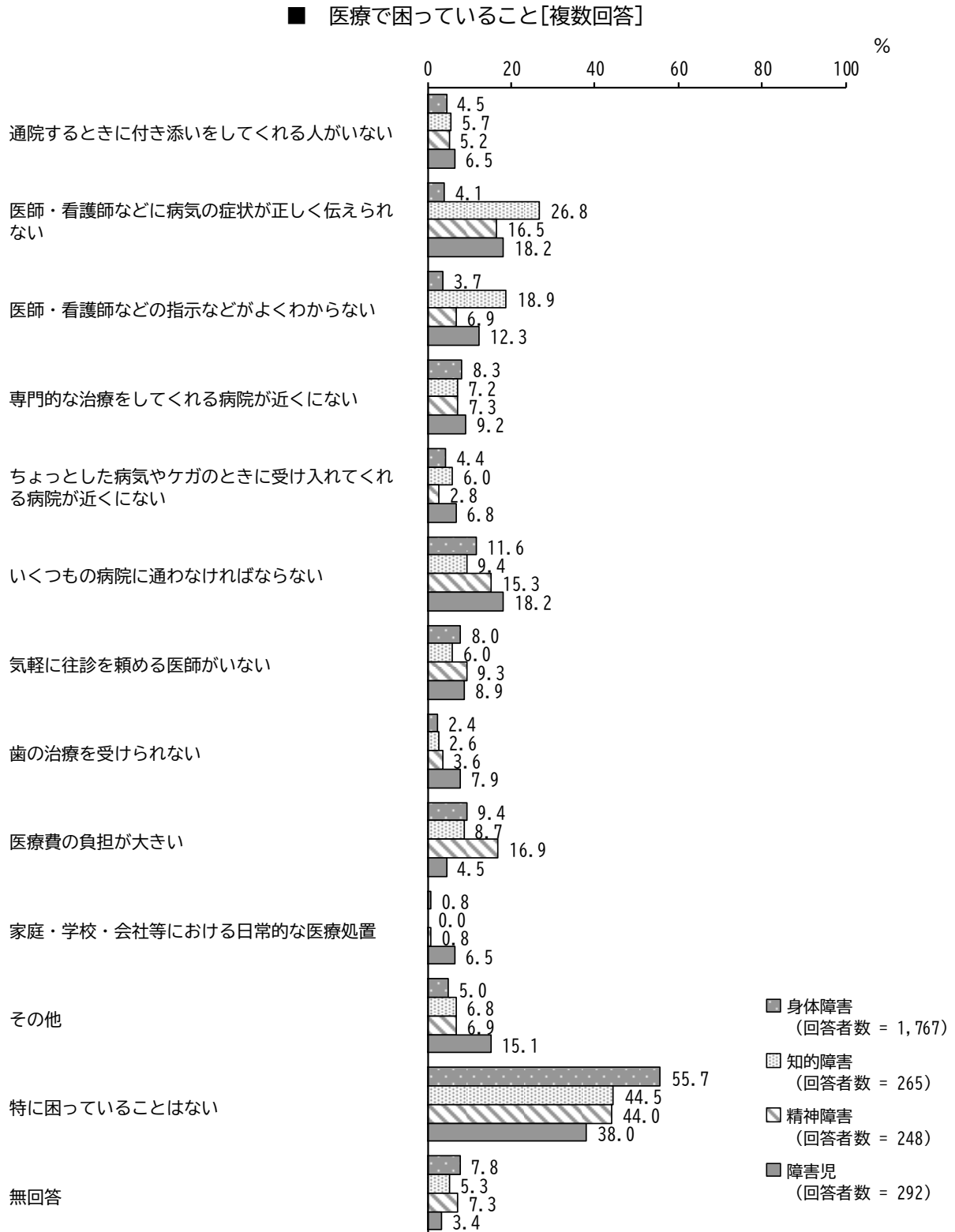
■ 避難行動要支援者名簿に登録していない理由[単数回答]



8 医療について

(1) 医療で困っていること

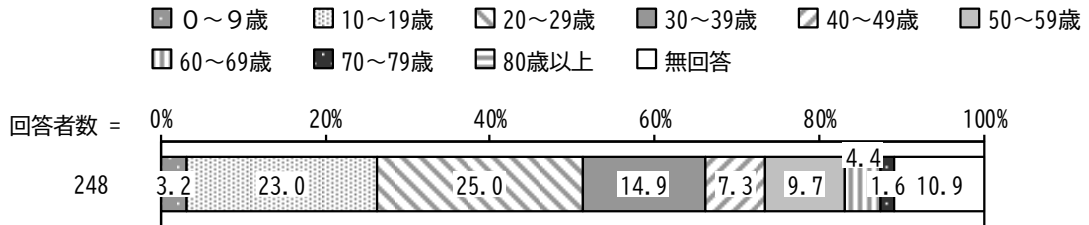
医療で困っていることをみると、すべての障害で「特に困っていることはない」が最も多くなっている。この他、身体障害は「いくつもの病院に通わなければならない」、知的障害は「医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない」、精神障害は「医療費の負担が大きい」、障害児は「いくつもの病院に通わなければならない」「医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない」の割合が高くなっています。



(2) 精神科の初回診察時の年齢

精神障害で精神科の初回診察時の年齢をみると、「20～29歳」の割合が25.0%と最も高く、次いで「10～19歳」の割合が23.0%、「30～39歳」の割合が14.9%となっています。

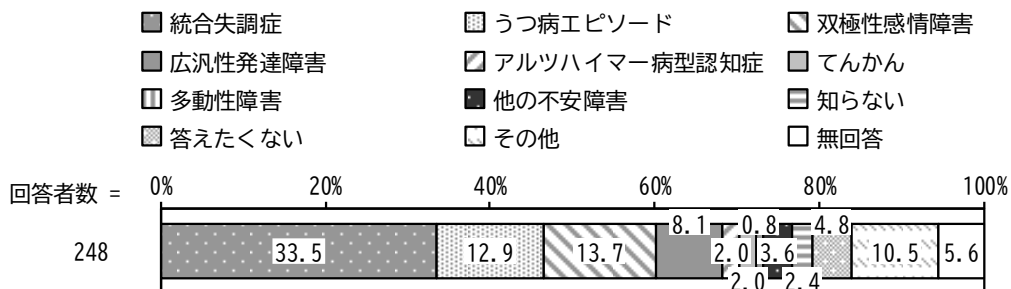
■ 精神科の初回診察時の年齢[単数回答]



(3) 病名

精神障害で病名をみると、「統合失調症」の割合が33.5%と最も高く、次いで「双極性感情障害」の割合が13.7%、「うつ病エピソード」の割合が12.9%となっています。

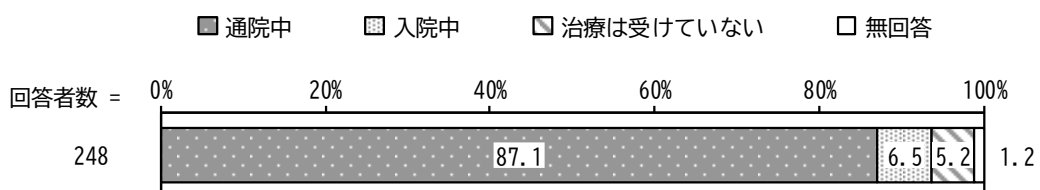
■ 病名[単数回答]



(4) 現在の治療状況

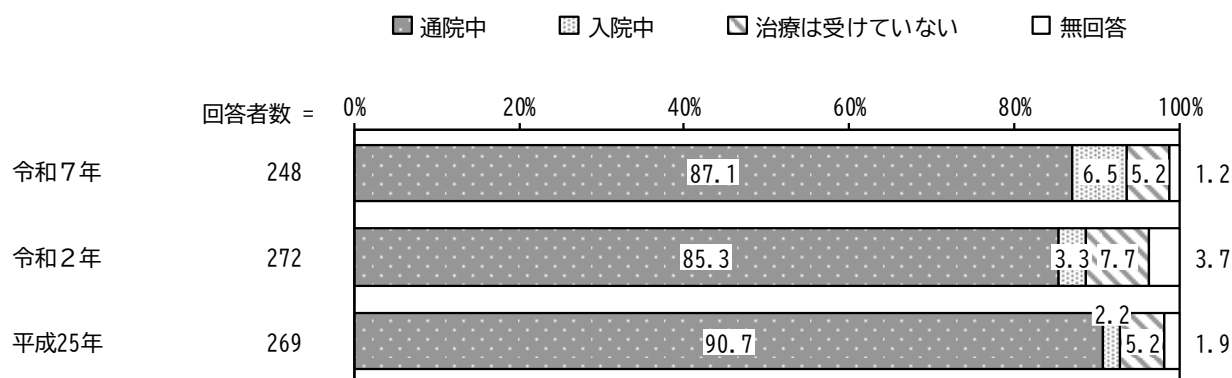
精神障害で現在の治療状況をみると、「通院中」の割合が87.1%、「入院中」の割合が6.5%、「治療は受けていない」の割合が5.2%となっています。

■ 現在の治療状況[単数回答]



精神障害で現在の治療状況の経年比較をみると、大きな変化はみられません。

■ 現在の治療状況[単数回答] (経年比較)

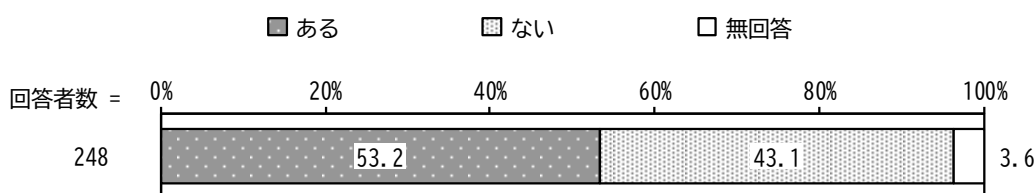


(5) 入院歴

① 入院歴

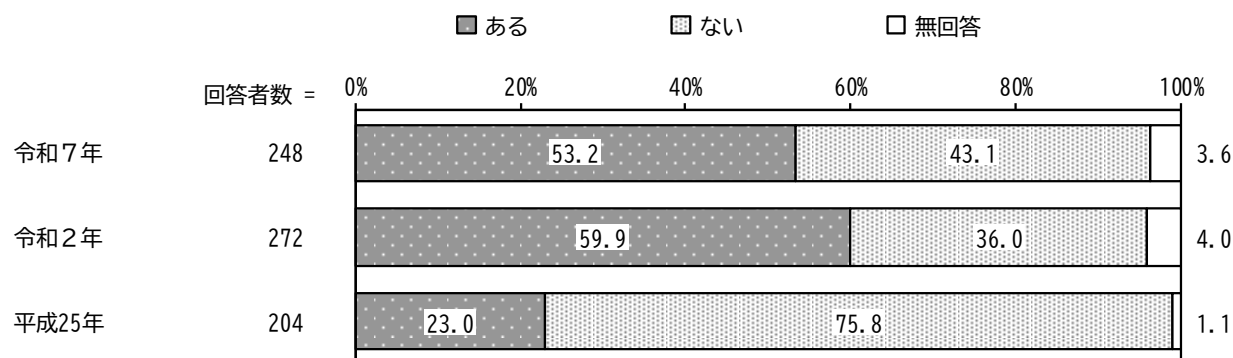
精神障害で入院歴をみると、「ある」の割合が53.2%、「ない」の割合が43.1%となっています。

■ 入院歴[単数回答]



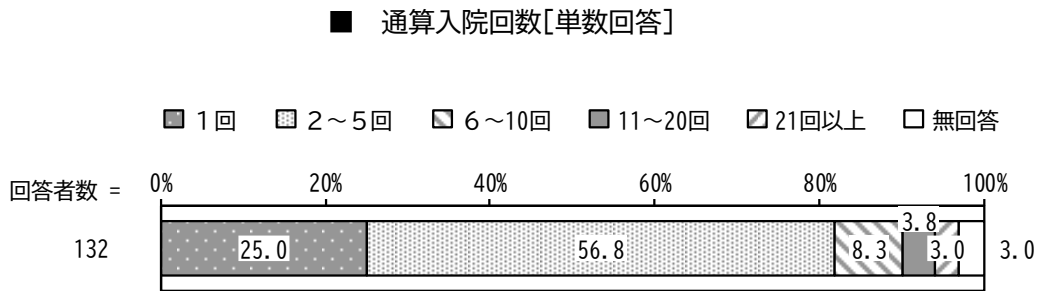
精神障害で入院歴の経年比較をみると、「ある」の割合が減少しています。

■ 入院歴[単数回答] (経年比較)

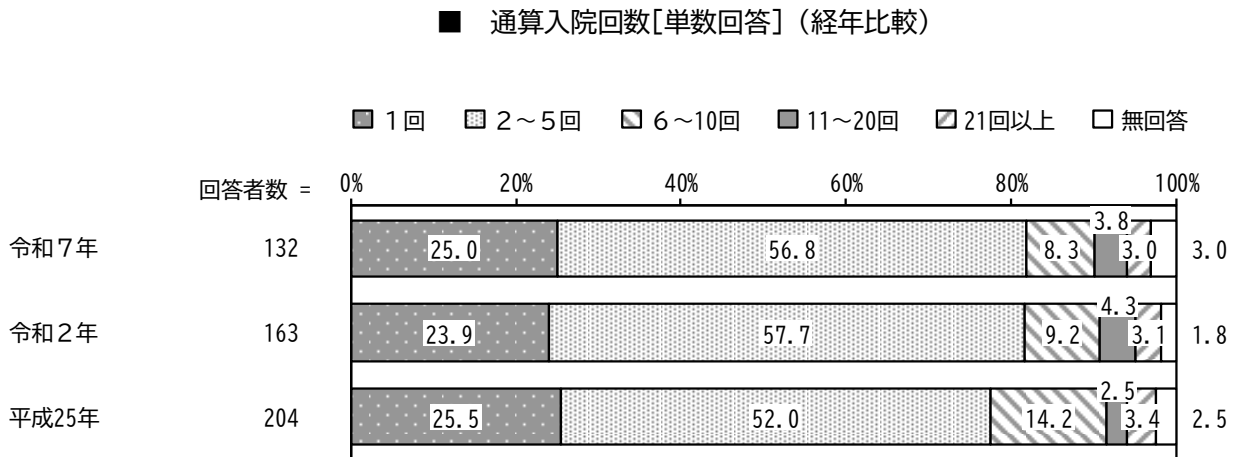


② 通算入院回数

精神障害で入院歴のある方の通算入院回数をみると、「2～5回」の割合が56.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が25.0%となっています。

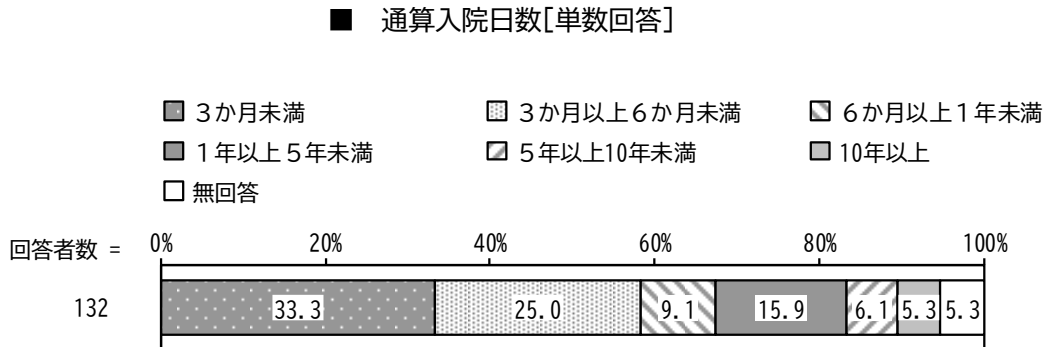


精神障害で入院歴のある方の通算入院回数の経年比較をみると、大きな変化はみられません。



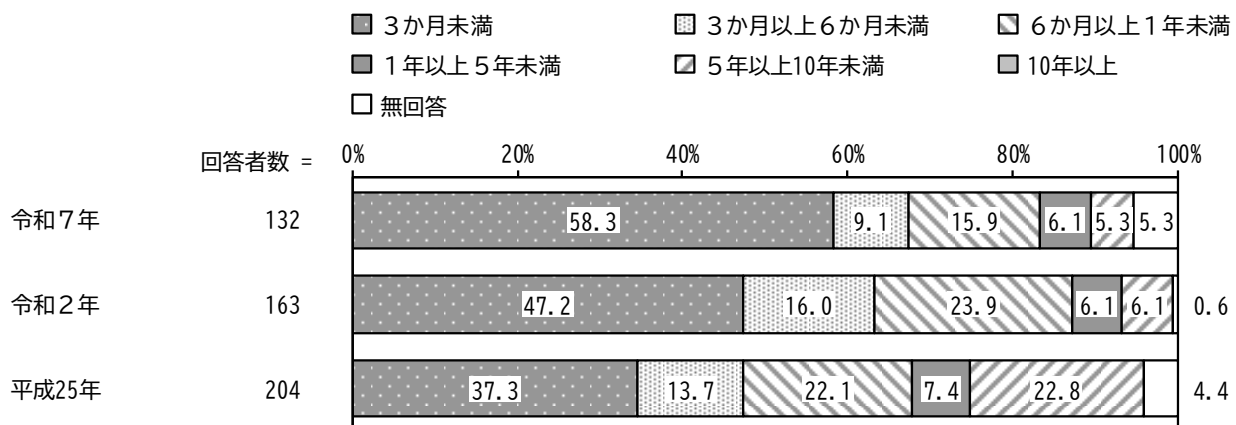
③ 通算入院日数

精神障害で入院歴のある方の通算入院日数をみると、「3か月未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3か月以上6か月未満」の割合が25.0%、「1年以上5年未満」の割合が15.9%となっています。



精神障害で入院歴のある方の通算入院日数の経年比較をみると、「3か月未満」は増加しています。

■ 通算入院日数[単数回答] (経年比較)

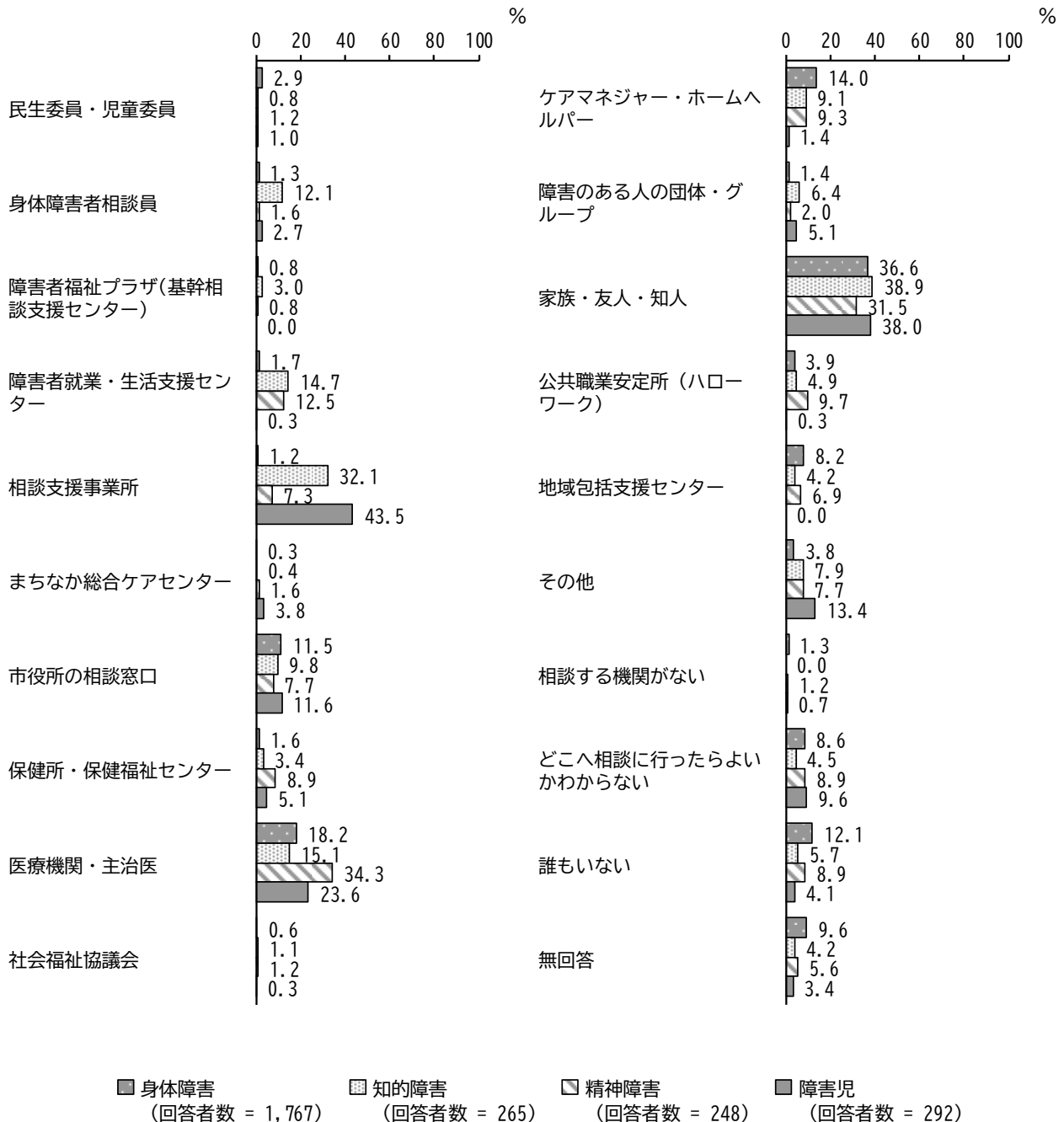


9 相談先について

(1) 医療・福祉サービスや就労における相談先

医療・福祉サービスや就労における相談先をみると、すべての障害で「家族・友人・知人」の割合が高くなっています。この他、知的障害、障害児は「相談支援事業所」、精神障害は「医療機関・主治医」の割合が高くなっています。

■ 医療・福祉サービスや就労における相談先[複数回答]

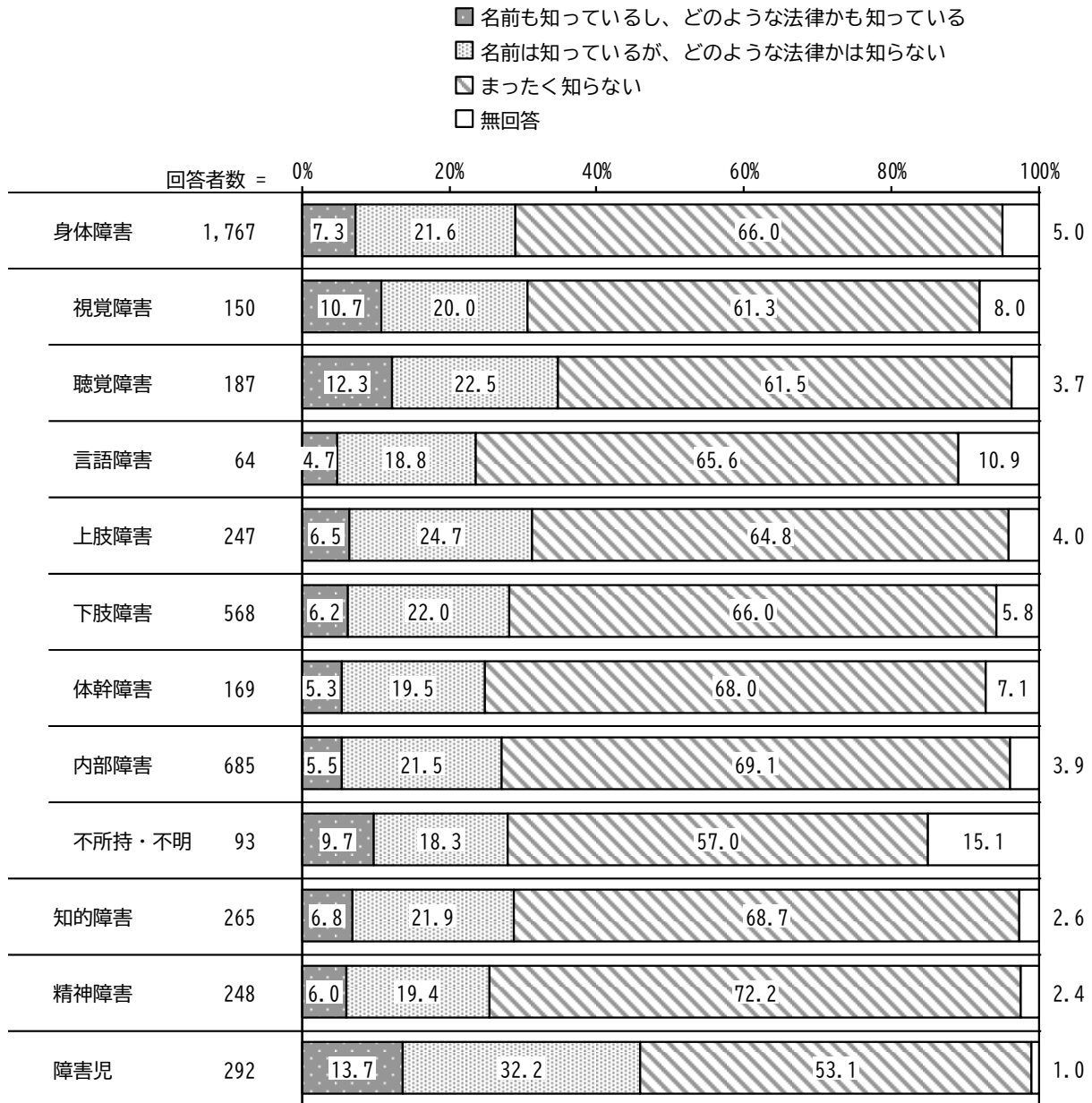


10 障害に関する法律について

(1) 障害者差別解消法の認知度

障害者差別解消法の認知度をみると、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」は障害児を除き1割未満となっています。「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」は、身体障害、知的障害、精神障害で2割、障害児で約3割となっています。

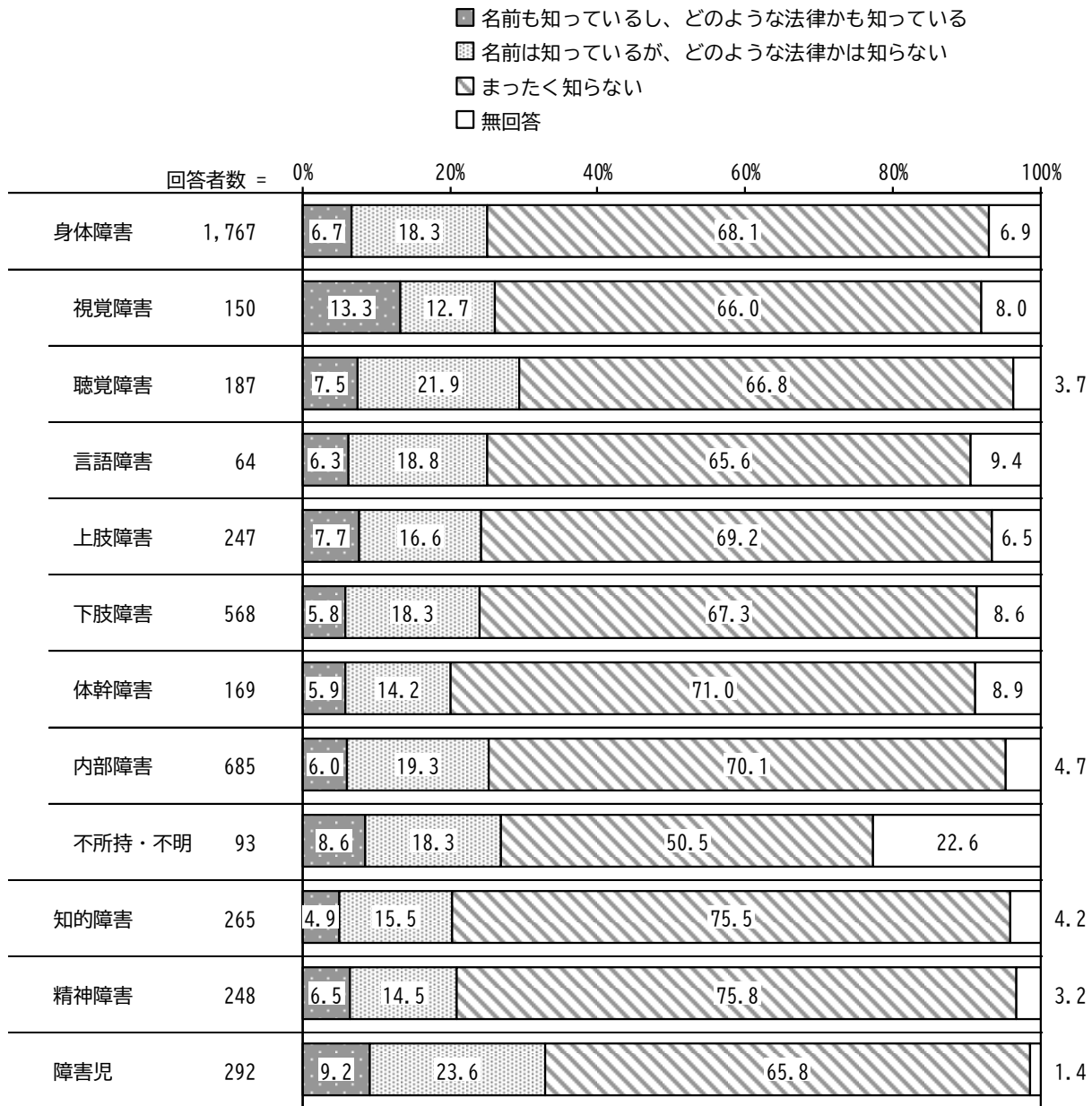
■ 障害者差別解消法の認知度[単数回答]



(2) 改正障害者雇用促進法の認知度

改正障害者雇用促進法の認知度をみると、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」はすべての障害で1割未満となっています。「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」は身体障害、障害児で約2割、知的障害、精神障害で約1割半となっています。

■ 改正障害者雇用促進法の認知度[単数回答]

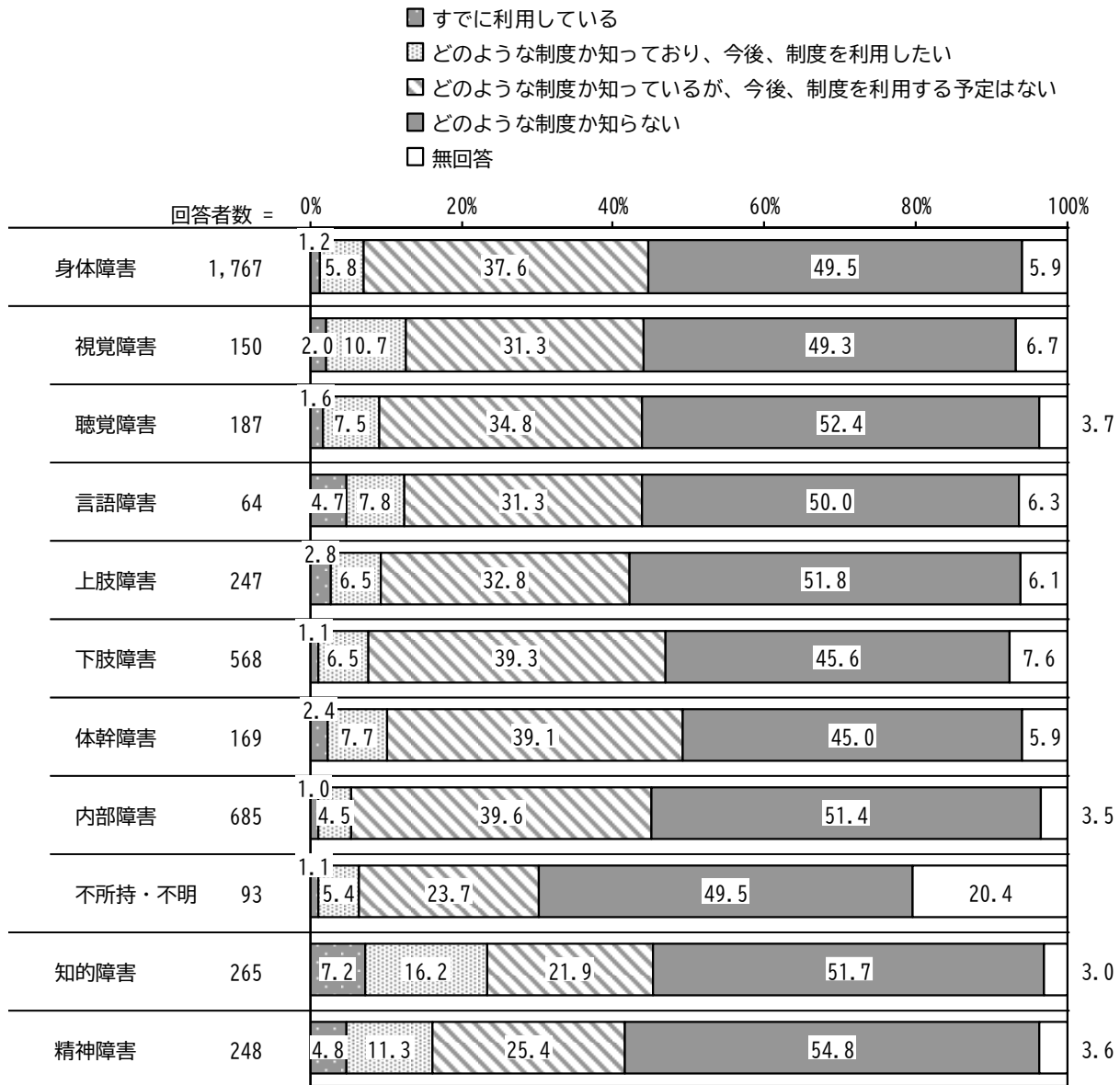


11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の利用状況と利用希望

成年後見制度の利用状況と利用希望をみると、「すでに利用している」はいずれの障害も1割未満となっています。「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」は、知的障害で約1割半、精神障害で約1割となっています。

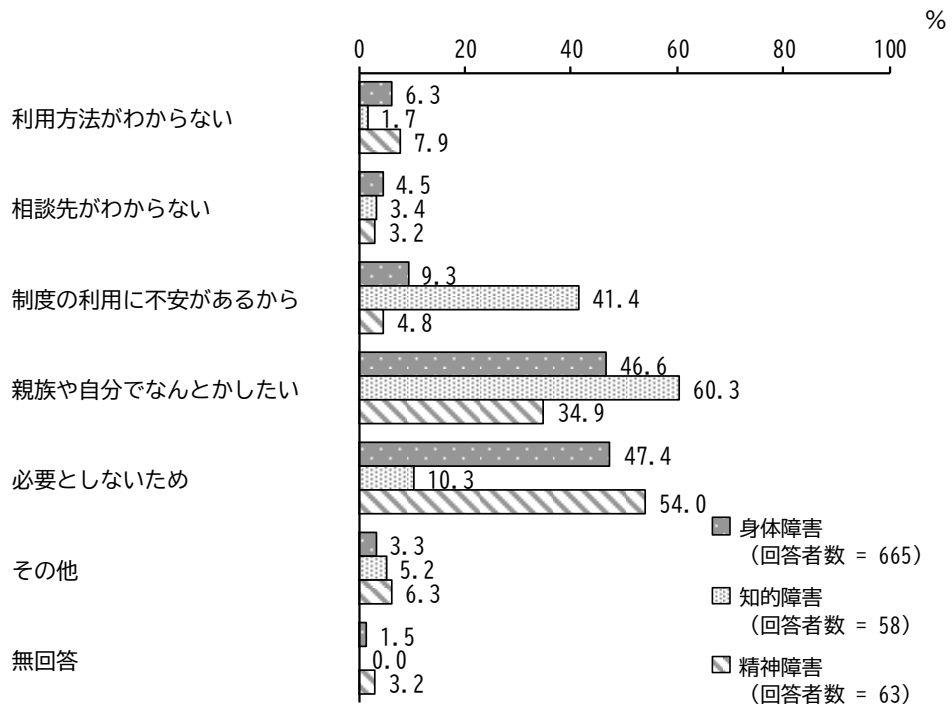
■ 成年後見制度の利用状況と利用希望[単数回答]



(2) 成年後見制度を利用しない理由

どのような制度か知っているが、今後、成年後見制度を利用する予定はないの理由をみると、身体障害は「必要としないため」、「親族や自分でなんとかしたい」、知的障害は「制度の利用に不安があるから」、「親族や自分でなんとかしたい」、精神障害は「必要としないため」、「親族や自分でなんとかしたい」の割合が高くなっています。

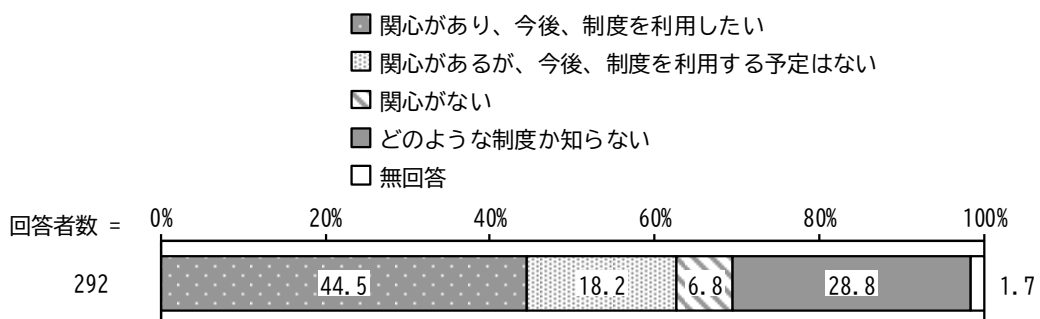
■ 成年後見制度を利用しない理由[複数回答]



(3) 成年後見制度への関心、利用意向

障害児で成年後見制度への関心、利用意向をみると、「関心があり、今後、制度を利用したい」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「どのような制度か知らない」の割合が 28.8%、「関心があるが、今後、制度を利用する予定はない」の割合が 18.2%となっています。

■ 成年後見制度への関心、利用意向[単数回答]

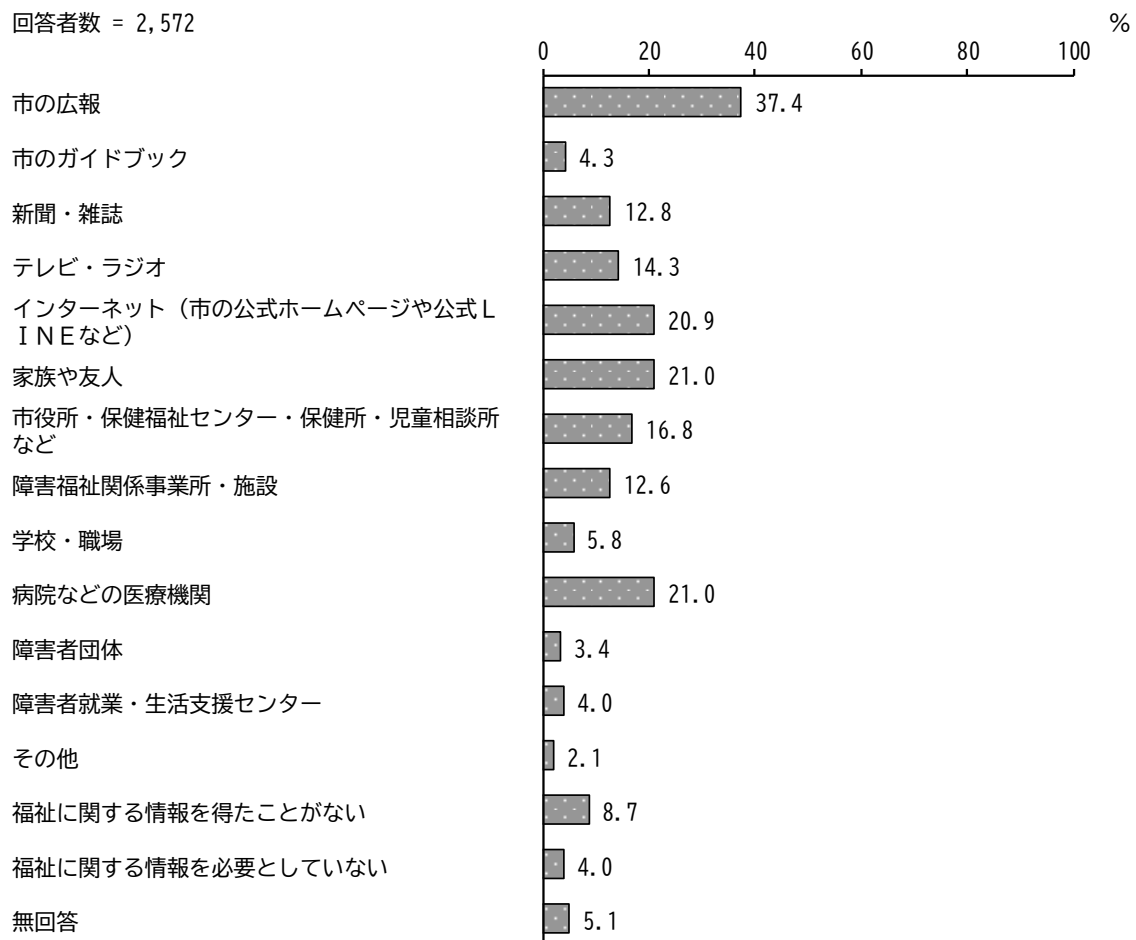


12 情報入手などについて

(1) 障害福祉に関する情報の入手先

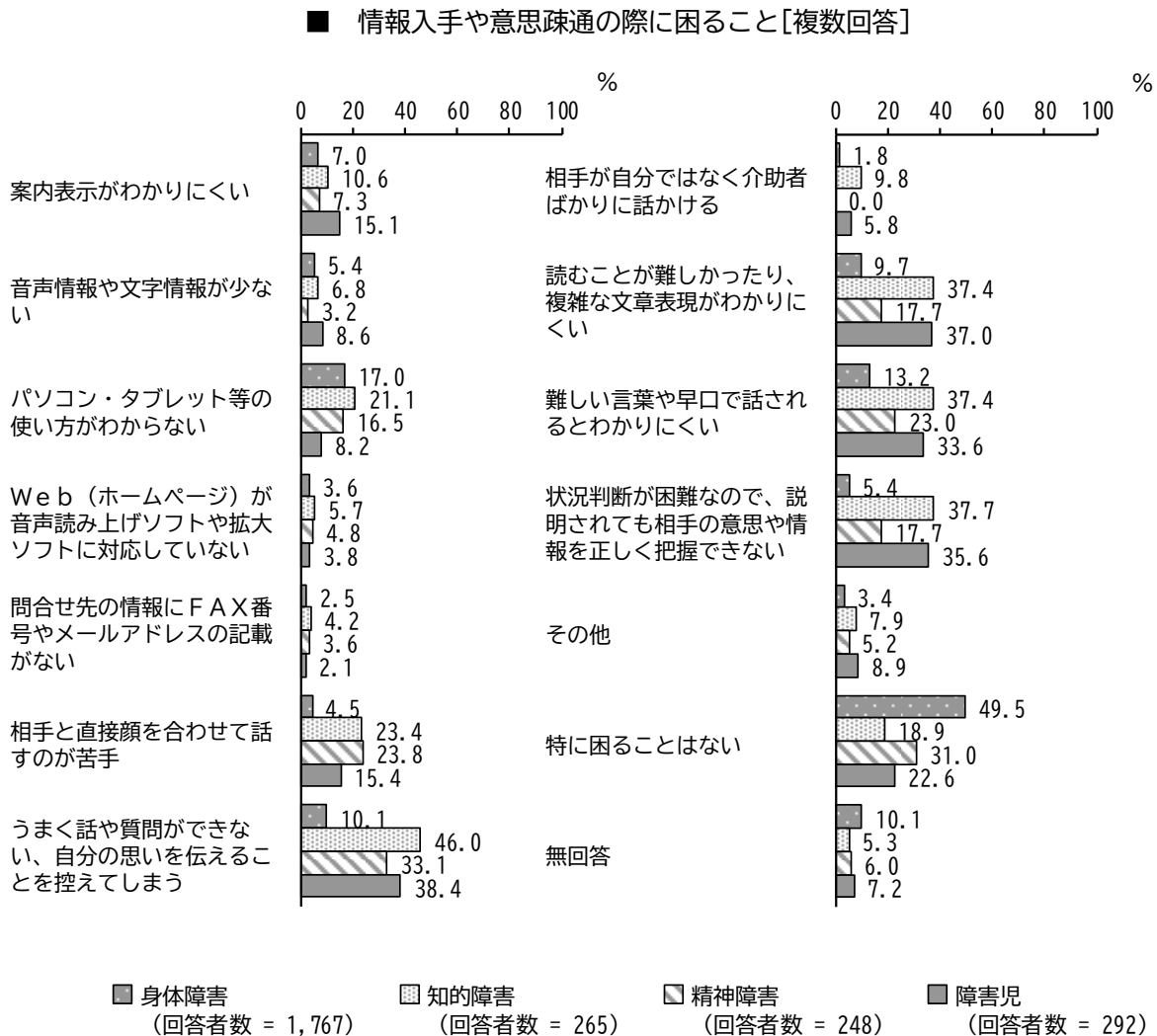
障害福祉に関する情報の入手先をみると、「市の広報」の割合が最も高く、次いで「家族や友人」、「病院などの医療機関」、「インターネット(市の公式ホームページや公式LINEなど)」となっています。

■ 障害福祉に関する情報の入手先[複数回答]



(2) 情報入手や意思疎通の際に困ること

情報入手や意思疎通の際に困ることをみると、知的障害、精神障害、障害児で「うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう」、知的障害、障害児で「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」、「読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい」、「状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない」の割合が高くなっています。

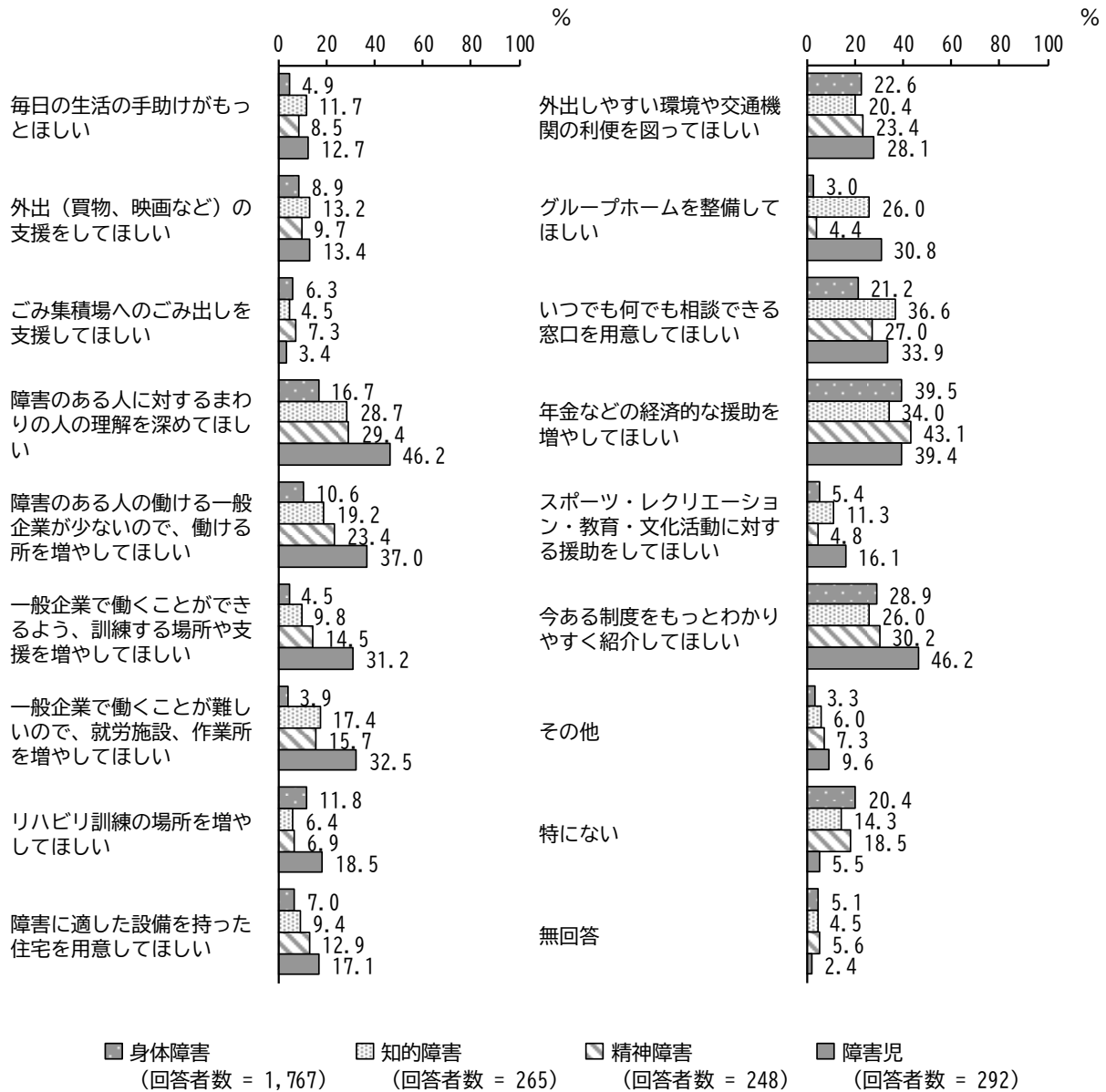


13 福祉施策について

(1) 暮らしやすくするためにしてほしいこと

暮らしやすくするためにしてほしいことをみると、いずれの障害でも「障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい」、「いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい」、「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」、「今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい」の割合が高くなっています。

■ 暮らしやすくするためにしてほしいこと〔複数回答〕

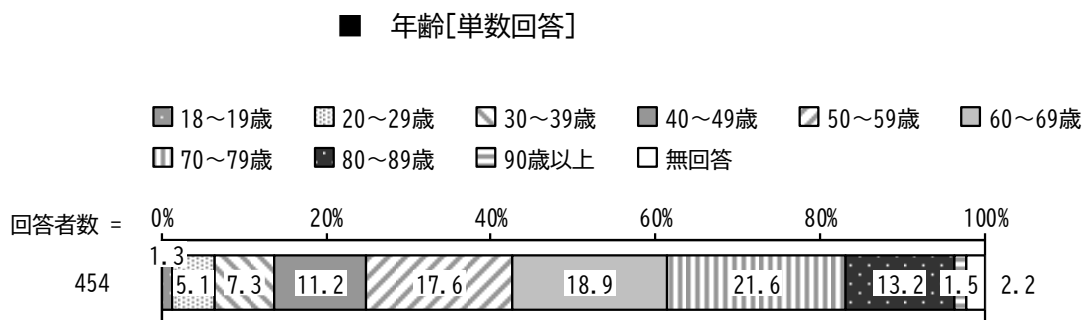


Ⅲ アンケート調査結果（障害のない市民）

1 回答者の基本属性

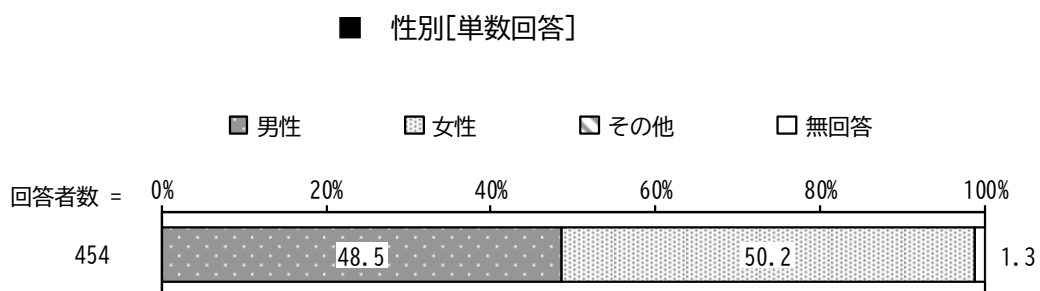
(1) 年齢

回答者の年齢は以下のとおりです。



(2) 性別

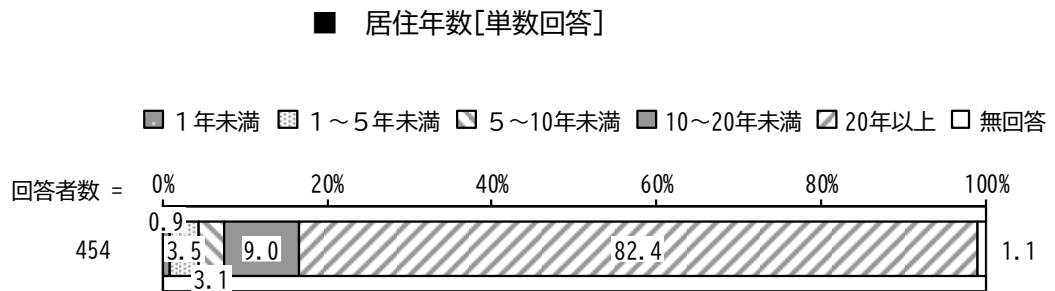
回答者の性別は以下のとおりです。



2 お住まいの地域について

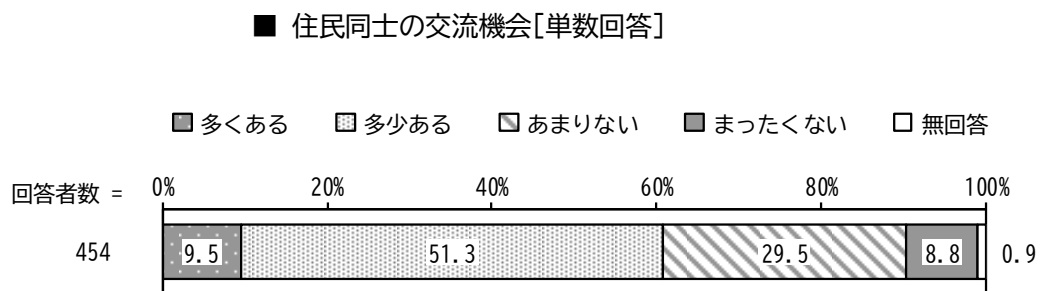
(1) 居住年数

居住年数については、「20年以上」の割合が82.4%と最も高くなっています。



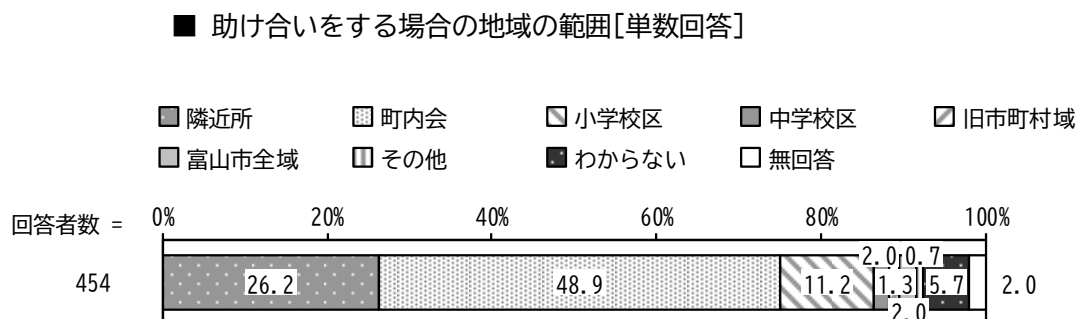
(2) 住民同士の交流機会

住民同士の交流機会については、「多少ある」の割合が51.3%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が29.5%となっています。



(3) 助け合いをする場合の地域の範囲

助け合いをする場合の地域の範囲については、「町内会」の割合が48.9%と最も高く、次いで「隣近所」の割合が26.2%、「小学校区」の割合が11.2%となっています。

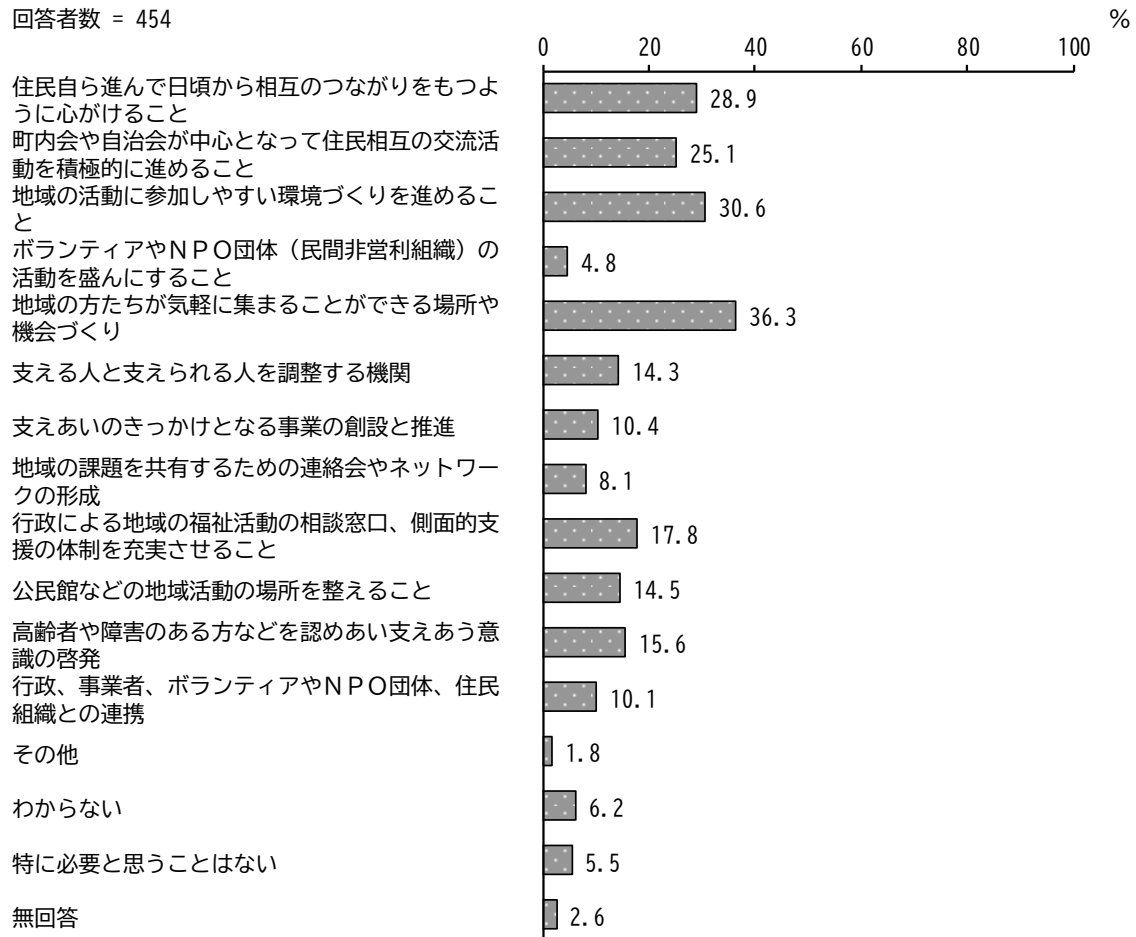


(4) 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと

住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なことについては、「地域の方たちが気軽に集まることができる場所や機会づくり」の割合が36.3%と最も高く、次いで「地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること」の割合が30.6%、「住民自ら進んで日頃から相互のつながりをもつように心がけること」の割合が28.9%となっています。

■ 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと[複数回答(3つまで)]

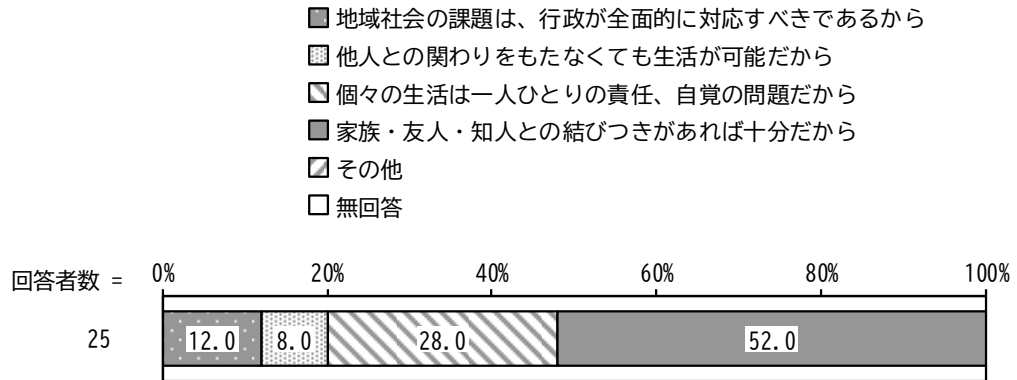
回答者数 = 454



(5) 特に必要と思うことはない理由

住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なことで、特に思うことはないと回答した方の理由をみると「家族・友人・知人との結びつきがあれば十分だから」の割合が52.0%と最も高く、次いで「個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」の割合が28.0%、「地域社会の課題は、行政が全面的に対応すべきであるから」の割合が12.0%となっています。

■ 特に必要と思うことはない理由[単数回答]

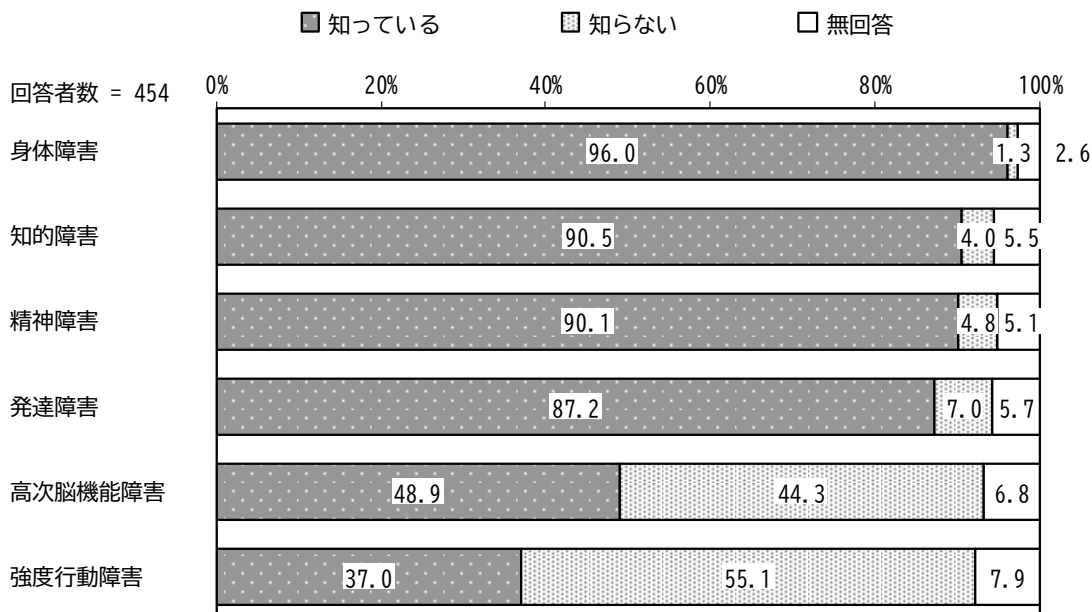


3 障害への理解について

(1) 障害種別の認知度

障害種別の認知度をみると「知っている」の割合が身体障害が96.0%、知的障害が90.5%、精神障害が90.1%、発達障害が87.2%、高次脳機能障害が48.9%、強度行動障害が37.0%となっています。

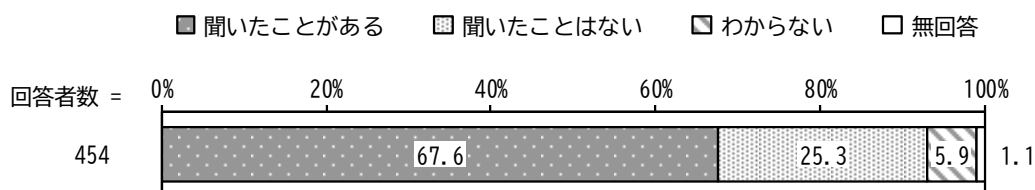
■ 障害種別の認知度[単数回答]



(2) 「共生社会」の認知度

「共生社会」の認知度をみると、「聞いたことがある」が67.6%、「聞いたことはない」が25.3%となっています。

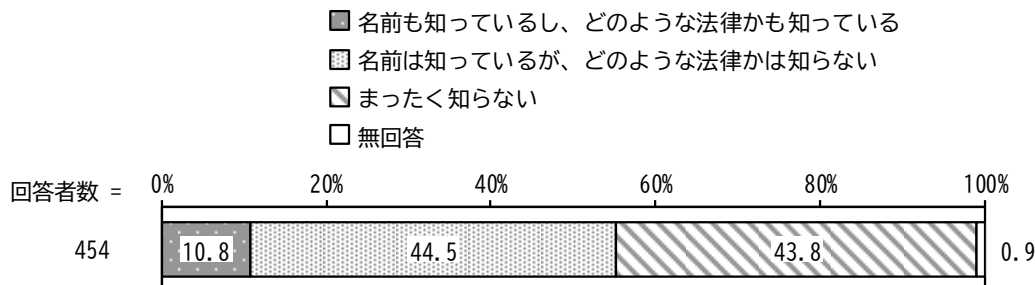
■ 「共生社会」の認知度[単数回答]



(3) 障害者差別解消法の認知度

障害者差別解消法の認知度をみると、「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」(44.5%)が最も多く、次いで「まったく知らない」(43.8%)、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」(10.8%)の順となっています。

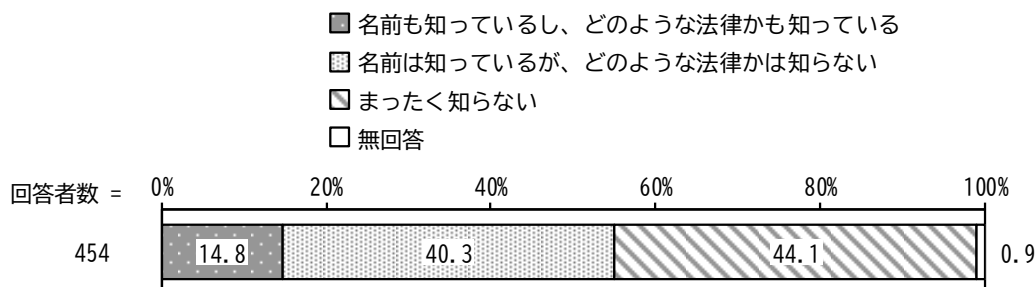
■ 障害者差別解消法の認知度[単数回答]



(4) 改正障害者雇用促進法の認知度

改正障害者雇用促進法の認知度をみると、「まったく知らない」(44.1%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」(40.3%)、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」(14.8%)の順となっています。

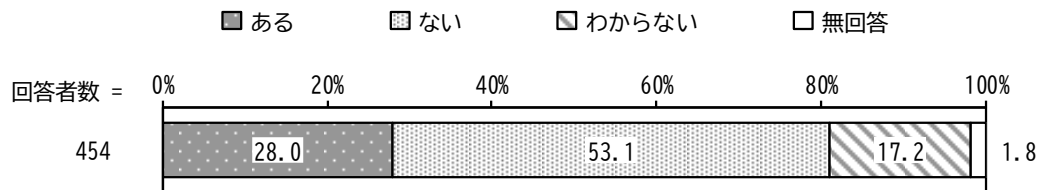
■ 改正障害者雇用促進法の認知度[単数回答]



(5) 障害を理由とした差別への遭遇

障害を理由とした差別への遭遇をみると、「ある」の割合が28.0%、「ない」の割合が53.1%となっています。

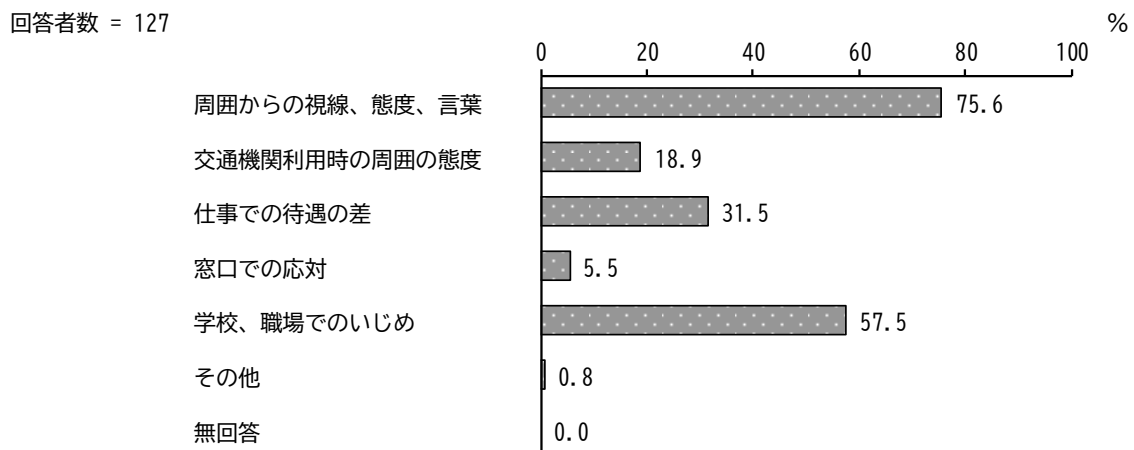
■ 障害を理由とした差別への遭遇[単数回答]



(6) 遭遇した差別の内容

障害を理由とした差別に遭遇したことがある方の内容をみると、「周囲からの視線、態度、言葉」の割合が75.6%と最も高く、次いで「学校、職場でのいじめ」が57.5%、「仕事での待遇の差」が31.5%となっています。

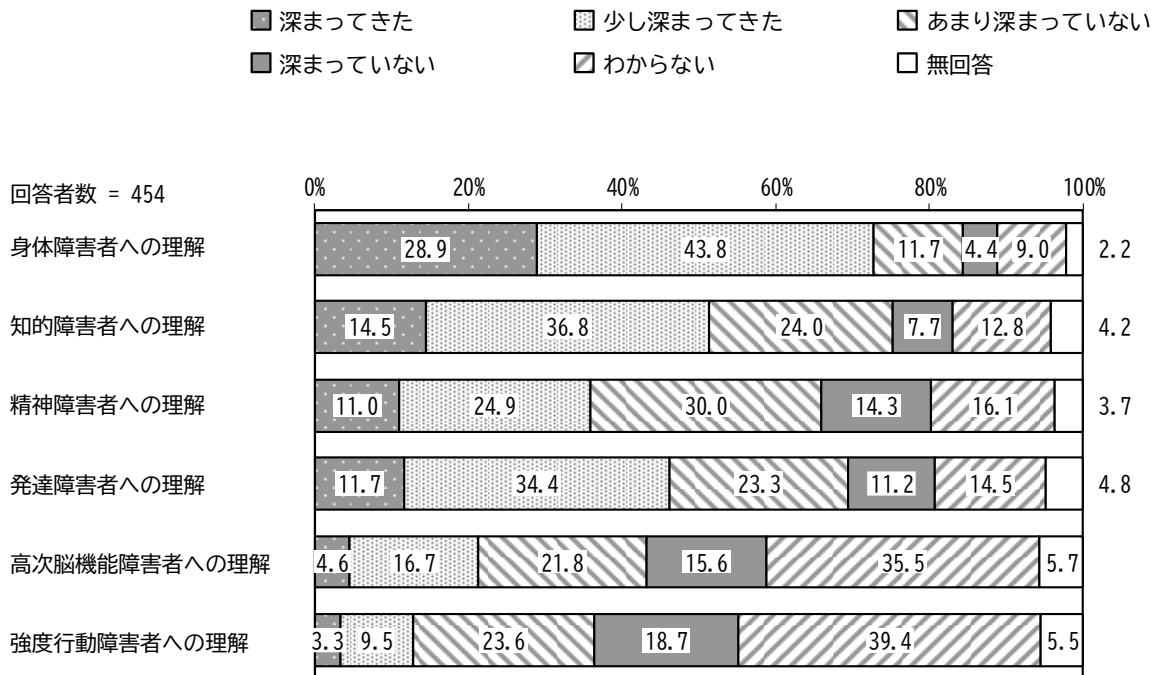
■ 遭遇した差別の内容[複数回答]



(7) 障害に対する理解の浸透度

障害に対する理解の浸透度をみると、「深まってきた」、「少し深まってきた」を合わせた割合は、身体障害者で72.7%、知的障害者で51.3%、精神障害者で35.9%、発達障害者で46.1%、高次脳機能障害者で21.3%、強度行動障害者」で12.8%となっています。

■ 障害に対する理解の浸透度[単数回答]

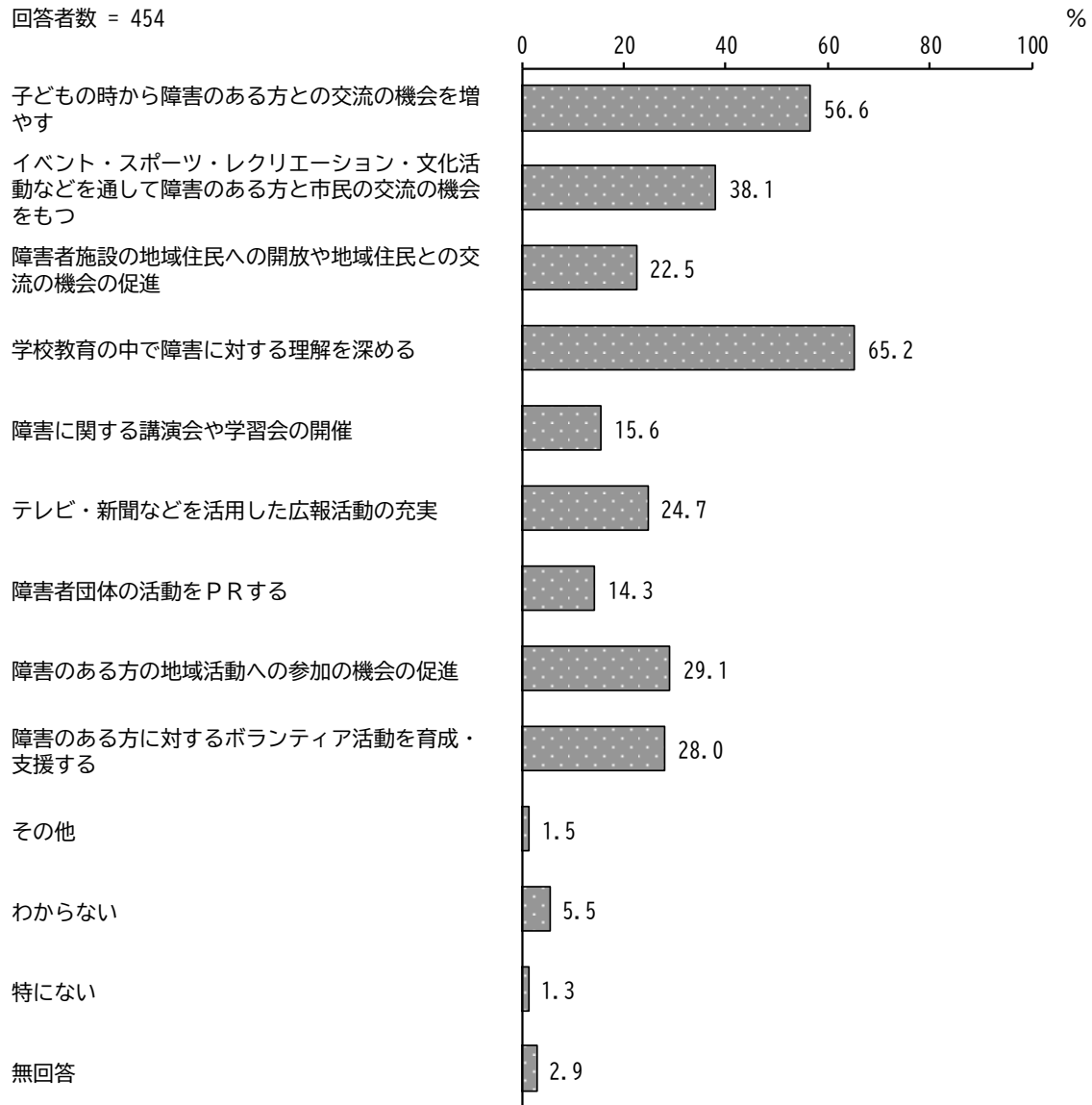


(8) 障害に対する理解を深めるために必要な取組

障害に対する理解を深めるために必要な取組をみると、「学校教育の中で障害に対する理解を深める」の割合が65.2%と最も高く、次いで「子どもの時から障害のある方との交流の機会を増やす」が56.6%、「イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通して障害のある方と市民の交流の機会をもつ」が38.1%となっています。

■ 障害に対する理解を深めるために必要な取組[複数回答]

回答者数 = 454

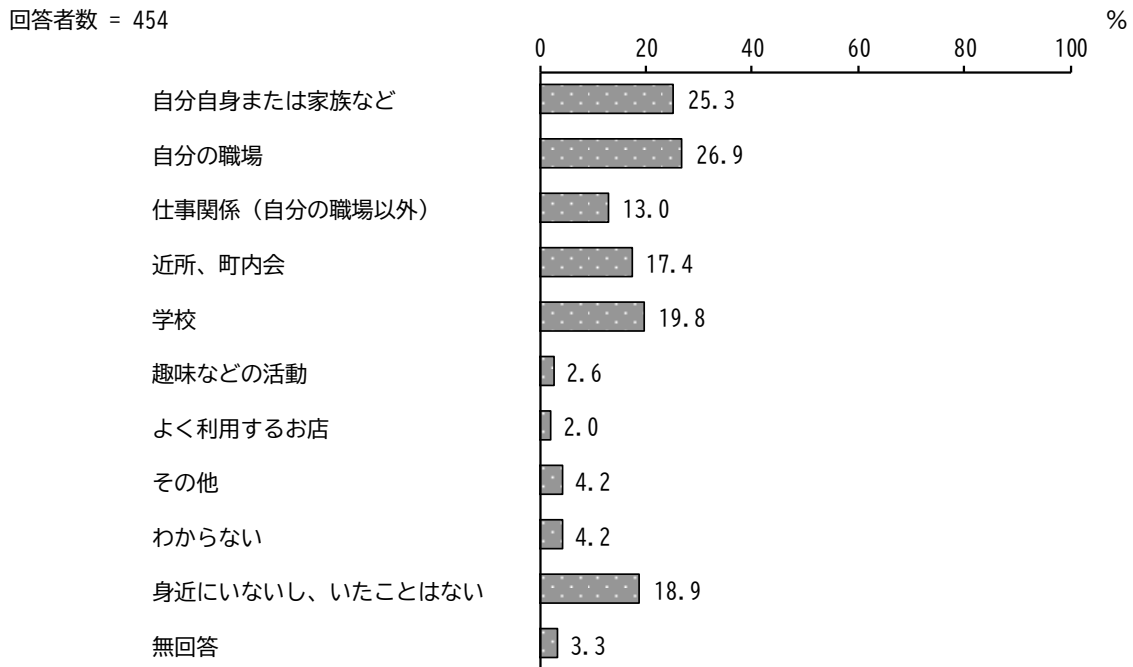


4 障害のある方との関わりについて

(1) 周囲における障害者の有無

周囲における障害者の有無をみると、「自分の職場」の割合が26.9%と最も高く、次いで「自分自身または家族など」が25.3%、「学校」が19.8%となっています。

■ 周囲における障害者の有無[複数回答]

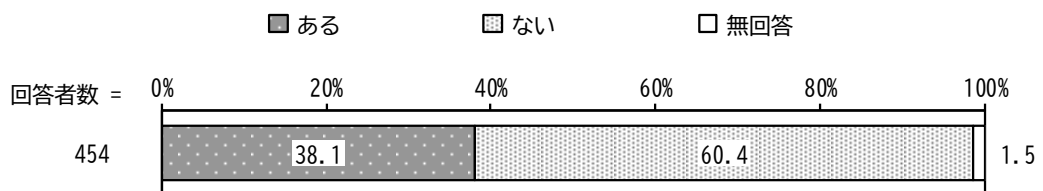


(2) 障害者への手助けについて

① 障害者への手助けの経験の有無

障害者への手助けの経験の有無をみると、「ある」の割合が38.1%、「ない」の割合が60.4%となっています。

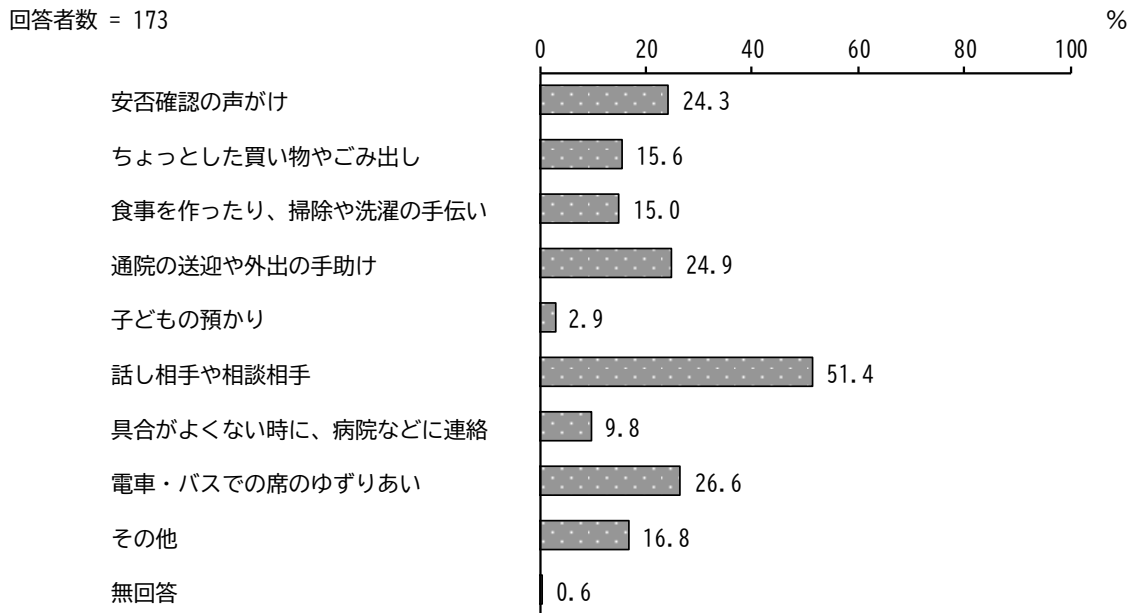
■ 障害者への手助けの経験の有無[単数回答]



② 手助けの内容

障害者への手助けの経験がある方の手助けの内容をみると、「話し相手や相談相手」の割合が51.4%と最も高く、次いで「電車・バスでの席のゆずりあい」が26.6%、「通院の送迎や外出の手助け」が24.9%となっています。

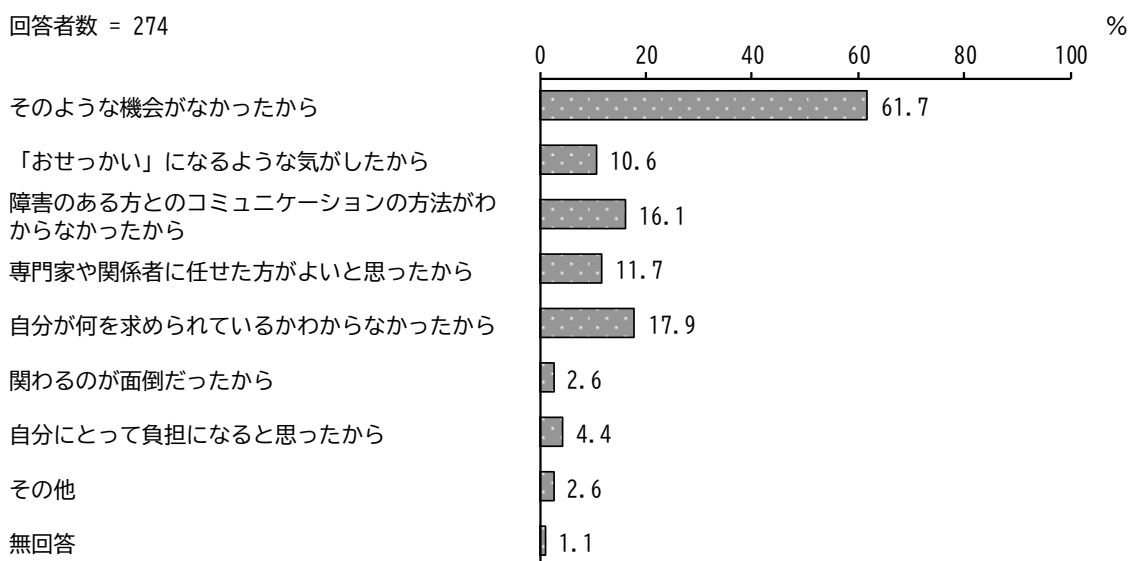
■ 手助けの内容[複数回答]



③ 手助けの経験がない理由

障害者への手助けの経験がない方の理由をみると、「そのような機会がなかったから」の割合が61.7%と最も高く、次いで「自分が何を求められているかわからなかったから」が17.9%、「障害のある方とのコミュニケーションの方法がわからなかったから」が16.1%となっています。

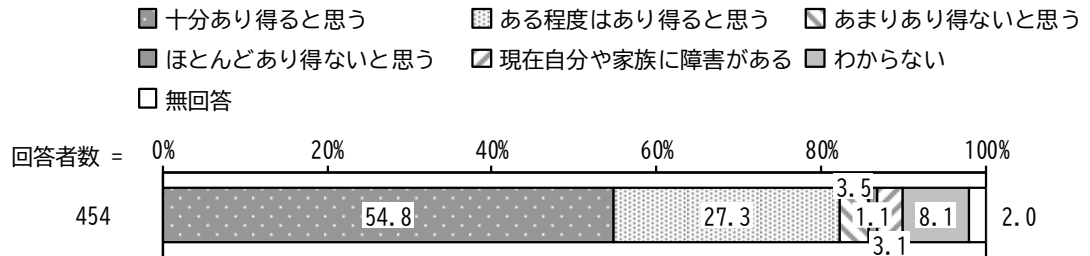
■ 手助けの経験がない理由[複数回答]



(3) 自分や家族が障害のある状態になる可能性の認識

自分や家族が障害のある状態になる可能性の認識をみると、「十分あり得ると思う」の割合が54.8%と最も高く、次いで「ある程度はあり得ると思う」の割合が27.3%となっています。

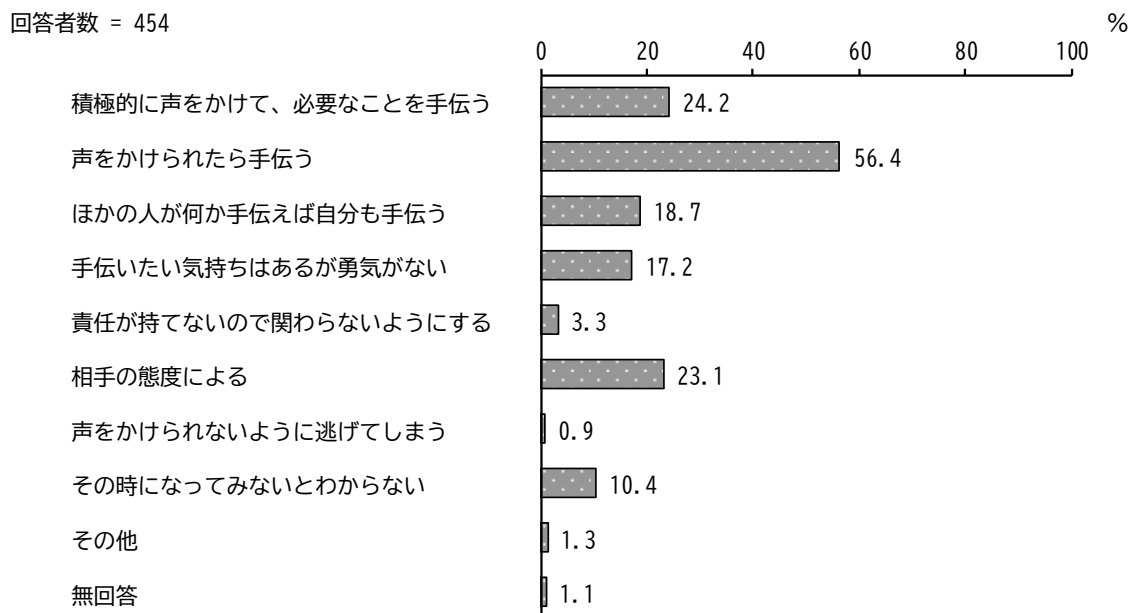
■ 自分や家族が障害のある状態になる可能性の認識[単数回答]



(4) 街中で障害者に出会った時の対応

街中で障害者に出会った時の対応をみると、「声をかけられたら手伝う」の割合が56.4%と最も高く、次いで「積極的に声をかけて、必要なことを手伝う」が24.2%、「相手の態度による」が23.1%となっています。

■ 街中で障害者に出会った時の対応[複数回答]

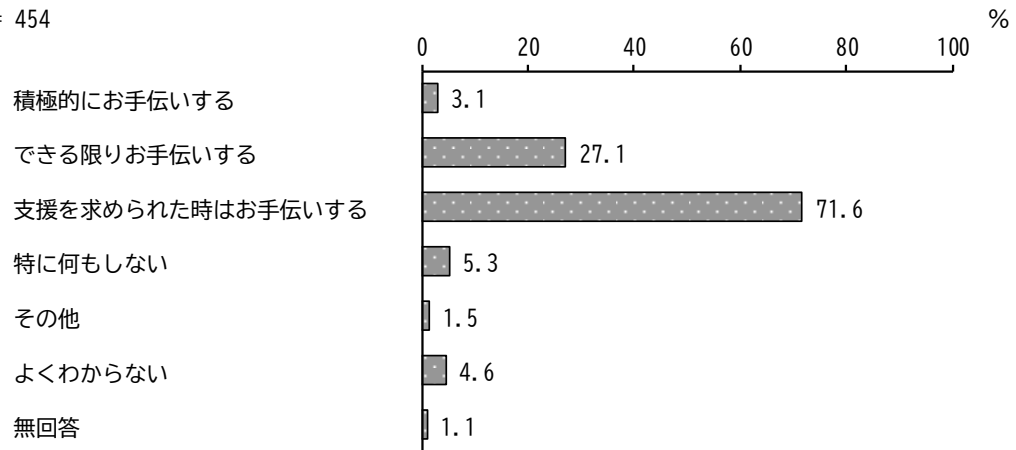


(5) 近所で障害のために困っている世帯への対応

近所で障害のために困っている世帯への対応をみると、「支援を求められた時はお手伝いする」の割合が71.6%と最も高く、次いで「できる限りお手伝いする」が27.1%となっています。

■ 近所で障害のために困っている世帯への対応[複数回答]

回答者数 = 454

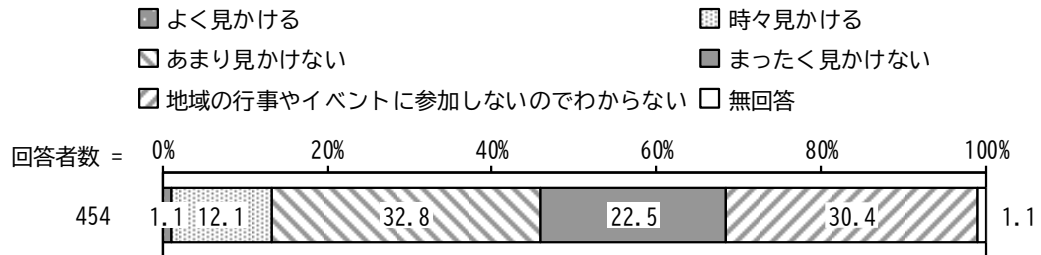


5 障害のある方の社会参加について

(1) 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況

地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況をみると、「あまり見かけない」の割合が32.8%と最も高く、次いで「地域の行事やイベントに参加しないのでわからない」が30.4%、「まったく見かけない」が22.5%となっています。

■ 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況[単数回答]

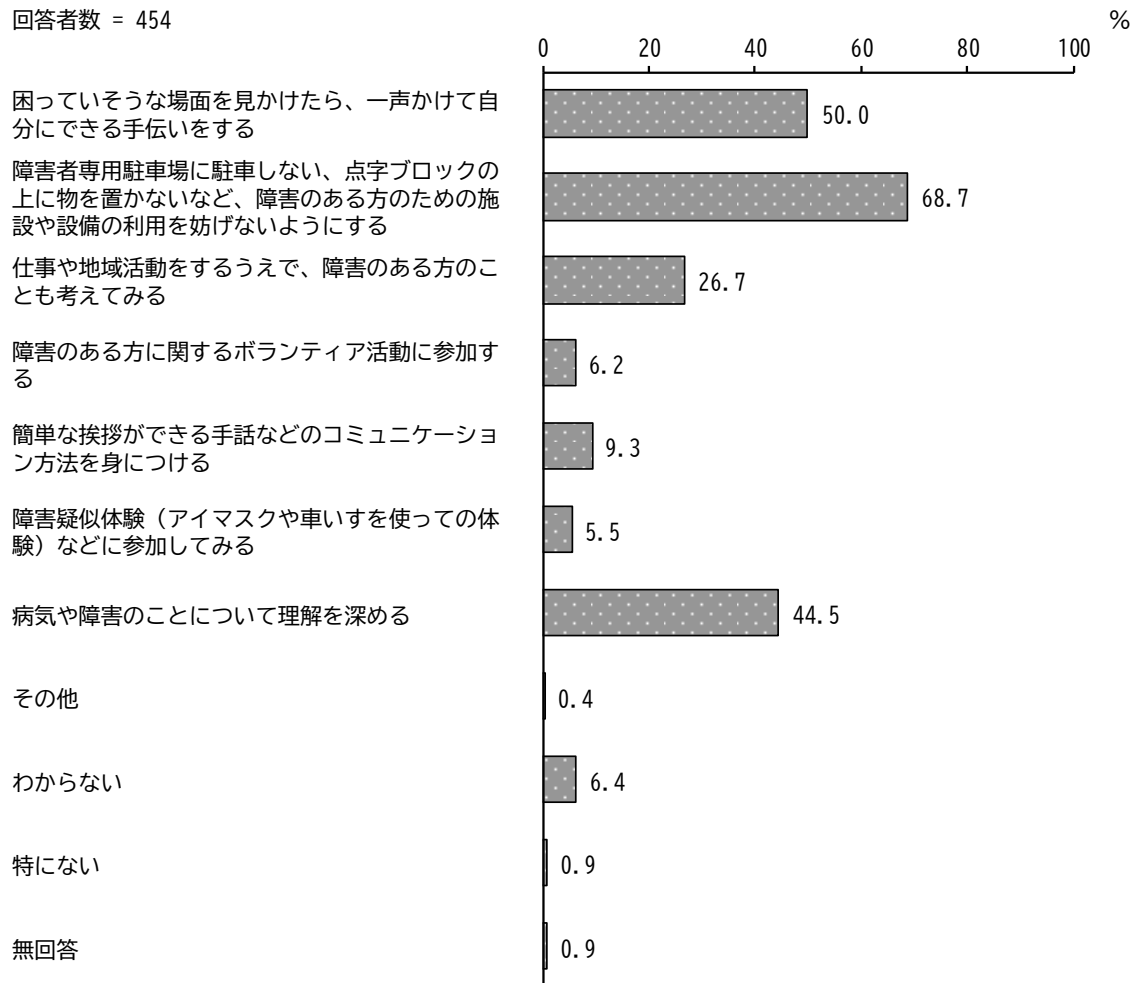


(2) 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること

障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できることをみると、「障害者専用駐車場に駐車しない、点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある方のための施設や設備の利用を妨げないようにする」の割合が68.7%と最も高く、次いで「困っていそうな場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする」が50.0%、「病気や障害のことについて理解を深める」が44.5%となっています。

■ 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること[複数回答]

回答者数 = 454

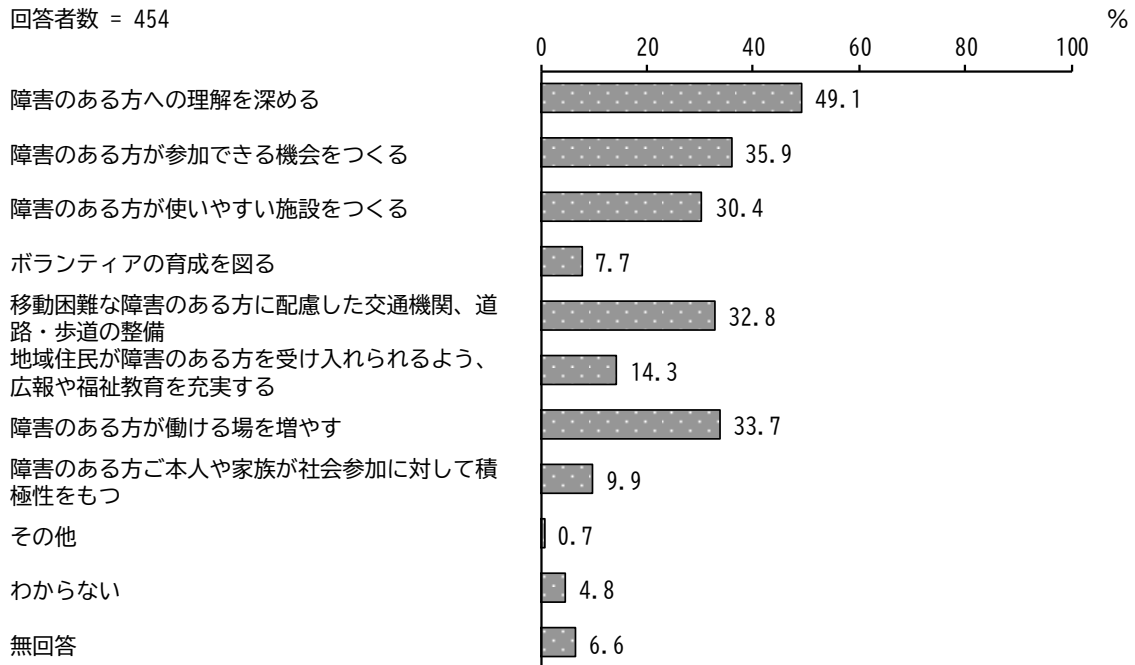


(3) 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと

障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なことをみると、「障害のある方への理解を深める」の割合が49.1%と最も高く、次いで「障害のある方が参加できる機会をつくる」が35.9%、「障害のある方が働ける場を増やす」が33.7%となっています。

■ 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと[複数回答(3つまで)]

回答者数 = 454



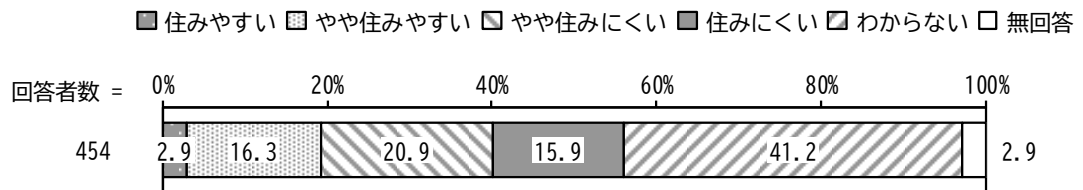
6 障害のある方の地域生活について

(1) 住みやすさについて

① お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいか

お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいかをみると、「住みやすい」、「やや住みやすい」を合わせた割合が 19.2%、「やや住みにくい」、「住みにくい」を合わせた割合が 36.8%となっています。

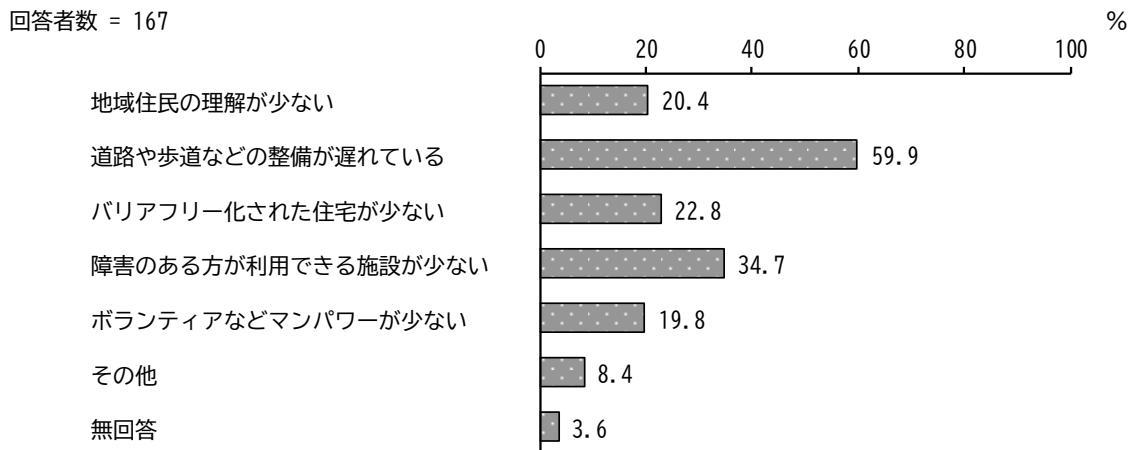
■ お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいか[単数回答]



② 住みにくいと思う理由

お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいかの回答で、住みにくいと回答した方の理由をみると、「道路や歩道などの整備が遅れている」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「障害のある方が利用できる施設が少ない」の割合が 34.7%、「バリアフリー化された住宅が少ない」の割合が 22.8%となっています。

■ 住みにくいと思う理由[複数回答 (2つまで)]

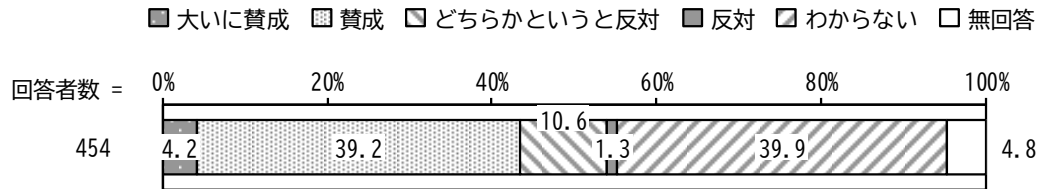


(2) 障害のある方の地域移行について

① 障害のある方の地域移行について

障害のある方の地域移行についてどのように思うかをみると、「大いに賛成」、「賛成」を合わせた割合が43.4%、「どちらかという反対」、「反対」を合わせた割合が11.9%となっています。

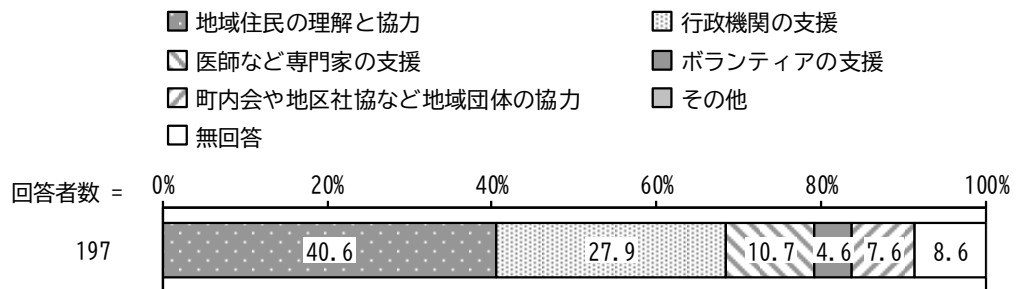
■ 障害のある方の地域移行についてどのように思うか[単数回答]



② 地域移行のための必要な基盤

障害のある方の地域移行についてどのように思うかで「大いに賛成」、「賛成」と回答した方の地域移行のための必要な基盤をみると、「地域住民の理解と協力」の割合が40.6%と最も高く、次いで「行政機関の支援」が27.9%、「医師など専門家の支援」が10.7%となっています。

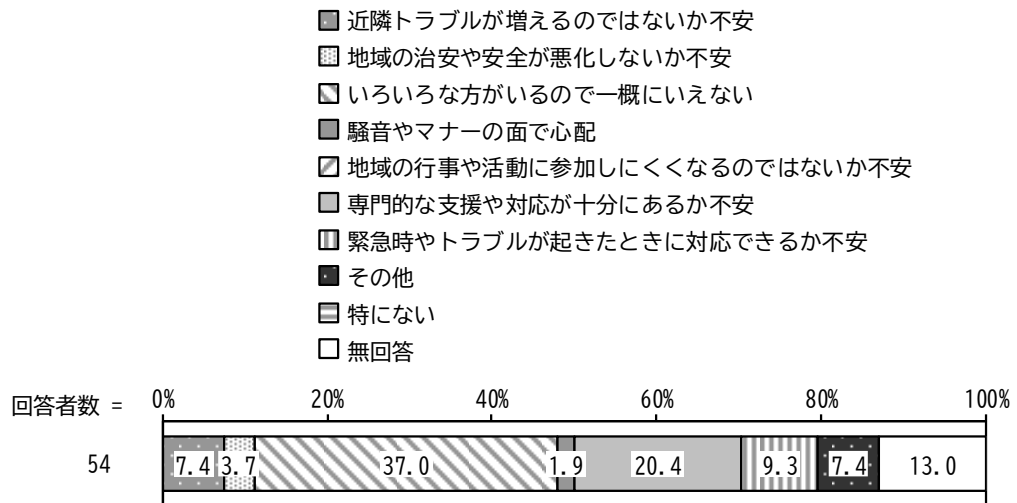
■ 地域移行を進めるために必要な基盤[単数回答]



③ 地域移行に反対する理由

障害のある方の地域移行についてどのように思うかで「どちらかというと反対」、「反対」と回答した方の理由をみると「いろいろな方がいるので一概にいけない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「専門的な支援や対応が十分にあるか不安」が20.4%となっています。

■ 地域移行に反対する理由[単数回答]

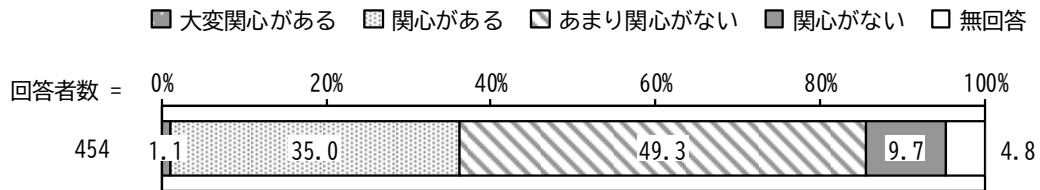


7 ボランティアについて

(1) ボランティアの関心度

ボランティアの関心度をみると、「大変関心がある」、「関心がある」を合わせた割合が36.1%、「あまり関心がない」、「関心がない」を合わせた割合が59.0%となっています。

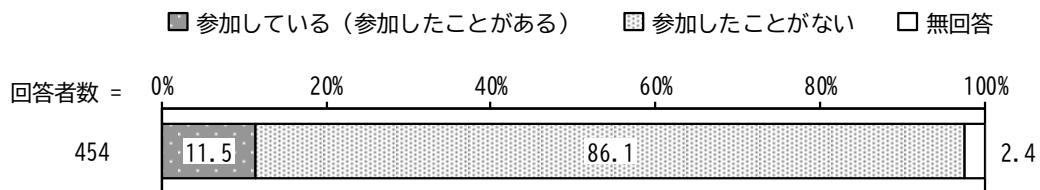
■ ボランティアの関心度[単数回答]



(2) ボランティア活動への参加の有無

ボランティア活動への参加の有無をみると、「参加している(参加したことがある)」の割合が11.5%、「参加したことがない」の割合が86.1%となっています。

■ ボランティア活動への参加の有無[単数回答]

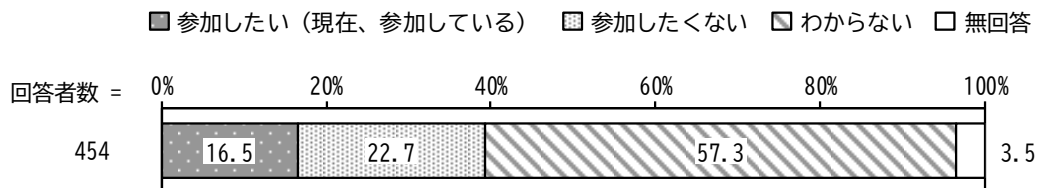


(3) 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向

① 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向

障害のある方に関わるボランティアへの参加意向をみると、「わからない」の割合が57.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が22.7%、「参加したい(現在、参加している)」が16.5%、となっています。

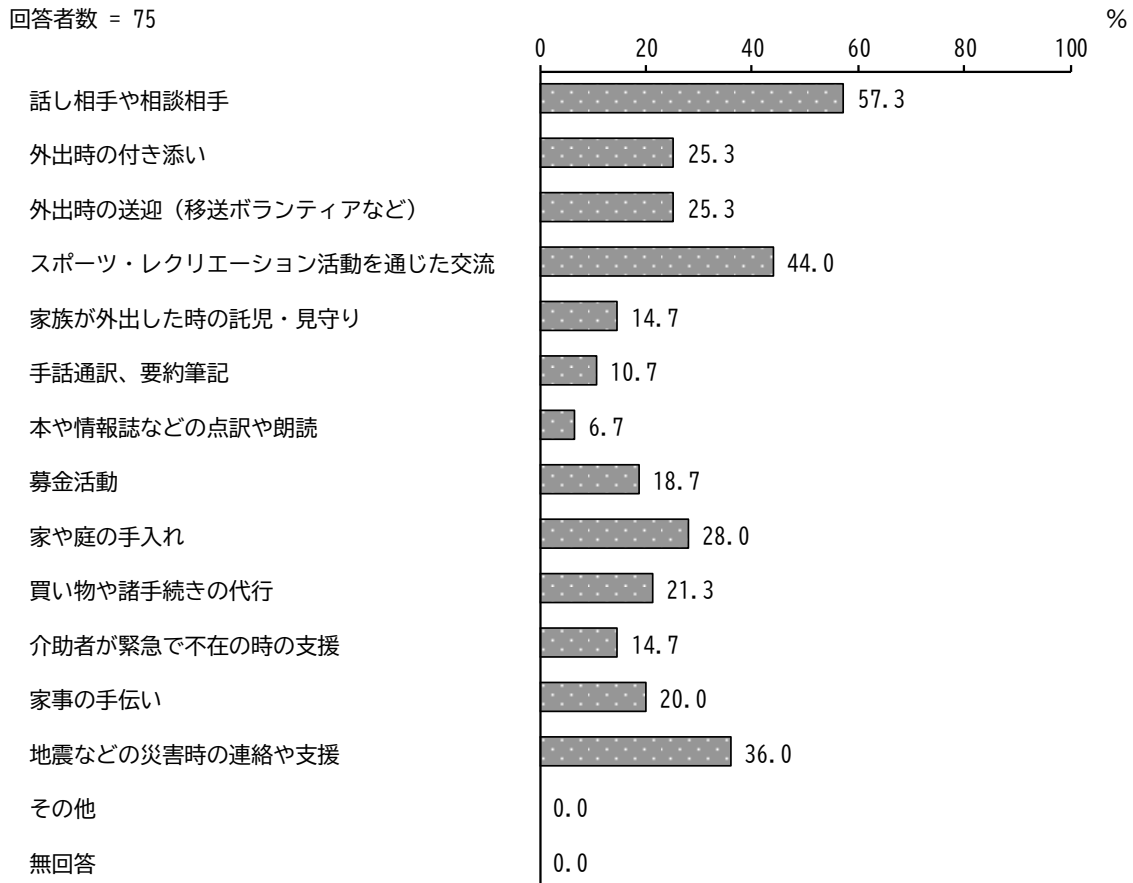
■ 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向[単数回答]



② 参加したい（参加している）ボランティア

障害のある方に関わるボランティアの参加意向で、「参加したい（現在、参加している）」と回答した方の参加したい（参加している）ボランティアをみると、「話し相手や相談相手」の割合が57.3%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流」が44.0%、「地震などの災害時の連絡や支援」が36.0%となっています。

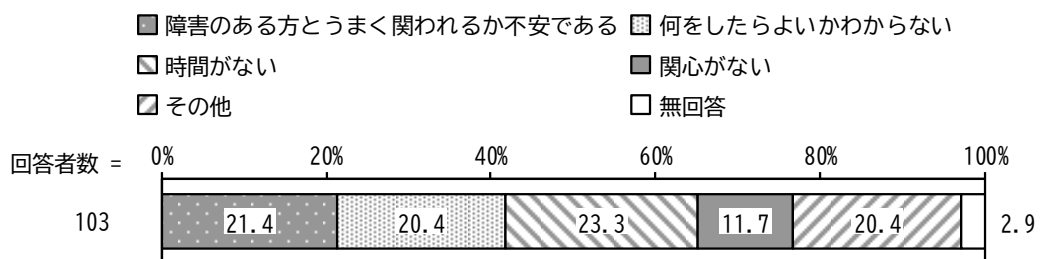
■ 参加したい（参加している）ボランティア[複数回答]



③ 参加したくない理由

障害のある方に関わるボランティアの参加意向で、「参加したくない」と回答した方の理由をみると、「時間がない」の割合が23.3%と最も高く、次いで「障害のある方とうまく関わられるか不安である」が21.4%、「何をしたらよいかわからない」が20.4%となっています。

■ 参加したくない理由[単数回答]



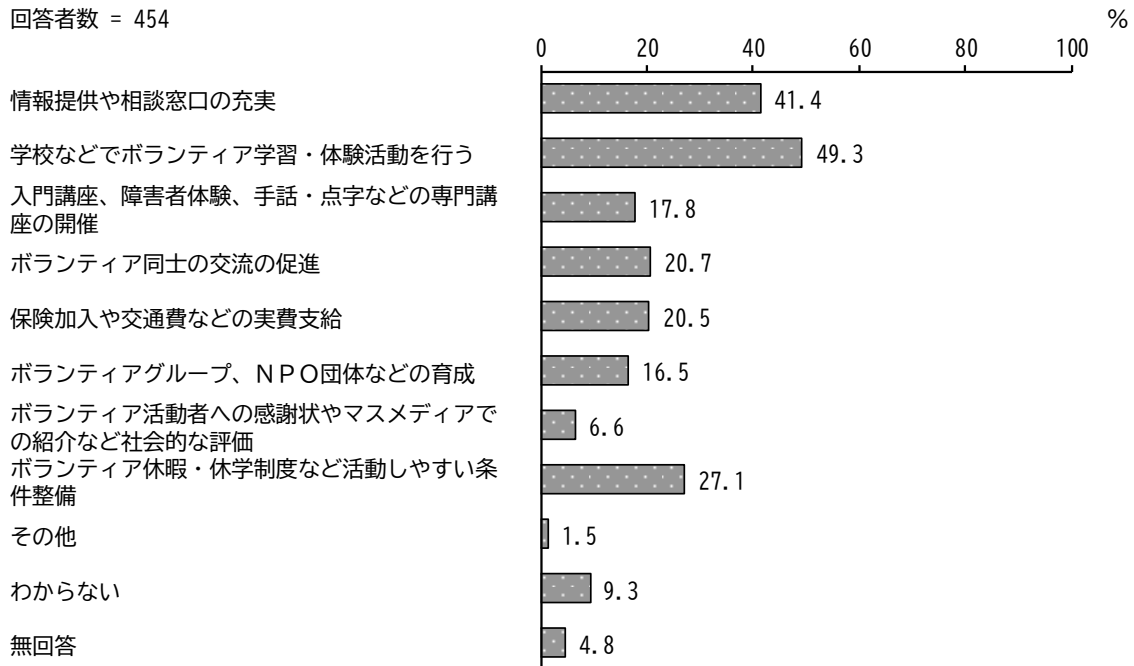
(4) 障害のある方に関わるボランティアを活発化するために必要なこと

障害のある方に関わるボランティアを活発化するために必要なことをみると、「学校などでボランティア学習・体験活動を行う」の割合が49.3%と最も高く、次いで「情報提供や相談窓口の充実」が41.4%、「ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備」の割合が27.1%となっています。

■ 障害のある方に関わるボランティアを活発化させるために必要なこと

[複数回答(3つまで)]

回答者数 = 454

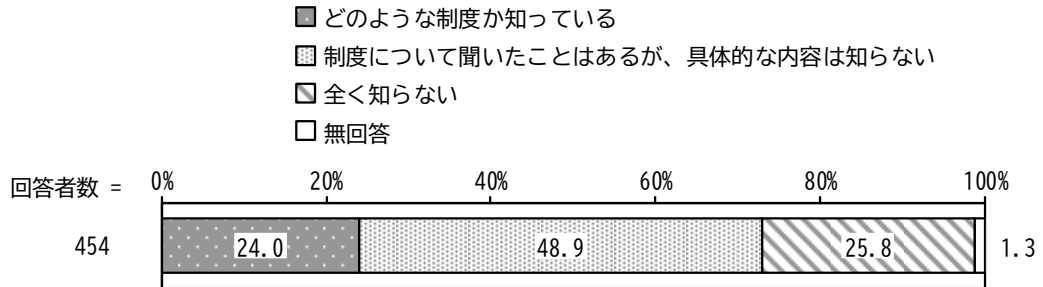


8 障害のある方の権利擁護について

(1) 成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度について、「どのような制度か知っている」の割合が 24.0%、「制度について聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」が 48.9%、「全く知らない」が 25.8%となっています。

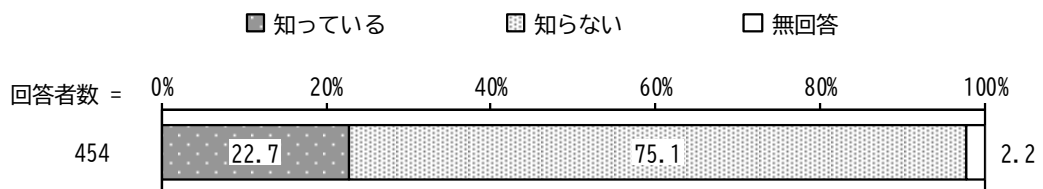
■ 成年後見制度の認知度[単数回答]



(2) 障害者虐待についての通報義務の認知度

障害者虐待についての通報義務の認知度について、「知っている」の割合が 22.7%、「知らない」の割合が 75.1%となっています。

■ 障害者虐待についての通報義務の認知度[単数回答]



IV 自由記載意見

1 自由記載意見

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。ただし、プライバシー保護の観点から、特定の個人名、団体名、および個人を特定できる可能性のある情報は、[]（角カッコ）による一般名詞への置き換えや伏せ字などの加工を行っています。

(1) 受けた差別や嫌な思いの具体的な内容（その他の意見）

① 障害のある市民（身体障害）

1	難聴の為意志疎通がとりにくく、誤解をまねく事があった。
2	見た目では障害者とわからないので、理解してもらうのが大変でつらい。
3	小学校でいじめ。
4	耳が聞こえにくいためによるいじめ。
5	車いす駐車場に車を止めるとじろじろ見られるため止めれない。ゆずりあいパーキングをもっていない人は止めれないようにしてください。それをかけているのに若いからかじろじろ見られてそれがいやで止めれません。
6	勤めていた時仕事をまわしてもらえなかった。
7	なにもなし
8	職場の人に面倒がられた。
9	病気を理由にハンデがあることを説明したが理解されない。明らかな人権侵害を受けた（小学校、中学校時代に教員から差別的な言動、行動を受けた）。
10	下肢の障害のためズボンをはいていると分からないし杖などなく普通に歩行できるため障害者用の駐車場を利用した際、飲食店の店員に注意される事がある。自動車に障害の札もつけています。注意をされると言いたくもないのに義足ですと足を見せているのがつらい。
11	デイサービスに通っていたころ送迎担当に嫌みを言われた。
12	職場で上司からいやがらせを受けた。
13	1～14まで書いてある差別はあまりなかったけど、学校でのいじめは常にありました。
14	歩行の様子をまねて笑いのねたにされた。
15	いじめ
16	職場の人に車の保険料が無料なのではと言われた。友人が美術館とか無料だから一緒に行こうと言われた。すべて支払っています。
17	他人からの視線、言葉かけがきつい時。
18	職場でイジメられた事がある。
19	障害者に対する配慮がまったくない。
20	必ずトイレは洋式を使わないとできない。会社に洋式が1つしかない。トイレのコントロールができないから体調が悪いと仕事を休まないといけない。
21	友人からの暴言。
22	内部障害の場合、見た目は健常者と変わらないので、“支援を受けるのはずるい”というようなことを言われたことがある。一生、薬を飲み続ける必要があり、開胸手術を複数回受けていることは、誰にでも公言できることではないので、見た目が健常者と変わらなければ、障害を理解してもらうのは難しいと感じます。
23	上司、同僚から嫌がらせ、差別を受けた。
24	仕事でのミス全て私のせいにされる。本当のことを訴えても全く信じてもらえない。
25	からかわれた
26	学生時代や職場を含めて、通院に対する偏見。
27	両手の変形をずっと見られた。
28	そもそも障害者というだけで偏見の目で見られたり、陰口を言われる。
29	他科に受診したときのドクターハラメント。
30	補聴器や、私の病気に対して、理解してもらえない。

31	特になし
32	大手保険会社の顧問弁護士
33	職場でイジメを受けた。
34	車イス移動中、“ジャマダ”と、暴言を受けた。
35	職場のいやがらせ。
36	職場で降格を受けた。
37	障害のため無理は、できないと言われた事があった。
38	障害を武器にしていると言われた。
39	職場で前の管理者とあわなかったためもあるのか、ミスをすると全て障害があるからではないかと言われ、とても働きにくかった。全てが障害があるからに結びつく考え方を持たれ困った。病院のしんだん書を出してようやくおさまった。前管理者の他への移動で働きやすくなった。
40	保育園の入園を断られそうになった。
41	職場先で暴言や態度がひどく辞めざるをえない状況だった。
42	からかわれたり、ジロジロ見られたり。
43	生命保険を選ばないといけない。
44	障害を理由に研修への参加を拒否、人格否定をしてくる嫌な人にとって障害はタブーとしりつつネタにしてくる。
45	視線や行動で、ブベツ的に。
46	健常者からかわれた。
47	親族の集まりに参加できなかつたり、利用できないところが多い。
48	見え辛い、聞こえ辛い事に関して馬鹿にされたりいじめを受けた。
49	店員から電話するよう強制された。(耳が聞こえないと伝えたくて)
50	駐車場やトイレの数が少なく健常者が先に私用している。
51	精神科医に見下され、バカにされている感じがある。他の診療科の医師達からは、そんな感じは受けない。
52	視覚障害に対する理解が乏しいため、不快な対応を受けた。
53	職場で夜勤等、当直体制を回避していると陰口された。
54	市役所で差別を受けた(障害者手帳申請時)。
55	健常者と一見わからない為なのか、人事情報に記録されているのに、重い荷物を運ぶ仕事を担当させられ、台車を使おうとして、台車がないとき時間がない為、キャスター付のイスを代用して荷物を運んでいると、注意された。障害のハンデを配慮(まったく)されず毎日同じ仕事を続け、異動時まで続けました。心身ともに辛い職場でした。
56	いじめ
57	市の職員に障害者手帳を笑われたこと。富山市ではありません。
58	職場でバカにされた。
59	日常生活を送るうえでの不便さや、将来を想像しての不安。落ち込み。
60	姻族から農作業できないことで食事のたび、又は何かあるたびに文句を言われたり。なまくらと言われたり、近隣の人へ悪く言われたりした。→(近隣の方は、後に、私が夫の死後、町内の会合に出るようになると「人柄」をみてくれるようになって、今は親切にして頂いている。)結婚のとき、「農作業はできないから」と約束していたのに50年経ても、今でもあいさつしてもらえないこともある。
61	遊園地等で、きちんとバーや持ち手がにぎれないと判断され乗れなかった。
62	本人しかわからない、言い表せない。
63	健常者の理解者が少ない。
64	からかわれた。
65	ジロジロ見られた(杖を2本持って歩くので)。
66	学校でのいじめ。
67	学生時代に軽いいじめがあった。
68	左手がまひしてるので、仕事が不十分である。
69	公共の場所で突然大きな声で、「あなた足が悪いの？」って言われた。

70	小学～中学校までいじめを受けた経験がある。
71	ことばによる暴力を受けた（職場での周りの人から）。
72	障害者なら、施設来なければ良いと大きな声で言われた（一般の健常者の方が多く利用する施設）。
73	正規職の求人が少ない。
74	高校生の時、体調が悪くなったときに保健医に違う学校に行けばと言われた。
75	職場でのパワハラ。
76	選挙の投票時。
77	引かれたり、困惑されたり、先入観をもたれたりした。
78	学生（中）時代のいじめ。
79	今のところは何もない。
80	右耳が聞こえないので右側から話された時左耳に補聴器はしています。
81	一時的仕事はしていたが、失敗するたび無視される時多々あった。
82	相互理解が欠かせない場面において、相手の機嫌によって左右される点。情報保障が完備でない点は承知のうえであるが、だからこそ、それを補完する為にも相手の理解は必要不可欠である。両者が歩み寄る姿勢をもってこそようやく初めてそこに現れるのである。一方が欠けていては、二進も三進もいかない状況に行き詰まる始末である。妥協は時には必要であり、一方で強いられるものでもあるという二元性をもち、それが否応なしに突きつけられる現実の連続には、思わず嘆息してしまう。
83	職場で避けられたり冷たい態度をとられる。
84	以前の職場で「障害者のくせに」「この会長と同じ病気だから採用した」など「はってでも会社に来い」など暴言があった。社内の人の多くが私の病気を知っていて（私は話していない）、結婚できないね、子供も生めないね、将来どうするのかなーといろいろうわさされた（ちなみにハローワークで会社の方からリクエストがあったと聞いています）。
85	片手しか使えない事を理解してもらえない。
86	職場での差別やいじめ（障害者＝能力が低いと判断される為）
87	普通の人より努力しないと普通になれない。
88	自分自身の気持ちと周囲（友人）の理解の差
89	中途聴覚障害者のため、外見上障害があるとはすぐに判断出来ない。そのためにコミュニケーション不足となり相手の態度、表情がいがかしげな状態となる。
90	こっちが支援云々の話しをしていないのに関りたくないといわれた（兄に）。
91	言葉
92	学生時代同級生からのいじめ。
93	収入が減った。
94	個人的状況のイヤな思いのみ。
95	難聴なんです、筆談とかの協力をしてくれない。
96	①シルバー人材の仕事で、こういうアンケートの調査票を封筒に入れる仕事があったが指サックを忘れ、仕事が少し遅くなったのを理由に仕事をくれなくなった。②ある特定の人に障害がある事と感じたのか、完全に無視をされた（その特定の人の名前は何年たっても忘れる事ができません）。
97	仕事上の人間関係のトラブルに自身の障害を引き合いに出されて関係ないのにイヤな思いをした。
98	名まえではなく（障害）手帳おもちの方と呼ばれた。
99	スーパー等の買物時。
100	案内板等が小さくて見つけるのが大変（例、トイレで男女の区別をもっと大きくして欲しい。）
101	透析することになったと友人に伝えた際、「へえ～透析～透析、もうあなた何も食べられないし、今後は、病院と家の往復だけだね。どこへも行けないね。ああ、可哀想～」と見下したように言われた。
102	知らない若い方から、外見で侮辱を受けた。
103	看護婦さんにばかにされました。夫にもばかにされました。

104	富山市以外の場所でした。
105	家族でいじめにあった。
106	障害者雇用で就職したいと学校に通ったが嫌がられた。
107	通りすがりの子どもに「あいつ歩き方へん！」と言われた。
108	妊娠した時に勝手に医療処置をされそうになった。
109	悪口を言われた。
110	悪い場所をじろじろ見られた。
111	職場での業務内容に制限がかかり、周囲の目が気になった。
112	難聴のため、マスクをしている人が話をして、ぜんぜん内容がわからない。医療機関は、マスク必要なため、特に不都合を感じる。自分自身の受診の時は、つきそいの人が必要なこと！名前を呼ばれても、ほとんどわからない。番号が表示される病院はちょっと安心！
113	いじめ

② 障害のある市民（知的障害）

1	20年前
2	自分の父、母、の祖父や祖母私が障害を持っていることに対して、罪悪感を持たられていた。親せきの兄妹には、たいとうに接していたが、自分は、たいとう接してもらえなかった。
3	しょくばでいじめにあった
4	学校でいじめにあった
5	難聴だから仕事で言われたことが分からなかったり言いたい事が伝わらなかったりする
6	近所からかけ口バカにしている感じが受け取れる。公共も知らない人から
7	普通学校に通学していたが、仲間に入れてもらえなかった
8	金融機関から契約を断られた。施設の人からいやがらせを受けた。
9	新興宗教に入信させられそうになった。
10	変な目で見られる。陰口が多い（私と娘が通ると、あわてて、家の中へ入ったりする）
11	職場の責任者とそりが合わず、いやな思いをした
12	特別な人のように見る視線
13	いやな言葉をすれ違いざまに言われた。
14	知らないひとにわるぐちされた
15	障害について祖父母が理解してくれない。あからさまに冷やかな目で見られる。
16	いじめ 同僚（通所施設の）からの言葉や態度 本人は自覚できないが、嫌な気分させられ、その場から避ける。
17	職場での面談で、「障害者のあつかいが分からない。〇〇さんが言っているよ。」と言われた
18	断られそうな所に行かない。そもそも1人で電車等に乗れない。
19	母からもらう給料を制限された。暴言ばかり言われた。
20	職場での人間関係で差別的な扱いを受けた。
21	スイミングスクールに入れなかった。障害者対象のものはいっぱい空き待ち状態。しかも泳げる人だけ対象と言われた。
22	知らない子供達から、変な人と言われた。知らない人から、ひどい言葉を投げかけられた。
23	学校でいじめをうけた

③ 障害のある市民（精神障害）

1	家族から暴言、差別用語、うわさ話としての吹聴など
2	家族から親せきから色々言われる。
3	音楽が好きでユニットを組まないかという話をもらったが、障害の話をしたらドタキャンされた
4	子供の頃のトラウマをひきづっている
5	父と母が病気であることを認めない。治療が必要と認めない。わかってくれない
6	堂々と職場で嫌味を言われる。無視される。人間不信。
7	学校の同級生らから迫害を受けた
8	利器を得られず健常者並のレスポンスを強要される
9	発病のための異常行動のせいで専門学校を有無を言わせず退学させられた。
10	職場で仕事が与えられない
11	支援者の言葉
12	職場で差別的言葉をうけた
13	知人からいやがられる。けむたがれる。
14	近所の人から偏見・差別視されている
15	精神病が障害だと思われていない
16	精神科に通っているだけで、バカにされた
17	無視された
18	他の人と同じ様な生活が出来ない。
19	陰口、いやがらせ
20	4の「障害」という言葉を用いずまわりくどい表現で退職をせまられた。
21	採用するのは、今からですか？10年たっています。車椅子も同様と思います
22	人間関係がうまくいかなかったから

④ 障害のある市民（障害児）

1	同級生からのいじめに近い言動。
2	中学校で交流学級に行けなかった。卒業式は途中退場させられた。
3	学校でのいじめ、出先でじろじろみられる。
4	髪を切りに行った時、感染したら大変なので来ない方がよいと店の人に言われた。
5	周囲の人からの視線、差別されているような、じろじろ見られて嫌な思いをした（保護者）
6	公園で遊んでいるときに他の子どもから冷たい視線や言葉があった。
7	小学生の時、上級生から嫌な態度をとられた。（ちかずくと避けられた）
8	学校の先生からの強い言葉や、近所の人からの指差しやうわさ話（文句）
9	近所の子供に容姿の事で傷つく事を言われた。
10	地域の学校の冷たい対応で入学をあきらめた。
11	中学校で「支援級の子だから」と言われ、部活で仲間に入れてもらえなかった。
12	学校の人にいやなことをされた。
13	小学校での体育の授業。小4の時スイミングスクールに通い泳げるにもかかわらず、1年生と授業を受けさせられた。・支援級に在籍。書写は交流級で受けていた。作品は交流級にかざられるはずであったが、本人に無断で支援級にかざられた。・小4の時、四年生の学年閉鎖の対象外にされた。病院から教育委員会に苦情をいれてもらった。・現在小六だが、我が子だけ「生いたち学習」を受けていない。
14	学校（小・中）イジメを受けた。
15	施設の人から言葉による嫌がらせ。施設利用者、利用者家族から言葉、さけられるなどの嫌がらせを受けた。
16	学校で同級生にいやな事を言われた。
17	知らない人から白い目で見られたり、うるさいと言われたりした。
18	周りの人に身体的特徴をからかわれた。
19	希望する保育園に断られた。
20	学校の先生や保護者から差別された。
21	障害を軽く受け止められ兄妹の保育所が決まらない。
22	他人からの暴言、いやがらせ。
23	行政窓口の担当者にヒドイことを言われた。
24	学校でいじめを受けた。
25	学校の授業についていくことができなかった。授業内容が不明。理解できない。
26	保育園での延長利用の拒否。
27	他人から陰口を言われた。
28	回りからの目。
29	ネットOR学校でへんげんな目で見られた。
30	あきらかな差別ではないが、全ての場面で遠慮してしまう。また強度行動障害があると孤立しがち。
31	小学校時にいじめを受けた。
32	一方的に知らない人から怒られた（何度も）

33	運動に制限があり、体育の授業や運動会で参加できない競技があった。
34	周りからの好奇の目。
35	保育所から断られた。（他県に住んでいた時に経験）
36	習い事を断られる。
37	日常的にいやな思いをすることは、たくさんありますが、他に選択肢もなく通うことになった特別支援学校において、教員から発達障害というレッテルを個人の尊厳より上においたような発言や対応をされることが多々あり、学校へ通えなくなった。
38	学校や習い事先で、いじめを受けた。
39	インクルーシブの公園で定型発達の子ども達に差別的な発言を受けた事があります。
40	外出先で変な目でみられたり、怒られたりした。
41	保育園から行事（運動会、生活発表会等）を休むように言われて休んだ。転園をすすめられ、実際にした。
42	パニックをおこしたコンビニで、出入り禁止になった。
43	以前利用していた訪問看護師に性的いやがらせを受けた。
44	看護師さんがいる時間帯しか保育所に預けることができない等、他の子達との入所条件が異なったり、保育所の選択肢が少ない。
45	保育園見学時に、障害があるが受け入れ可能か確認済みでした。在園中に園長が変わり新しい園長先生に卒園まであと1年以上あるのに「デイサービス（介護施設、高齢者の）を、これから利用した方がいいのでは？」と言われた。
46	カルチャースクールの無料体験を断られた。
47	表面的にはやさしい事を言っている風だけど、障害児は障害がある人が行くべきところに行って下さいと、いうことですね。
48	クラスメイトにばとうされた。「シネ」「きもちわるい」等。
49	レジなどで行動が遅い事で、どなられた。
50	周りからの目、発言（かわいそうなど）。
51	学校を転校するよう、学校から迫られた。
52	学校生活での同級生からの差別化。
53	障害が理由かはわからないが、入園を検討していた地区のこども園（公立、富山市立）の、プレ親子向け（次年度年少児対象）の教室プログラムがあったが、初回参加した際に、移動、指示が通らない、周囲の子と同じことが全くできない我が子の様子を見ていた園長と思われる先生から、プログラム参加の制限（外での活動時のみ、参加してほしいと）の提案があった。その後、プログラムには一斉参加せず、年少から他の園へ入園した。親としてとてもイヤな思い、くやしい思いをしました。

(2) 障害者施策に関するご意見・要望等

① 障害のある市民（身体障害）

1	せめて病院だけでも難聴者を理解してほしい。
2	途中で書きましたが車いすの駐車場にゆずりあいパーキングをもっていない人が利用するのはありえません。おじいちゃん、おばあちゃんでも体が悪いなら、その申請をしてもらってから停める制度にしてください。
3	無料の法律相談窓口があれば教えてほしい（特に障害者の問題に対して）。
4	義足を作りかえたり修理が必要になった時はもうすでに痛みなどが出ている場合が多い。申請してから4～5ヶ月は待つ時間があるので、その間とてもつらいので公費で作って頂いてるのは理解しているのですが、もう少し申請が早くおればいいと思います。今回も8月のお盆に申請を出して仕上がりが12月でした。
5	支援学校を出たばかりに差別があり結婚がなかなか出きないし、情報が足りないし、早く行政で応援してほしい。
6	障害は軽度なのだが80才近くになると、歩行困難となり移動にはバスが使えず100%タクシーとなっているが、出来る事は100%以上となる事を目標として、パソコンでの仕事をこなしております。私の目標は勉強しながら仕事をやり続け、まわりの人達の役に立つ事を出来る限り続けて行こうと思いきは鈍いけど努力しているつもりです。
7	夫が透析をしていた時がんも見付きり通院する時に酸素の吸入をしながら足もむくみ、車椅子での通院がづらくなったので介護タクシーをお願いしたいと思って病院や地域包括支援センターへ連絡をしましたが、病院で聞けと言われ病院で聞いたら分らないと言われ、たらい回しにされ最後は病院で死亡しました。認知症の人は介護保険が使えるのに、障害者は差別されていると思いました。いろいろと良くしていただいているのに申し訳ありませんでした。これからも大変なお仕事がんばってください。ありがとうございました。
8	障害が6級でも金銭の援助が欲しい。片耳が聞こえないのですが、その為めまい等などの症状の中パートしていますが大変です。もう少し理解して頂きたいです。
9	今の職場は障害者の配慮がまったくない。面接の時も約束した事（重いものなど持てない）をまったくまもらない。ただ単に雇わなければいけないから雇ったとしか思えない。
10	自分が障害者になるとは、想定外であったが、生きて行くには、障害と向き合い働き続けるしかない。人はいつ障害になるか、病気や寿命と同じで予知できない。障害者であっても老齢年金は、65歳支給である。支出は健康者より過多となっており、老齢年金の支給開始年齢を引き上げる等、国はもっと何らかの対策を考えるべきである。老齢（障害年金）はもらっていないが、老齢年金と障害年金の併給も必要と考える。
11	とにかく生きづらいです。悪くなってほしいわけではないですが、医療費、障害者年金があがらないので不安でしかありません。周りの方の理解が得られないので苦しいです。イジメで前職を退職しました。会社に訴えても仕方ないと済まされました。他の人よりも不自由なことはありますが障害は周りの人が作っているカベだと痛感しています。とてもひどいイジメだったので家族、友人は「死ななくてよかった。」とまで言っていました。担当医に訴えるよう母は言われたようですが私も家族もその辛さから早く離れたくてそのような気力はありませんでした。私は富山市が好きです。もっともっと楽しく生きていきたいです。富山市を嫌いになりたくはないです。
12	内部障害ですので、公表しなければ一般枠で採用される職場もあると思うが、定期通院が必ず必要なこともあり、障害者採用枠で転職した。ハローワークを利用したが、申し訳ないが、信じられない条件で障害者の求人を出している会社もある。賃金や年間休日など。法律には触れないのであっても、弱い立場の障害者を雇用できる職場環境ではない気がする。例えば、いわゆるブルーカラーの会社（職場）で年間休日90日未満の求人を見たが、こういう職場で障害者が問題なく働くことできる訳がない。掲載条件（求人条件）を厳しくしてほしいと切実に思った。難しいとは思いますが。

13	とにかく、補聴器への理解と、障害者手帳への理解。手帳を持っているから、お金がもらえて、車を買うのに、何でも甘えられていいわね、と言われる。又、甘えてるんじゃないの？と言われる。テレビ等で、伝えてほしい。・家族にも知らせてほしい。
14	移動サービス介助者が（スロープ車）マイカを使用（運転）できるように制度をあらためてほしい。
15	地下鉄で字幕放送を流してほしい。
16	富山県は、障害者に対して偏見があり、私は聴覚障害者でなかなか理解してくれない現実です。今、難聴児支援センターを開設したからってもっと早くしてほしい。子供だけでなく、大人も利用してほしいと希望しています。聴覚障害者と健聴者は、コミュニケーション方法が異なるが対等な関係で相手をよく理解し配慮しあえる社会にしていくことが大切ではないでしょうか。
17	①障害手帳を活用する際に、事前登録が必要である。（高速道路、交通機関）②割引率を高めてほしい。（物価高対策）
18	電車を利用するのに、もっとちかくに、のりばが、あればと思っています。市のごみすて場所が、とおい。もっとちかくに。タクシーケン（障害用）もらっていますが、20枚しかないのでタクシー利用できない。（とくに、冬に、よく利用する）タクシーケン 660円ケン 60枚あれば。
19	富山県には視覚障害者の高齢者施設がないので、視覚障害者専用の施設を整備してもらいたい。
20	除雪を手伝ってもらえるサービス。
21	視覚障害なので、店に行っても、みため（外観）がわからないので障害者だとわかってもらえないのがつらいです。段々と、ひきこもるようになります。言われたり、聞かれてもわからないので返答にこまり、付きそいの（夫）に返事をしてもらう、何かわかるようなものがあれば提示できるのに、そういうのが欲しいです。
22	私は正直大丈夫ですが、障害福祉サービスは本当に必要な人には手厚くなって欲しい。障害手帳を持っていると、かなり優遇されていると感じるシーンは多いですが、行政から離れると、ハンデは感じます。特に労働の環境について、働き方もですが新しく働くということの、物理、心理的ハードルについては如実に、今、住民税非課税の方には年 20,000 円程度の援助をされていますが、生存確認以外の実務的用途がないのでは？本当にやるなら、非課税世帯から抜け出そうという人や障害の為に収入がなくなってしまった人へ集中して投資すべきかと。広く浅くの今の状況では正直焼け石に水のように感じます。
23	文字起こしアプリ利用に対する補助（職場での契約支援、個人負担軽減）があれば嬉しい。スマートグラス（字幕機能付き、映画とは別）の購入補助。・障害者団体の会費の透明化。（内訳の公開・・・）勤務先の関係、障害者に向けた情報はよく入るのですが、情報が入らないことに慣れてしまっている人がいるので、その方のためにも、情報が届く体制が整っていると良いと思います。（例えばマイナポータルに情報を届けるとか・・・）ミライロIDとかも良さそう。
24	今は認知症で特養に入所しています。それまでは、働くところがなく、母親の金をぬすんだり、サラ金に手をだしてパチンコをして、家族に大変な迷惑をかけてしかられてばかりでした。老人になりデイサービスで作業してほめられたことが嬉しかった様です。障害者にやさしく接してくれる作業所があればよかったです。
25	障害者の認定（手帳発行）が以前と変わったように思う。股関節両側を手術し金属を入れて3級になったが、10年以上あとに、同じ手術をした人は認定されず、障害者団体から抜けたため、私の友人がいなくなり、団体で泊まりがけの行事に一緒に行くことができなかった。また図書館の郵送サービスを受けている者が少ないため、本を返送する時、郵便局によっては知らない局員も多く、時間をかけて説明するのがつらいが、この制度がなくならないように、何とか私だけでも続けていくつもりでいる。
26	学校の授業、職場の研修、集会、イベントなどで視覚障害（アイマスクなど）、聴覚障害（耳せんなど）、車イスなど疑似体験の機会を増やしたらいいと思います。
27	今は家族の助けがあり、特に困る事はないが、この先一人暮らしになった時、金銭的不安や、施設に入所しても、嫌がらせや虐待などの不安がある。

28	問 9-1 に記入しましたが、以前北保健センターに期限前投票に行った時視覚障害が初めてなのか、対応ができてなかった。中途失明で点字できないのにそうするかときかれ、できないと伝えたら「私の耳元でささやいて下さい」と言われた。どこにその人がいるのかも見えないのに、家族のつきそいもだめで、とうてい介護した事のなさそうな担当者にうでをとられ歩かされた。他の人のみせ物のような扱いで母は「すごくはずかしく、みじめだった」と車まで泣いてました。別室やしきりで個別対応したりできないのか？耳元でささやくなんてどんな方かもわからないのに私もおどろきました。それ以降一度も母は選挙に行ってません。同じことが今もあるなら改善して下さい。みんな心がせんさいですよ。
29	各種の年金の支給額は今の時代にあっているのかと思います。以前と比較すると、良くなっている感はありませんね。
30	あくまで感じたことをそのまま書き留めたままでなので、あしからず。マイノリティな意見を隅から隅まで反映させることは難しいと理解しています。これが少しでも一人一人が暮らしやすいバリアフリーな世界を築いていく手助けの一部となれば幸いです。こうした声を拾うような取り組みといったものに加え、福祉関係のものにご尽力されている方々に心から敬意を表します。
31	障害があることで、支援して頂いているので感謝している。
32	リハビリをできる所が少ない。リハビリが週に2回しかできない。しゅうに3、4回は必要。
33	今ある手続き等の簡略化と、どこで出来るかを簡単にしてほしい。「重度心身障害者等医療費受給資格証」とマイナンバーとの紐付。
34	シルバー人材センターにお願いしたい事ですが、市の機関だと思います。アンケート等の仕事は身体も口も達者に暮らせている人に仕事をあげるのではなく、少しだけ手足の不自由な人にも仕事をわけてほしいと思います。
35	よく電車やライトレールバスを使うのですが富山駅が夕方とか夜になると電気が少なくとても暗く感じるので歩きにくいです。夜盲症なのですが、たまに病院がおそくなった時などに駅におりると、とくにロータリーのあたりは暗くて歩きにくいので、もう少し明るくしてほしい。
36	除雪や草むしりができない。大雪の時外出できなかつた。庭の草はのび放題。相談窓口の多様化ではなく1本化。
37	外出時、スマホを見ながらの歩行者・自転車がたふいし、横断歩道で立っていても車が止まってくれなく困ります。
38	今の所差し詰まっていなないので何をどう対応すればいいのかもわからずにいます。
39	充分すぎる保障をさせていただいております。感謝しています。
40	私は、軽度な障害者なのですが、富山市は他の地域に比べて障害者に対する支援は手厚い方だと思ひます。
41	これから、近くのかよいよやすい介護のお金をもっと安くしてほしい。・私は国民年金なので、お金が少なく困っています。
42	良い制度はあるのに役所もなにも知らせないから、その制度がある事を誰も知らない。マメにパンフレットを讀んでる人にしか届かない。もっと公報活動をしてください。十分な公報活躍はむずかしいですが、まったくしらないで困っている障害者がたふいと思ひます。
43	障害者雇用で、10時間以上20時間未満の働き方をもっと普及させてほしい。リモート、在宅ワークの障害者雇用をもっと増やしてほしい。
44	福祉と関係ないのですが、手帳をカードタイプにしてほしいです。カバーが汚れてきてるので・・・。
45	ボランティアを20年間している。ご近所の方、年配の方の病院の送迎をしている。もっと富山県がやさしい県ならいいのに。
46	手話に興味があるが、初心者コースなどは夜にしか教室がないため、平日の昼間に教室があるといいなあと思っています。外見上は普通なのですが、難聴なので、生きづらひ、不便を感じる事が年々多くなってきました。(スポーツ教室などは、1人では参加できない。町内の行事も不参加することが多くなり、孤独な気持ちが強くなってきたことなどもある) 同じ障害をもった方などとお話などしてみたいです。

② 障害のある市民（知的障害）

1	もっと働けるところを紹介してほしいです。
2	なかなか歩くのが難しくなってきた。
3	親なき後の事が、心配です 山奥ではなく町内に施設を増やしてほしいです
4	本人は、区分4の重度知的障害者であるが、支援学校在学時に寄宿舎に入舎していた経験があり、今28歳ですが、40歳までにはグループホームで生活したいと考えています。現在グループホームは希望者に対して数が少なく、しかも富山市には、夜間も支援員さんがいたり、入浴時等配慮が必要な場面で介助を得られる知的障害者のケアグループホームはありません。知的障害者を入所から地域へ移行させる政策には、ケアグループホームは必須と考えます。同時に支援員等福祉に携わる職員の確保のための取り組みをお願いします。
5	現在月～金グループホームで、生活していますが、世話人不足で週末は、自宅に帰宅。将来親が、いなくなった後の事が不安です。専門的に障害者の生活支援できる人を増やしてほしい。
6	しょうがいふくし金の（年2回）ぞうがくをしてほしい。（現:年18000円→年、20000円に）
7	生活介護事業所、グループホーム、ショートステイなど。施設を増やしてほしい。（利用しやすくしてほしい）
8	給料を上げてとボーナス
9	お母さんの、仕事場の人たちや、自分が、かよっている、スポーツクラブの人たちから、何も、かわないとか、パンツの中に手を、入れたとか、万引きだとか、人のふくを、きているとか、言われるのが、毎日、くつうになる。
10	親が亡くなると不安である。校下内でのグループホームに入居したく現在は少ないので、地域におかれる障害者で話せる場がほしい
11	親の立場で言うと私達親が亡くなったあとの子供がどうやって1人で生きていけるか、これのみです。軽い障害者は思い障害者よりもしてもらえる事も少なくおいてけぼりになっているように感じます。同じ様にサービスが受けれるようにして欲しいです。
12	親自身、今後高齢になり、びょうきになった時、息子が仕事に通えなくなる事が不安です。
13	健康管理する為公園に行くのですが長い距離を歩けないので公園などにもっと多くのベンチを設置してほしいです。背もたれ付きだともっと良いです。よろしくをお願いします。
14	大きな地震等の時に、まず道路が、大丈夫かと心配です。ひび割れが町内至る所にあり、車等は、はたして、走れるのかと。 どうしても、大災害の時は救急法の消去方法等で、優先順位で、障害者・70才以上が、見捨てられますし、救急法で黒赤と貼られると、もうダメです。悔しい思いや、きづかいで、ストレスがたまる方が嫌いです。表向きと裏の、現実がありすぎると思います。どうぞ皆様方には、普通通り、精一杯・本人・親も・静かに暮らせる、富山市であってほしいと、希望します。11月一杯でやめられた。民生委員の方には感謝しています助けられました。
15	手帳の更新や、年金の障害状態確認等、何かあるたびに診断書の提出があるが、どうにかならないか。
16	高校（支援学校）卒業後に運動できる場所、障害をもついても通える施設の紹介をしてほしいし、ふやしてほしい
17	質問が難しくてわからないのもっとわかりやすく書いて下さい。
18	グループホームで支援をうけつつ、さぎょうの内ようがじゆうなハンドメイドのはんばいができるしせつをとくってほしい。そしてはったつしょうがいしゃむけのグループホームもたくさんつくってほしい。
19	事業所や支援の人が足りません。支給決定がでて、受け皿が少なく選択肢がありません。障害福祉から介護保険への移行について、もっとわかりやすく手続きや情報を提供して下さい。親亡き後、我が子を安心して富山市に住まわせることができる福祉を、心から願っています。
20	今回のアンケートについて 設問…特に問25,26等の法律に関する事等、ただキカイ的にふり仮名をふるだけでは理解できま

	せん（障害がない人であっても）。もう少し、かみくだいた説明（設問）にするほうが良いのではないのでしょうか。
21	本人だけでなく介助者、家族がグループホーム等の障害福祉施設の見学など出来る機会があれば、お世話していただくサービス施設等の選択が出来、安心してお願いがしやすいと思う。一度施設を決めたら他の施設に行けないのだろうか（契約という言葉にとまどいを感じたので）
22	あくまでも理想論ですが、高齢の親と障害を持った子供と一緒に入所できる施設があれば…と思います。
23	もっと、デッカイスーパーをふやしてほしい。もっと、障害者年金をふやしてほしい。もっと、色んなところに、東京みたいな店が出てほしい
24	ライブ会場ふやしてほしい
25	障害の特性に応じた支援が世の中にもっと進めばよい。
26	将来的にグループホームでの生活を希望しています。親が。ただ、本人は変化に弱く、1人で新しい環境にとびこむことが苦手です。相談事業所などに相談すれば、本人に合った所を探してくれると思うのですが、同じ作業所に通う、同じタイプの仲良しと数人まとめてグループホームに入れば、どんなに心強いと思うこの頃です。
27	意見、要望があっても私達の生活は何もかわらない。他人に説明してもわかってもらえない。
28	障害があって、一般企業で働いている人の日常生活の課題については把握されていますか？→回答ください!家と職場の往復で他の交流が少なく、孤立している人もいます。余暇活動の支援など、対策を考えて下さい。
29	5人兄妹ですが一番下の妹が、障害者で一番上の姉は85才の高齢の県外で一人暮らしで病弱で次女は、我が家族とだんぜつで全く、妹の事も気にしていない。三女は毎月1万円づつ仕送りを本人に利用してくれと送金してもらっている。長男の私だけが富山で生活をし、両親亡き後、若い頃から、妹の世話をしてきたが自分も80才近くになり、自身の体調も心配で、今度、妹の入院している所で成年後見人制度をよく聞いてきたい現在の状況です。
30	現在は高齢の母親の世話を受けて生活できていて、アンケートもまだ深刻な状況の回答になっていないが、近い将来病気の母親がいなくなったら回答がガラッと違ってくる不安を持ちながら現在の状況で答えました。
31	現在グループホームにいて、時々、野菜をさし入れしているが、運営が途絶えないように、個人と施設について考慮してほしい。
32	知的に重度の障害者の為の生活介護施設の増設を願います。現在、どこにも通所ができない為行くところがありません。困っています。
33	私は弱視（0.6）と難聴があり、車の免許がとれません。自動運転の車の運転できたら、他の人を頼らず、行動範囲が広がるので、ほしいと思っています。どのようにしたら、免許や車の購入できるのでしょうか？できれば連絡がほしいです。
34	ディスカッションする場があれば知りたい
35	身辺自立が出来ていないので、安心して生活できる福祉入所施設を増やして欲しい。現在親自身も高齢、病気がちになってきたので、併せて相談にのっていただける窓口が欲しい
36	本人さんに聞きながらしていますが全く理解できない。途中であきてくるので違う話をしましたが最初から聞くのくりかえし
37	就労に関してですが、A型事業所とB型事業所では、工賃や目的が異なり、その理由などをうまく自分で説明できない時があります。その違いなどについてももう少し具体的にシンプルに分かりやすく説明できるようなマニュアルみたいながあると助かります。
38	今は母（記入者）が健康でなんでもやっているが、居なくなった時の事を考えると、誰に相談して良いかわからない。（する場所はあるけど、実感がわからない）グループホームが近くにない。
39	父、母仕事をしているが、母は障害の子の世話のため仕事に影響が出るため、正社員として働けない
40	何度も相談員にそうだんしても本人の症状はよくなる。現在も入院中だが、グループホームはみつからず、毎日のでんわもしつこく、みつかってもおちついて生活できるとは思えない。入院は来月で3カ月になるから、退院になるだろう。また、じごくがはじまる。私か、息子が本人に手を出すことになるだろう!!

41	障害に対する言葉の暴力や本人に対してのいきなりと決め付けるのが嫌で、しえんもしっかり本人に合ったものをしてほしい。やれば良いんだろうみたいなやり方が営業所で見られることもあり安心して働けるようにしてほしい。
42	グループホームがどこもいっぱいに入れない。短期入所が出来る施設が少ない。もしくは、無いに等しい（両親の突然の入院や出来事があって短期入所ができず困った事がある。親は入院できず通院しながら私（障害者）を介護してくれた。）
43	・こうしたアンケートの結果等は公表していただけるのでしょうか？ ・知的障害者の親は特に、親なき後の子の生活に不安を持つものが多いと思うのですが、親へのアンケートはないのでしょうか？
44	働いて工賃をもらいたいのに、重度の為、働ける作業所が本当に少ないです。せめて重度でもB型で働けるようにしてほしい。B型は基本自立している人じゃなければうけいれてもらえない。やる気はあるのに働きたくても働けないのは辛いです。
45	グループホームを増やして欲しい
46	障害のある子供を育てるのに家族の負担が大きいです。本人だけでなく、他の家族の体調や困りごともあるので、ショートステイや入所などできる場所を増やしてほしいです。私（親）に何かあったらどうなるのだろうという心配もずっとあります。
47	重度障害医療ケアが必要な人の土日の受け入れできる施設を増やしてほしい。平日は在宅介護をしているため。（レスパイト入院、ショートステイをしたい）[]のベット数が少ない。入所の看護師さんの数の他に土日はショート看護師さんを増やしてベット数を増やしてほしい。特に[]は、保護者や医師の希望を受け入れてもらえず、看護師が足りないと言われる。入所、ショートの看護師を分けて、受け入れるベット数を増やしてほしい。市から調査してほしい。
48	本人は重度障害者なので、一人で外出できないし、常に介助者は必要な子です。親の私が、全て介護していますが、自分に何かあった時、安心して、本人が過ごせれるところ（施設）があればと思っていますが、どこもいっぱい、ショートステイすら、あずけれない状態なので、もっと気軽にあずけれるところがあればと思います。
49	問7について、親子共に「いつまでも一緒に暮らしたい」が本当の”希望”です。しかし、現実はそのようなわけにはいきません。 親亡き後も子どもたちが健康で幸せに暮らすことができる富山市になりますように。 福祉施設の人手不足も心配です。人材の育成にも力を入れていただきたいと思います。 アンケートの実施ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いいたします。
50	理解しづらい文面もありかなりパニックになった 何回かに分けて本人に話をした為「またか」と思い解答がむずかしい。

③ 障害のある市民（精神障害）

1	回答する機会に感謝します。高齢化に伴う地域な中で、いろいろ考えさせられました。いつもありがとうございます。
2	体調不良でまともに働けなくなった有給をふやしてほしい
3	人によってはたまたま自分に合った職場に就職できた人が、たまたま自分に合わない職場に入ってしまったために障害者になってしまった方もあると思うので、裁判人制度のように無差別に人を抽出し、異業職への職場で1,2カ月とか就労させるような制度を作ったらいいと思います。分かりやすくいうと、昔映画でやっていた「県庁の星」のようなことです。民間企業→国、県、市の組織異業種で実際に働いてみることで、障害者でなくても「自分には異外とこんな所ができる」「これは難しい」といったこと、「こっとうしたら企業全体効率良く、働けるのに」といった新しいアイデアも生まれて、障害者だけでなく、世の中の色々な人が生きやすく働きやすい世の中につながっていけないかと思います。ぜひ「障害者計画」に盛り込んで頂けましたら嬉しいです。
4	正直おやがしんだりふようできなくなるまでには働いておきたいがBがたのストレスもたえられず未来にぜつぼうしていっすんさきはやみだと考えている。
5	年齢が高令になったのでイザという時の事を考えてしまう
6	障害者に対する諸手続きを簡素化してほしい。
7	色々ありますが、とにかく物価が高すぎて無理をしてでも働く必要が出て来ているので、本来なら、そう言う無理はしたくないです。昔みたいに、ゆっくりのんびり自由にリラックス出来る生活が欲しい。B型作業でも本当にきついです。
8	老後が心配です。
9	今は両親と暮らしているので生活できるが、将来一人になった時生活していけるか不安です。
10	障害雇用で企業側の理解がまだ、少ないと感じることがあります。
11	主人が倒れた頃は、他にも何人か倒れた職員があり亡くなった為、労災になりましたが、主人の場合は、会社が労災に認めてくれないのだと労組の人から聞きました。民営化になる忙しさの中で、私から見ても過労としか思えませんでした。障害者年金をもらえず、幸いデーサービス等を受ける費用っが出てきません。家で見守るしかありません。
12	知らない法律や福祉サービス名を知る事が出来ました。ありがとうございました。 ・現状を変えたいけど、変えられないストレス、少し背中を押して頂けたら、市や町の負担にならない様になれると思います。助けて欲しいです。
13	発達障害の為、行政等の手続を上手にできません。自立支援を受けられるのに手続きが上手にできず半年以上医療費の支援を受けることができていません。そういうことが上手にできない障害です。手伝って欲しいです。 死んでしまいたい時、命の電話、病院、他助けて欲しくて電話しても「ここは違う」「この時間は対応していない」と言われ頼りになったことがありません。また、その対応で余計に死んでしまいたくなります。ワンストップで支援に繋がるようにして欲しいです。 要望は色々ありますが、手帳や年金他、制度に感謝しております。対応して下さる職員の方々には親切にして頂きありがとうございます。心から感謝しております。
14	富山市職員の採用を会計年度1年用職員（障害者枠）のみならず、正規の時間で枠を含め、ご検討いただけるとうれしいです。

15	最低賃金を上げてほしい。
16	精神障害者は、知的や身体に比べ目に見えてわかる部分が少ないため、学校、職場において健常者と同じように見えてしまう。そのため心のやすらぎとかまではわからないので、やはり、学校、職場でのコミュニケーションが必要だと日々感じている。
17	「障害者雇用枠は身体優先」と平気で言い放つ[]のような企業に強く指導、できれば罰則の制定を
18	12月はなにかと気忙しいので、できればもっと早い時期にアンケートを実施してほしい
19	障害者雇用に対する一般就労の人がもっと障害に理解できる人が仕事を襲えてほしい。
20	職場では、とにかく差別され、退職をせまられている様に思われる。勤務中はパワハラや長時間労働によりこのような状態となったが、保障がない。この先も不安です。
21	車の運転免許更新時に、猛暑期間、高島の免許センターまで行くのが、本当に心も体もしいどくて辛いので、近くの交番や地域センター、行政センターでできるように改善してほしいです。お願いします。すみません。
22	わかる範囲で解答しておきました
23	公的機関の対応は人によって違い、安心して信頼して相談できる所がない。
24	障害者向けに社会復帰をしやすい講座や施設をもっと増やしてほしい。自分や家族だけでは限界があるので社会的にも障害者に対する支援を増やしてほしい。
25	障害者年金が65才で終了になるので年金だけでは苦しい。何か支給制度を作してほしい。高齢者障害福祉施設を作してほしい。運動したり、浴場であったり。
26	静かに暮らしたい（家族にかこまれ）
27	独暮らしです。60才台に入ります。なにかあった場合が心配です。近所には障害者と知られたくはありません。町内会や班長のようなのは出来ません。独りで相談する相手も人も知りません。スムーズに過ごして生きたいです。
28	6年前、[]のデイケアに通院していたが男性スタッフが僕たちや女性スタッフの前でもあまりにも卑猥な事をいうので僕が注意したら次の日からイジメが始まり、一年間ずっとイジメられた。その間、市役所の障害福祉課や社会福祉協議会、県障害福祉に相談したが助けてもらえなかった。[]のデイケアを追い出され、5年間あちこちウロウロしたが障害差別法が執行されたのを知り県の障害福祉課に電話したら、今度は聞き入れてくれて、今年の7月から市民病院のデイケアに通える様になった。（男性スタッフ転勤させられた）現在デイケアに通院しているが前と同じ問題を起こすのではないかと慎重で、活動が制限されている。もっと自由に昔のデイケアの様に自由に絵を描きたい。今は毎日かかせてもらえない。大きな画用紙に、自由な芸術勉強をしたい。作業療法士に言って下さい。自由に絵を描かせてあげると。昔より厳しくなって余り、自由がない。作業療法士の先生は同じなのであるが、きびしすぎます。もっと自由にあを描きたい。描かせてください！！現在、[]で[]高校の[]学で勉強している。5教科、勉強しています！！
29	薬の副作用などで、いろいろと困難な事が多くあります 夫が手助けをしてくれますが、夫ができなくなったり死亡したらどうしたらいいのだろうと困ることを考えて、不安です。どうしたらいいのでしょうか。
30	障害年金1級、2級、3級じきゅうがくをふやしてほしい。
31	介助者（父・母）が亡くなったら、一人になるので、心配です。

32	10年以上困っているのに金銭的な援助尾が無く将来不安しかない。結局助けてくれないし、あきらめるしかない。
33	いつもありがとうございます。かんしゃします。よろしくおねがいたします。
34	無料で利用できるスポーツなど施設があり、大変ありがたいです。毎回障害者手帳をだすのはつらいです。
35	災害時は手張のと3級関係なく登録させて下さい。
36	未成年者に障害者のことをよく教えてほしい。
37	詐欺アンケートでない事と思いたいです。
38	アンケートわかりにくかったです。運転が出来なくなるかわりの支援をすぐにでも考えてほしい。
39	働くことがむずかしいのにもとめられるのはフルタイム。4時間勤務だったり、すると、時給が低くなるのはなぜ？この物価高で1ヶ月10万円で生活できると思うな。死ねって事？生きていく事で必死なのに、お金の援助となると役所はどこも「あなたの場合は受けられない」と言われる。しんせいしたらもらえるはずなのに、ことわるのが、仕事なんですか？自分たちは生活費いくらで生活してんの？弱者は死ねるか。
40	ただでさえ生きることが困難な時代。なぜ私を生んだのかと問いただされ、毎日、心が苦しいです。本人は気になることが多く、ずっとおちつかないと言います。長生きしなくていいので楽しい人生を送ってほしいと願うばかりです。母親として行動できない娘を見ていると、不安しかありません。暮らしやすくなることはない気がします。（親も家ぞくも）どうしたら前向きになれるでしょうか？みな、私をやさしいと言いますが、ちがいます。子をみすてた親です。何もかも、あきらめばかりです。
41	自由がほしい。ばかにしないで下さい。差別をしないで下さい
42	富山市でできることは何もない。
43	カウンセリングを受ける等、自分に合った治療を受ける際の保険適応をもっと拡充してほしい
44	私の薬のよって、足の痛み感ずると続いている。頭脳が回復しても就職にはつながらない。薬のせいにはしたくはないが、困っています。人体実験に関しては…意味のない回復だと思えますし、親のみとり世代として、ずっと苦しい毎日でした。今、親なき後どうしたいかわかりません。
45	妻が入院中の為夫の私が記入しました
46	車の運転をしないので、通院の時のタクシーチケットの補助が欲しいです。
47	家族、夫婦で暮らせるグループホームやマンション、アパートを増やしてほしい。

④ 障害のある市民（障害児）

1	障害のある子、方が暮らしやすく安心安全に生活していくためには、まず家族保護者である父、母、きょうだい、祖父母がおだやかに子、人を育てる環境（人を含む）が必要です。県や市がひろく相談会では、困り事や不安についての情報の吸い上げが不十分であると感じることも多いです。保護者、家族が気軽に話せる場をピアサポーター、ボランティアがつくり、その団体を市が費用を出して支援し、連携をとっていくようになってほしいです。仕事として話を聞く人には話しにくいことがたくさんあるのです。理解も感じられません。
2	母の要望：子どもの預け先がなく、土日や夜に仕事ができない。ベビーシッターはあきがないことが多く、高い。ショートステイや一時預かり、泊まりもできるものを増やしてほしい。出張にも行けず、仕事が制限されている。
3	入所施設、グループホーム、生活介護事業所の数が足りていないと思います。それに加え、福祉事業所も人不足だと聞きますので、職員の方が離職しないような環境を整えていただきたいと思います。親なき後のことがとても心配です。
4	人工内耳をする時点で、ほぼ聴こえていないのに、等級が100dBより↑↓によって、月15,000円の手当が違う（特児手当）。基準を見直してほしい。
5	・行政、病院、福祉施設のみなさんには大変お世話になっています。・こちらで伝えても何の意味はないと思いますが、放課後等サービスの限度額が2パターンしかなく、我が家の収入はそのはざまです。利用料が上がってしままで利用していた回数を減らしたり、利用をあきらめたりしています。もう少しなだらかに上がってほしいです。
6	一般企業で将来働きたい。しかし、給料が少なく生活できないと思うので、給料を増やしてほしい。
7	知的障害、自閉症の息子（支援学校高等部2年生）の母です。学校を卒業した後の、福祉サービス（移動支援、グループホームなど）について、成人をむかえるまでに学べる場（本人と保護者）があると有難いです。
8	☆自閉症で言葉が話せず、コミュニケーションがとりにくい、いつもと違うことも苦手で、医療ケアや医療処置をする時にあばれることがあり、大変なのでなかなかあずかってくれるところも少ないと思いますが、親が調子悪い時や亡き後にあずかってくれるところがあつたらいいな（できれば公的病院のあるところがいいな）と思います。入院時等、兄弟への負担も少なくなつたらいいなと思います。☆入院時、親がつきそい、家からおむつを持って行く場合はおむつ引換券を支給していただけるといいなと思います。☆特別児童扶養手当の所得制限をなくす、または越えた額によって半分支給など段階的にしていただけるといいなと思います。
9	地域の小学校に通っているが、特別支援学校にも通いたいと思うことがある。インクルージブ教育を進めるためにも、どちらの学校にも通えるような柔軟な環境を整備してほしい。メインは特別支援学校だが、サブで地域の学校にも籍をおいておき、月に2、3回はサブの方で勉強やお友達とコミュニケーションをとれることが理想である。
10	成年後見人についての情報をもっとわかりやすくみやすく沢山だしてほしい。難しい言葉ばかりでわかりづらい。
11	今回このようなアンケートを送って下さり、ありがとうございます。今は子どもの障害と向き合う毎日を送っています。もしかしたら、自分も障害者になる未来がくるかもしれません。いつ誰がそくなるかは分かりません。でももしそうなったときに、生きやすい環境があることで毎日がいい方向へ変わっていけると思います。未来のために今少しでもできることをしていきたいです。
12	より良い自己啓発のために、専門的な評価、治療、継続的な個別フォローアップを受けるためにどの機関に行けばよいかを知りたいです。お願いします。
13	学校卒業後のすごせる場所の情報や、生活介護も希望する所はいっぱいに入れるかの不安が大きく、安心できる情報がほしいです。18才から相談支援員の方も、自分で見つけたりしないといけないと聞き分らない事が多すぎて困る。
14	障害福祉の文面や名称がむずかしいものが多く理解しにくいことがある。資料をわたされるだけで個々にあった福祉がどのようなものがあるのかがわかりにくいと思った。
15	障がいとは全方位にあるわけではないので、特性をふまえて今ある職場にあてはめるのではなく、個々の特性を生かす場をカスタマイズする発想で少ない人口をカバーしていく。今からはそのような時代です。行政にはぜひチャレンジングな取組をお願いします。

16	まだ子供が小さいが将来少しでも障害のある子が、自立し、生活していく上で、仕事や生活する事すべてに支援が必要なので、就労先が減らない様にしてほしい。生活面でも相談員さんの訪問などの回数を増やし支援を手厚くして欲しい。
17	憲法をじゅん守できる人間を公務員に採用して下さい。
18	障害者が健常者と一緒に住みやすい富山市をお願いします。
19	・3歳で障害がわかり、主治医のすすめで小学校は支援級にしました。「支援してもらえた」と思えたのは最初の2年だけです。3年生からは指導力のない教員ばかりで辛い小学校生活をさせてしまいました。ある先生は、学習発表会で「ちいちゃんのかげおくり」をするのに、うちの子には、学習させておらず、交流級の先生がきづきました。また別の先生は、聴覚過敏について知りませんでした。娘は支援級が「若草学級」「サルビア学級」という名前であるのが嫌といいます。色や花のクラス名なんて、幼稚園のようでもんね。おかしな名前をつけて、指導力のない教員を配置する。市は障害のある子に勉強を教えるのが嫌なのですか？中学からは、県立の学校に行かせます。お隣の飛騨市と比べるととても遅れています。※市立の学校に作業療法士をおいて下さい。
20	精神的トラウマから外出しにくくなっている。嵐にあって雨風がこわくなって聴覚過敏になってさいな雨風の音もこわがるようになりました。これをやわらげていくためのサービスや医療プログラムを教えてください。
21	世帯の収入が増え、特別児童扶養手当が受給できなくなり、放課後等ディサービスを利用する際の上限額も上がった。生活レベルは変わっておらず、放ディも17時以降みてる所はほぼなく、結局仕事も一般的な時間には働けず、少し収入が増えた程度で支出が多くなったように感じる。
22	受給者証の更新などマイナンバーとヒモづけして、もっと手軽に出来るようにして欲しい。役場にて、20~30分程聞きとりがあったり、一カ月前に更新手続きしたのに、放ディ切り替えのために再び同じ書類を書くなど、時間がかかる。もっとマイナを活用できるのではないか？！
23	私（ケア児の母）が通院する時、初めて行く病院だと事前に電話でベビーカーで入れるか（←土足かスリッパか）、段差が入り口にはないか、など確認しています。小さなクリニックでももっとバリアフリー化が進むと助かります。
24	本人はまだ記載難しいので母が代筆しました。1人っ子であり、将来については心配しています。就労、経済的問題、交通、移動手段の未熟さ。
25	問17.18.20.21.26.27.28は本人が子どもなので保護者である私（親）の認識を書きました。本人の認識を問う目的のアンケートだった場合は全て「知らない」「わからない」に訂正して下さいかまいません。
26	特別扶養手当の基準が県によって違うと聞きました。同じ障害の程度で、違うというのはやはりおかしいと思います。今は酸素もなくなり一見普通ではありますが、やはり何年後何十年後に不都合な事が出てくるであろうと言われております。将来の事、身体の事、不安はつきないので、今だけの病状で判断しすぎずしっかりと見て判断して欲しいと思います。
27	軽度の障害者の支援が少ないと思います。所得に応じて助成金や手当金が違うのはおかしいと思います。障害の判定は平等ならそこも平等であるべきです。
28	・放課後ディサービスの空きがあっても、本人の特性が強すぎて（こだわり、暴れる）利用する前に断られてしまう。対応できない、人が足りないと言われてしまう。事業所の職員の方の質をあげてほしい。おとなしい子、自分たちの見やすい子ばかり受け入れているところが多く、何のための放課後ディなのか意識を高めて受け入れ体勢を整えてほしいです。ディを断られ、働くことも難しくなりました。
29	子供なので成長に合わせてメガネを変えたいが、4才をすぎると2年に1回と助成が制限されるため、出費が増えて困る。
30	障害は、人によってさまざま、いろんな方がたくさんいらっしゃいます。多様性の社会に富山県も多くの学校、施設、企業の理解ある住みやすい県になっていただきたいです。
31	学校卒業後の行き先（受け入れ先）が少ない。定員いっぱい。親の日々の負担が大きい。放ディは軽度（普通学級・支援級）の子の受け入れ先は増えているが、肢体や重度知的の重複は受け入れ先が少ない。ガソリン券の金額増額望みます。
32	ディサービスの事業所を増やしてほしい。受け入れてくれる所が無く困っている。家族が入院して学校に通えなくて困っている。
33	リハビリ訓練をしっしょうけんめい頑張っております。生まれた時に障害をもって、この世に生を受けました。未来が明るく過ごせる様に現在も明るく生きています。今後とも障害を持っている子供たちの為にいろいろ配慮をおねがいします。

34	受けられる福祉サービスがよく分からないので、分かりやすく説明してもらえると助かります。また手続きのため市役所などに行くのが大変なので、手続きをもっと簡単にしてもらいたいです。
35	児童発達支援をしてくれる施設が少ない。人工呼吸器をつける児を介護するため（仕事復帰できずやむおえず）退職し、勤務形態を変えようと思いますが、兄妹の保育園も点数が低く入園できません。褥そうマットの購入時にも思いましたが障害をうまく評価できる方がいないように思います。医療者の助言もと入れ様々な可否を決めてほしいです。他の課との連携も望みます。
36	障害を持つ子がもっと社会へなじめる、社会生活ができる工夫をしてほしい。小学校すら行けるのか不安で毎日過しています。他の県の制度や工夫をもっと富山にもとり入れてほしいです。期待しています。
37	現在は未成年で、保護者の介助のもと生活しているので、成人後や親亡き後を想定すると、もっと違う回答になると思います。
38	困ったことがあっても、どこに相談すべきか分かりにくいので、どんな支援があるのかももう少し分かりやすく、伝わりやすくなって欲しい。
39	医療的ケアを実施できる保育園を増やしてほしい。障害児を持つ親で、就労意欲の強い人はたくさんいる。しかし、自らが医療的ケアを行う必要があり、就労したくてもできない人が多いと感じる。医療的ケア児の受入をできる保育所が増えれば、多くの人が就労できる。ぜひ、お願いします。もう少し私たちの「声」を聞いて下さい。
40	高等部卒業後の相談支援員さんを見つけるのに苦労しています。支援員さんが少ない。お1人でたくさんの方を担当されていると聞きます。何か策があればと思っています。
41	療育手帳小学校入学前に作りましたが、富山市でメリットはほぼありません。何か意味（支援など）増やして頂きたいです。
42	障害の有無関係なく、みんな余裕がない。自分のことで精いっぱい。それぞれ心に、時間に、お金の余裕がないと自分以外の人に手を差し伸べる気持ちにならないと思う。なかなかその手が障害者にとどかないのかな。私の周りは優しくしてくれる人がたくさんいて、助けられているけど親切にしてくれるのが外国の方も多し。もっと日本人にも色々な特性を持った人がいることを知ってもらって冷たい視線が減れば温かい空気感が広がれば障害者も家族も生きやすくなるかな。
43	・学校での教員、職員の加配が難しいのであれば、家族以外の人を家族側で手配しても良いようにしてほしい（プライバシーの問題でできないと言われたので） ・人員不足であることが加配が難しい原因であれば、つきそい家族にお金を支払ってつきそいをしてもらうようにしてはどうかと思う。（家族が働くことができなくなり、経済的に困ることがあるため）
44	全体的に職員の障害福祉の知識が低く、相談にならない。文面に書かれていることは読めば理解できるので、具体的に点ではなく、線で考えて話が出来る人がいない。
45	軽度知的障害者であっても、人並みに賃金をいただきたいです。軽度知的障害者でも、富山市の公務員になれる様お願いしたいです。是非お願いします。
46	軽度の知的障害者も一人で暮らすことができるよう、支援を充実してほしい。例えば、支援金や税金免除など、親が世話ができなくなっても安心して暮らしていけるように体制を整えてほしいです。
47	障害を持つ子用の室内の遊ぶ所がほしい。小学生になってくると（大きくなると）地域の小さい子の遊ぶ所では満足できなくなったり、小さい子の親ごさんがなぜこんな大きな子がここでこんな奇行をしているのかといった目で見られる。商業施設も人が多く、遊ぶ環境になく、行けないので暑い日や雨の日、冬に行ける所がほしい。目を離して走りまわられる所がほしい。
48	利用できるサービスを自分で調べないとわからない事が多かった。市役所で聞いてもたらい回しされる事もあった。こちらから聞かないと教えてくれない。利用出来るサービスがあるなら、案内や説明して頂けると助かるのと思う。後、利用条件等の説明がわかりにくく、自分が該当するのかも聞かないと分からない事が多かった。もっとわかりやすくして欲しい。
49	障害をもつ子が大人になった際の生活基盤に不安を感じる。親の介助なしで生活するための長期的な計画や支援があると助かる。
50	日常生活用具のオムツなどの窓口を広げてほしい。指定の業者に頼むとオムツの値段が高く、障害者のために使われるお金が仲介者に使われるお金に変わってしまう。スロープのお金や、住宅改装なども指定された業者にたのむと10倍くらい高くなる。
51	発達障害グレーゾーンの軽い障害の子供に、特別児童扶養手当が支給されるのはおかしいと思う。重度の障害の特児の所得制限をなくしてほしい。
52	障害児に対する手当を増やしてほしい。・相談できる窓口をもっと増やしてほしい。・親亡きあとの生活の保障などくわしく知りたい。

53	娘は軽度知的障がいの為、受けられる支援や助成金はほぼない状況です。重度の障がいの方を支援していく必要が高いことは理解していますが、軽度の方には違う視点から支援が必要であることも社会に理解してもらいたいです。軽度だからこそその辛さもあります。母
54	状態が重いのに、なかなか支援が受けられません。放デイは状態が良い子でうまっています。私自身（親）は土日パパが仕事であるので、土日の支援さえあれば平日の放デイはいりません。細かな工夫があれば他の方にも支援が行くと思います。そのためにはケアラーに注目した支援が必要です。
55	多種多様な就労施設の充実。
56	軽度知的障害の子が通えるサポート校やチャレンジスクールを整備し、進学を選択肢をもっとふやして下さい。一度でも支援学校へ行くと学習の遅れから進路変更が難しく障害を色々とおきらめなくてはならないことが非常に残念です。
57	親がいなくても安心して過ごせる場所や経済的基盤を充実させてほしい。支援学校や入所施設は不便なところがあるので、自家用車がなくてもいいように交通手段をなんとかしてほしい。
58	所得制限で特別児童手当がもらえなくなりました。デイサービスの利用料も、また所得制限にひっかかると約5000円→37000円の上限になってしまいます。高すぎます。子の為の貯蓄もしてあげられなくなり更に通常の生活にも影響します。行政として何か力になってもらえないでしょうか？
59	学ぶ、働く、遊ぶ、すべて選択肢を増やしてほしい。
60	療育園が市内だと恵光学園しかありませんね。もう少し増えたらよいなと思います。また、本人は、感染でてんかん発作が誘発され、入院、救急をくり返し、生活が落ち着かないため、感染対策に特化した、通える場所があると嬉しいです。子どもは風邪をひくのが普通という一般常識を苦痛に感じてしまう面が多々あり、悩んでおります。
61	問17で記載しましたが、富山市は本当に利用できるサービスが少ないです。放デイも常に空きがなく、正社員として働いていたのに辞めざるをえませんでした。サービス活用しながら働き、子どもが将来お金で困らないように、またきょうだい児に迷惑をかけないようにお金を残してあげたいと思っています。サービスを充実させてください。
62	仕事も子育ても、どちらも大切に、どちらも必死に行っています。しかし、収入があることで、補助金がもらえなかったり、放デイの利用料が高額であったり・・・。働く意欲が失せることばかりです。障害をもつ子の親が働くことは、とても大変です。それでも必死にがんばっています。ですから、収入の基準額をもっと引き上げるなどしてもらいたいです。今、民間も公務員も給与がどんどん上がっているのでそれに見合う基準にして下さい。
63	年長の頃、相談員に面談の度に[]学校へ行けると言われ、夫婦ともに信じていましたが、教育委員会からの通知は不可でした。そして、結局地域の学校へは不登校になっております。だめもとでも[]学校を受験すれば良かったという後悔で日々辛いです。母親は適応障害で弟が感染に弱いこともあり、障害児の子ども2人の療育と体調の両立が難しく、悩んでおります。
64	軽度の障害で生まれつきの場合、障害年金を受給できないことが分かりました。障害者雇用で最低賃金で働いても親なき後の生活はできないと思います。アンケート調査はとてもありがたいです。障害者1人ぐらしの人は理解がむずかしいと思います。いろんなことの手続きを簡単に（やさしく）してほしいです。
65	自閉症のため痲癢や他害などがあり、土日、祭日などに人の多い公園（インクルーシブを含む）に行けないので、障害児のみで使える福祉などの体育館などを開放していただけたら大変助かり、嬉しく思います。インクルーシブ公園では定型のお子さんと一緒に使う事は、やはりとてもハードルが高く休日にそのような体育館などがあると思うだけで、親として大変心強く週末を迎える事ができると思います。有料でも利用したいです。
66	特別障害児手当での親の収入の限度額をなくしてほしい。・障害児手当を増やしてほしい。・子どもが障がい手帳を持っていても、NHK受信料を割引にしてほしい。・新築にも障がい者用の手すりや、ロープを設置するのに補助があったほしい。
67	放課後デイサービスの利用日数が増えてほしい。・OTやSTなどの訓練できる場所が県リハ以外にもできてほしい。・気軽に相談できる窓口、親の会など教えてほしい。・高校を卒業しても、放課後デイサービスのような預かりしてくれる所がほしい。親は子が18歳になると仕事を辞めないといけなくなる人が多い。放デイも早期利用や、せめて夏休みは8:00~17:00までが追加料金をとらない標準時間にしてほしい。

68	児童発達支援→放課後デイにそのままつなげられるような場所を増やしてほしい。障がいを持つ子どもの親が働くことを諦めなくても済むような社会になってほしい。フレックスタイムやテレワークの充実、週休3日等、平日に通院や役所の手続きなど行きやすくなると助かります。
69	障害児で不登校の子どもが、気軽に行ける場所が欲しい。
70	現在子どもは、支援学校高等部1年である。あと2年少しで世の中へ出るようになるが、息子にあった生活介護事業所に出会いたい。また、現在は親がすべてお世話をしているが、このスタイルがずっとというわけにはいかないの、早いタイミングでグループホーム入所を希望しているが、どこのグループホームも満床ですとのこと。グループホームや入所施設を増やしてほしい。よろしくお願い致します。
71	支援学校（高等部）の場所が不便です。バスの本数が少ないです。
72	公共施設のおむつ交換台を介助用ベッドに替えてほしい。どの公共施設に行ってもおむつ交換台イコール赤ちゃん小さな子どものためにあるものと考え、体が大きい人だとおむつの交換に困ります。特に市役所は障害のある人や子どもも一緒に来所し、聞きとりをする手続きがあります。その時におむつ交換をする場所に困り、家に帰るまで我慢をさせることがあります。一部だけで良いので介助用ベットを導入していただきたいです。
73	このアンケートの結果を送ってほしいです。要望に対して富山市はどのように取り組もうとするのか、今後の計画、考えも合わせて教えてほしい。障害福祉課と教育委員会や子育て支援課がもっと連携してほしい。とても冷たい対応をされています。このアンケートの結果も是非共有してほしい。そして学校での困りごとでも伝えて改善につなげてほしいです。今回のアンケートで終わりにせず、聞き取り調査もしてほしい。
74	いつも助けていただいてありがとうございます。自分達家族が生きていけるのは国、県、市、各施設、学校等のみなさまのおかげです。障害を持って生まれた娘のおかげでここまで支えられている事に気付く事ができて感謝しかありません。本当にありがとうございます。
75	息子がまだ小さいのですが、親（私）高齢の為、とにかく先の事が心配です。毎日の事で精一杯の為、将来の事を見据えた行動もおこさない、とは考えています。ただ必要な情報を得るには時間もかかります。心にゆとりがない状況です。また私も働かないと生活がきびしいです。働く私、親への支援が欲しいです。どうしてもパートタイマーしか働く事が難しいので、なんとかして欲しいです。障害をもつママも言っています。母親はする事も多い中、一生懸命働いています。現状どうしているのか話す機会もあれば理解していただけるかと思えます。福祉関係の方、宜しく願います。何とかして下さいませ。
76	地区センターにも障害福祉課の窓口を設けてほしい。
77	ごみ有料化になることが心配です。オムツの他、食事も食べこぼし等で口スになったり、衣服や物を壊す事、布団を汚染して破棄せざるをえない事もあります。45Lまでの袋では布団は入りません。・障害の学校では感染症対策（マスクをしない、手洗いが自らすすんでしない）事あり、よく学校を休みます。常に目を離せず、介護必要な為共働きは困難です。障害のある家庭の大変さをもっと理解して頂きたいです。このようなアンケートの機会を与えて頂き感謝致します。
78	アンケートを送付できるなら、利用できる制度の案内も送付できるのでは？障害者は自ら情報を探さないと、サービスを知らずに家族だけで抱えてしまうことが多いように感じています。
79	・知ったもんがちの福祉。もっと皆に分かるようにしてほしい。・制度の所得制限をやめてほしい。・昔から情報が行き渡りにくい問題はいつになったら解決される？・相談支援員の質が悪い。そもそも親より知識がないので自分で調べるしかない。もっと向上させて。
80	子どもは重度の知的障害なので、このアンケートの内容をほぼ理解できていないので、親からみた子どもが経験してきたことによる思いだったり、そうだろうということを書きました（問29）。親の質問解答とまざっています。
81	知的障害者の働く機会がとても少なく、将来働く希望を持っている子どもに何と声をかけていいか困っています。「自分で働いて自分で稼ぎたい」本人の希望を叶えるために、一般企業就労場所の拡充やA型事業所の拡充を希望します。学校給食の委託業務先を見学に行った時、富山市から「受入NG」が出ており就業体験ができないと言われました。過去は受入OKだった時もあったそうです。働くチャンスの為復活して下さい。お願いします（他の自治体は受入しています）。
82	「あなたは」「あなたが」から始まる設問は5歳女兒（本人）になり回答しましたが、その他は親（母）の視点で回答しています。今後障害を持つ方々の生活が今よりも生活しやすく、安全に生活できるよう、制度を創設及び整備していただけますと幸いです。よろしくお願い致します。

83	市役所へ相談に行っても部署をたらい回しにされることが多い。こちらでは対応できませんの言葉を何度も聞きました。では、どちらで対応できるのか、誰が聞いてくれるのか、前例がないからむつかしいの答えがほしいではありません。どうすれば、どこに意見を伝えれば良いのか、聞いてくれる人はいない場所が役所だと思っています。
84	将来的に入居できる施設が少なすぎるので、重度の子でも入れる施設を作ってほしい。
85	自分ができてあたりまえのことを、できない人がいるということを沢山のの人に理解して欲しい。そしてそんな人達のことを見下すようなことなく、助けあいのできるあたたかい世の中、あたたかい富山になって欲しいと思う。
86	空いた学校で、ゆるやかなペースで学びたい。学校生活を送りたい。人より理解できる速度は遅いけれど、理解できたときはやっぱり楽しい。人の3倍かかって理解できるから、学校へももっと長く通いたい。地域で生きていきたい。親亡き後、淋しくなっても慣れ親しんだ思い出深い地域で、少しずつ学びながら暮らしたら豊かな人生だと思える。
87	障害者を支える家族として、日々感じるのは支え手側（家族、支援者）へのサポートが少ないことです。障害者を育てる中、特に知的ということもあり、本人の思いを汲み取ることが難しく、そのため本人はパニック、問題行動へと至り、そのたびに家族の心は疲弊します。家族が倒れてしまうと、障害者本人を支えることは困難になります。支援者頼みになると、施設側も限られた人員で厳しい経営、運営の中支援員さんたちも疲弊、離職、困るのは本人、この悪循環を生み出さないためのしくみ作り、支え手側のサポートに力を入れていただけると、大変助かります。
88	子ども（本人）がまだ小学生なので、親としての気持ちで記入したところが多いです。今の状況のききとりをしていただけてありがたいです。幸運なことにより相談員さんに巡り会え、困っていたことも助けていただき、なんとか生活できています。
89	放課後等デイサービスの利用料金の上限を所得で変動するのをやめてほしいです。補助金は出ません。上限は高い。あまりいい気がしません。放デイのサービスはいつも感謝しています。
90	親亡き後が心配です。障害のある人が安心して暮らせる住まい、見守りの仕組み、お金の土台、相談できる人が必要です。行政支援に期待したい。
91	放デイの所得制限が下と上すぎる。特児も所得制限がきびしい。同居しているとひっかかってしまう。
92	福祉制度の所得制限の撤廃について働きかけてほしい。突然家族が大きな病気になり、私達は精神が混乱し、大きい大きい不安に潰されそうになりながら今に至っています。身体は前と大きく変わり、以前の暮らしに戻れず、たくさんの事を諦めねばならない現実と向き合っています。今回のアンケートは、こんな私達にはまだまだ受け止めることができません。もう一つ受け止められないことがあります。身体障害者という呼び名です。「障害者」の言葉はとても冷たい響きで、冷たい意味の三文字、障害者と呼ばれることが一番の差別と感じます。優しい響きの、思いやりが感じられる呼び名を、たくさんある日本語、漢字の中から選び直して欲しいです。
93	障害者が思いきり遊べる公園があると嬉しいです。インクルーシブの公園は結局肩身の狭い思いをするので怖いです。健常者の目があると子どもを思いきり遊ばせることができず、居場所がありません。いつも意見を聞いていただきありがとうございます。
94	富山市の西側に医療ケアがあっても、通えるデイサービスや（行くまでに大変なので、行政手続きが減れば嬉しいです）生活介護者を受け入れられる施設をつくってほしい（あきがないため）。富山がたではなくて、少人数で安心して通える事業所ができたなら良いなと思いました。病院だとベットの上にはいないといけないので、学校卒業後も楽しく通える場所、ひきこもりにならず通える場所があると良いなと思います。
95	グレーゾーン・軽度知的障害児の学びの場をつくってほしい。経済的に負担が増えると学ばせたくても学ばせることができない対応おねがいします。

⑤ 障害のない市民

1	1. ボランティアの環境整備は必要だが施策にはいけない。1. 全世代へ継続的な啓蒙活動は必要。1. むつかしいが、実社会に溶け込めれる施策。※本アンケートはどの程度の障害をイメージするかで、回答が違ってくるのでむつかしかった。
2	プライバシー保護があり、地域の状況はごく少名しかわからないのではないのでしょうか。
3	意思が通じない方に対しての不安、怖さみたいな物があると思う。もっと理解を深められるような「何か」があれば良いと思う。身体的な障害に対しては、以前より理解が深まっているのではないかと感じる。皆が過ごしやすい環境を整えてほしい。
4	発達障害の人の就職や支援等の相談窓口が充実してほしい。現状、健常者扱いの為、正社員としての就職が困難。
5	洋画やドラマをよく見ます。海外では働くにしても日常生活にしても、いたって普通（しぜん）に受け入れられています。（そのように見えます。）日本も富山もそのように持っている力を生かせる社会であればより住みやすいかと。
6	どういった障害をお持ちかで、対応も違うので、地域に入ってきて生活など難しい所もあると思います。障害の方が働けて生活できる所を行政が作ることも大切だと思います。
7	おたがい様の気持ちで、隣や近所の方々と日頃からおしゃべりしてお付き合いしていられたら、助け合えると思う。たとえ障害を持っていても、その家族と協力し合えるのではないかと。
8	アンケートのフィードバック
9	障害者が住みやすくなれば良いと思います。
10	多機能型事業所でパン、焼菓子製造を行っている事業所が多々有るとかと思いますが、可能であれば、民間営利企業の他に障害者が働いている事業所の製品（パン類）を公営の小中学校で採用等の検討はされてますでしょうか。予算の都合は有るかと思いますが、支援の為の名目で有れば税金は多少高くてなっても良いと思っております。
11	歩道の整備。空き家の樹木の枝葉により車椅子が通れない。
12	障害が無くても、町内が高齢化しているので、ボランティア参加は無理です。店で見かけた時は、ドアを開けるとか、できる事をしてあげる。
13	知的障害のある方の支援学校卒業後の進路に、進学を選択があればと思います。他府県では、進学できる所もあるので、富山県でもそのような選択があればと思います。
14	まずは多くの人々の理解が不可欠だと思います。普及啓発をすすめてほしいと思います。
15	障害のある方の社会参加を増やすことに対して、何が、どういう手助けが必要なのか、具体的に想像がつかない。市役所や公共の施設では障害のある方が仕事をされているのは見かけるが、一般の会社ではほほいないので、日常で関わることはないのか、どんなことで困っているのかわからない。
16	身内に障害者がいて、どれだけ可愛いと思っても、冷たい目で見られることを知っている。全ての人に受け入れてもらえるとは思っていない。悲しい思いをするくらいなら、施設にいた方が楽しいのではないかと。軽度と重度では対応が違う。
17	地域をこえて（他市町村で）見守れるようにしてほしい。
18	もっと障害者が、楽に生活出来る施設を増して欲しい。
19	このアンケートで使われている「障害」という物が、どのような障害を指しているのか分かりずらく、答えにくいと思いました。
20	ボランティア活動に参加できそうと思う方もいらっしゃると思うが、情報が少なく気付きにくいので、多くの目にふれるように工夫が必要だと思う。
21	障害者目線のアンケート調査も必要かと思いますが、当事者にしかわからない気付きがあると思います。
22	富山県における法定雇用率は、2.36%（令和6年度）となっており、全国47都道府県の内、43位に留まり改善の兆しは見えません。県（市）～労働局の雇用対策において、目に見える実効性のある施策立案を求めます。（代筆）
23	障害者は体力があり、一人の人間である。中には成人男性で、かるがる包丁を振りかざせる人がいる。ボランティア集うのは良いが、理解ない人をあてるのはやめてほしい。介護にまわしてくれ。職場にいれば世話係りを命じられ、こっちが病む。助けてあげるけど自分が死ぬ。今、こんな状態。やさしい人はみんなうつになった。職場にいれるなら、世話する人の同意を得てから、とかの

	条例にしてくれ。現場が死ぬ。人生 30 年ほど障害者につきあったので、私はもう身内しか助けん。あとはしらん。あと、手話の本、子供用の図書館にいてくれ。
24	施設等のハード面、及び障害者雇用の面から、富山市中心部での交流の場を充実させていく方向性が必要。障害者雇用率において、自治体や大学等では、雇用率を引き上げ、働きやすい環境をもっと作っていくことが必要。大学等の高等教育機関に対して、障害者施策に関する課程やコースを検討を促す。
25	74 才なので、手伝いたい気持ちはありますが、反対に手伝ってもらうことにならないとも言えないので。
26	障害者の就労支援施設の賃金を拝見する機会がありましたが、安くてビックリしました。仕事の効率等は低いかもしれませんが、相応の金額だとはとても思えません。
27	一般に障害者施設など、気軽に公開してほしい。
28	祖父は耳がきこえず、口がきけない障害者でした。そのため本人だけでなく、家族も差別があったそうです。でも祖父は自分ができる仕事をしていました。手に職をもち、がんばっていた人でした。今の世の中障害者への理解は広まって、いろいろな福祉があると思います。障害者本人が努力と工夫をしている人もいますが、そうでない人も知っています。正直、どうしたらよいのか分かりません。
29	障害のある、なしではなくて、初めから共生が出来るような建物なり道路なりにしていけば良いのでは。
30	正直、設問自体難しいと思いました。
31	根本的に差別意識が根強いと思う。自分も子供のころからそのように聞かされたので、かなり影響を受けていると思う。また、社会全体で働ける場所が少なすぎると思う。
32	普段障害のある方と接することがないので、このアンケートを通して障害のある方への関わり方を考えたり、権利や法律について知ることができました。一方でいざ障害のある方と関わることになると、惑うことが予想されます。きっと子どもなら尚更そうなると思うので、教育の場でも障害のある方への関わり方や権利等について学ぶ機会があれば良いのかなと思いました。
33	一般の人は障害者の実態について、直接関係している人しか知らないのではないかと。又、スタッフの方々の努力も知らないと思う。もっと広く公報して誰でもが関心を持って接する様にすべきだ。
34	障害者の方が外に出て買物をしたり、旅行をしたりする、そんな世の中になってほしい。ボランティアの人達をたくさん養成し、その方々を助ける。それができたら、と思います。いずれ自分も障害者になるかもと思う。人ごとと思わない。
35	障害者家族との連携、関わり方、個々に違い一様な取り組みに至らないのが現実であり、最も難しい事だと思う。市民誰もが安心な暮らし出来るよう、取り組み願います。
36	障害のある人や支える家族が金銭面で苦勞しない社会になってほしいと願います。所得制限などはなくしてほしいです。
37	身体障害者の方なら手助け等をしてあげれるが、精神障害者の方はこわいというイメージがあり、なるべく関わりたくないとってしまう。
38	今回のアンケートに回答させていただき、行政のほうでこんなにも障害福祉に関して意識をもつ会社を作ろうとしておられることを改めて知りました。
39	障害者の差別なく、偏見の差別のない住みやすい市になれば良いと思います。皆、仲良くくらしつゆけたらと思います。
40	実母が 2 年前に精神障害手帳を申請した。申請するまで“障害者”になるのかと申請に長い時間、躊躇した。申請したことによって得られる恩恵が多くメリットがあるため申請したが、やはり情報を得られる資料が少ないと感じた。“障害”の表示にも違和感がある。ハード、ソフト面どちらも住みやすい環境になることを期待したい。また、自分も協力したいと思う。
41	自立支援医療費制度の更新について住所変更のときなど市役所じゃなくて保健所まで行くのが二度手間。マイナンバーとかにそのような情報は入ってるのか。
42	とても難しいアンケートでした。
43	公共機関や宿泊など、割引がされる場所が増えてくれるとありがたいです。
44	障害者の方に本当に為になることは何か、障害者の方がどう生きているか判る事があれば知る事ができればと思います。
45	それぞれの障害者の希望に合ったそつた施策を行っていくべき。
46	アンケートを記入するだけで、事の大変さを実感しましたが、具体的に参加、実行するには、かなりハードルが高いと思われます。

47	自身、ヘルパーさんに助けてもらっている。更に 101 才の母が老人施設に入居している。以上で生活上いろんな事で外出なし。
48	身内に障害を持って生まれてもう 50 歳を過ぎております。いろいろな方達にお世話になり、只々感謝しております。
49	この先、自分にも必要になるかもしれないと思うので、より充実した施策が整ってくれることを願っております。
50	こんにちは。回答者（母）は高齢なので、意見を聴いて同居している実の息子が代筆しました。（息子の意見の回答ではありません）。ありがとうございました！
51	間違っているかもわかりませんが、障がい者のがいを害と表記することについて最近ひらがなで表すことが多くなってきていると認識しています。その辺りは富山市はどうなのでしょう？アンケートの中にボランティアについての問いが多くありました。転勤の多い仕事についている私にとっては、どのように解答してよいのか、迷いました。その他時間に追われる毎日の中で活動に参加できないことを感じています。あらためて、一人の人としてできることを考えています。
52	障害者という言葉はイメージが良くない。
53	・ここで書かれている“障害者”に関わる仕事をしています。“障害者”にあたる方たちも生きづらさを感じているが、家族も苦しい思いをしている場合もある。家族だけで“つらさ”を抱えている場合もある。家族の悩み等を聞いてもらえる機関がより充実していると、家族の心の不担も軽減され、子ども（障害者）に穏やかに接することができると思う。・車いすなど目に見える障害以外もあることを周知していけたらよいと思う。
54	このアンケートがなかったらまったく関心がなかった。報告活動（このような）は知らない方へのアドバイスとなるのでは。
55	どうしても資本主義の社会では、相互扶助への余白が生活の中に作られにくいのでルールだけでなく、価値観を育てる教育が必要だと思う。
56	色々な障害がありますので勉強をしないと駄目ですね。
57	別にありません。
58	障害者のアンケートを取るのにかまわないが、身体障害と精神障害はまったく違う気がするので、次回は別のくくりで回答欄を用意してほしい。車いすや、目が見えない人への支援はしたいと思うが、自分が被害にあうかもしれない強度行動や高次機能障害は関わるとろくな事がないので、施設内で地域住民の安全を確保してほしい。その際職員には多い給料を払い、人がいなくなる事を防いでほしい。
59	障害者の障害の程度や種類によって対応しなければならないので難しい問題と思います。自然な対応を心がけています。
60	・ボランティアに頼らない。・公務員が障害者をサポートする制度。・関連法や制度の周知、教育。・障害者関連ビジネスへの補助金。
61	自業自得で障害者（主に身体障害者）になった人とそうでない人とを同列で考えるのはいかな物か。
62	「支える人」への育成や支援が必要だと考えます。私自身は町内会に属していないので、町内会に立脚するような施策では参加も協力もやりにくいと思います。
63	市の福祉保健部障害福祉課のあなた自身全員がもっと専門的な人材にならねばならない。もっと学んで下さい。力不足をたずねないで。
64	障害者が安心して利用できることはもちろん、支える職員の方へ負担軽減の仕組みづくりも大切だと思います。ICTによるシステムの活用や障害理解の啓発活動を今後も展開していけたらいいのではと思います。
65	障害者の方がへだたりなく、生活や仕事ができる環境や社会であってほしいと願います。一人一人が優しい気持ちを持つこと、自分の出来る範囲でお手伝いすることが大切。声を掛けることはコミュニケーションを図ります。小さなことで良いから、自分に出来ることをしていきたい。
66	障害のある人を支援する事は良い事です。私も高齢者（70 才）とは言え、参加、協力する気持ちがあります。障害者の方は、どうして貰ったのか、欲しいか等要望も知りたい。
67	家族の中に身体障害者がいたので大変だった。もっともっと社会の理解が深まればよいと思う。
68	障害者の家族の負担少なくしてあげたい。滑川の保育園（[]）では、障害児の子供を保育士が差別している話を聞いたことがある。
69	まずは家族が困らず生活出来る様に！！そして、身近な町内であいさつから声を掛けてほしい。あと、ゴミ捨て場所を安全な場所に設置してほしい。実家の場所は交通量が多く道路わたる場所で大変心配である。

70	いろいろな「障害」があるので一概には言えず行政としても非常に難しいことだと思います。本人とその家族がＱＯＬを保ち生活できることを望みます。私は県外出身ですが、公立の小中学校で身体的、精神的障害がある児童も同じ学校にいて特別学級や授業によっては同じ教室で過ごしていました。自然と相手を気づかったり、手助けをして一緒に学校生活を送り、遊ぶこともありました。世の中には本当にいろいろな人がいるということの子供の頃から経験して知ることは大切だと思います。
71	障害者施策について意見はないが障害者に対しての声かけで障害者が腹を立てて、しゃべっているのを見た事があるが障害者にも教育が必要である。・・・誰も声をかけなくなる。日常的な会話をする様な指導も必要である。
72	障害者が働ける場所が少ない。工賃がやすい。相談員が雇用の面で相談にのってくれない。他県は、障害者の働ける場所が多いのに、富山県は少ない。
73	行政が、障害者、障害者と強調すると、かえって自然に接することが、できない気がする。アンケートとはいえ、この調査の中に「障害」という文字が多すぎて、少しイヤな気持ちになりました。
74	障害者のいる家族への支援。
75	障害者へのサービス提供や拡充など、“あたえる”ことも大事ですが障害者が取得したＥＴＣカードを障害のない家族で利用したり、サービスの不正利用も多く見聞きするので、障害者施策に大幅に予算があてられたりすることに少し抵抗がある。自分のまわりだけかもしれないが、裕福な障害者も多いので現金支給はやめて欲しい。
76	あまりに特別な見方をせず、障害のある方に自立、社会への参加が、気軽にできるようなものであるとよい。また、健常者と障害者の垣根を作らず、共生できる社会を目指して行くと、お互いが過ごしやすいものになると思います。
77	どんどんすすめてほしい。家族及び、皆なの事です。“明日の私”かも。
78	障害者であっても健常者と同じように感情があり、寄り添う姿勢が大事だと思います。

V 資料編

1 アンケート調査票（障害のある市民-身体障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
高山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方々はこの調査票を送らせていただきます。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることはありません。

令和7年11月

高山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分かりにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
- このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問に進んでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日（月曜日）まで**にポストへ投入していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

高山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満 () 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む)
2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
3. 公営住宅
4. グループホーム
5. 福祉入所施設
6. その他 ()

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。

(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8へ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1へ
3. わからない/決められない ⇒ 問8へ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む)
2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
3. 公営住宅
4. グループホーム
5. 福祉入所施設
6. その他 ()

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. できるだけ早く | 2. 5年以内 |
| 3. 10年以内 | 4. 特に考えていない |

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 同居者（家族等）と折り合いが悪いから |
| 2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから |
| 3. 家族に負担をかけたくないから |
| 4. 近隣との関係に不安があるから |
| 5. 今の地域では孤立感があるから |
| 6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから |
| 7. 一人で暮らすのが不安だから |
| 8. 日常生活（食事・入浴・排せつなど）の支援が必要だから |
| 9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから |
| 10. 今後の身体能力や健康に不安があるから |
| 11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから |
| 12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから |
| 13. 公的支援や制度を活用できず施設・住まいの方が安心だから |
| 14. 専門職（支援員、看護師等）が身近にいないと安心だから |
| 15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから |
| 16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから |
| 17. その他（ ） |

問8 あなたの主な介護者（支援者）は、どなたですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------------|---------|-------------|---------|
| 1. 父または母 | ⇒ 問8-1ハ | 2. 夫または妻 | ⇒ 問8-1ハ |
| 3. 子どもやその配偶者 | ⇒ 問8-1ハ | 4. その他の家族 | ⇒ 問8-1ハ |
| 5. 各種ヘルパー | ⇒ 問9ハ | 6. 施設・病院の職員 | ⇒ 問9ハ |
| 7. その他（ ） | ⇒ 問9ハ | | |
| 8. 介助を受けていない | ⇒ 問9ハ | | |

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】

問8-1 介助されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代以上 |

問8-2 あなたが主な介護者（支援者）から介助（支援）を受けられなるときはどうしますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 同居している他の家族や親戚に頼む | 2. 別居している他の家族や親戚に頼む |
| 3. 近所の人や知人に頼む | 4. ボランティアに頼む |
| 5. ホームヘルパーに依頼する | 6. ガイドヘルパーに依頼する |
| 7. 訪問看護師に依頼する | 8. 施設や病院などに依頼する |
| 9. その他（ ） | 10. ひとりですらんとかする |

問9 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありませんか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1. ある ⇒ 問9-1ハ | 2. ない ⇒ 問10ハ | 3. わからない ⇒ 問10ハ |
|---------------|--------------|-----------------|

【問9で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 希望した学校に入学できなかった |
| 2. 希望する仕事に就けなかった |
| 3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い |
| 4. 障害を理由に退職を迫られた |
| 5. 電車や施設の利用を断られた |
| 6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった |
| 7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた |
| 8. 家族が退院を許可しなかった |
| 9. 家族が治療・受診させなかった |
| 10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた |
| 11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された |
| 12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた |
| 13. 食堂やホテルなどで利用を断られた |
| 14. 医療機関から受診や治療を断られた |
| 15. その他（ ） |

あなたの障害の状況について

問10 あなたが持ちの手帳の種類と等級について、該当する番号1つに○をつけてください。

※ただし、障害が重複している方は、主な障がいをもつ選んで○をつけてください。

①視覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
②聴覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 持っていない			
③音声機能・言語機能・そしやく機能障害	1. 3級	2. 4級	3. 持っていない	
④肢体不自由（上肢）	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑤肢体不自由（下肢）	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑥肢体不自由（体幹）	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
⑦内部障害（①～⑥以外）	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 持っていない		
⑧持っていない、わからない				

問11 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。

（○は1つだけ）

1. 区分1	2. 区分2	3. 区分3	4. 区分4
5. 区分5	6. 区分6	7. 受けていない	8. わからない

問12 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 強度行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態）
4. 医療的ケア（日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等を受けることが不可欠）を必要としている
5. いずれにも該当しない

問13 あなたは何により生活費を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 就労（給料・自営業）	2. 家賃などの不動産収入	3. 同居家族による扶養
4. 仕送り	5. 障害年金	6. 障害年金以外の年金
7. 特別障害者手当	8. 生活保護	9. その他（ ）

就労について

問14 仕事や通学の状況は次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1. 仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む）	⇒ 問14-1ハ
2. 仕事はしていない	⇒ 問14-5ハ
3. 通学・職業訓練中	⇒ 問15ハ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。（○は1つだけ）

1. 常勤（正規の職員・社員）	2. 自営業（家の仕事）
3. パート、臨時雇用（派遣社員含む）	4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職	6. その他（ ）

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。（○は1つだけ）

1. 一般募集	2. 学校（卒業時）からの紹介
3. 知人等からの紹介	4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者就業・生活支援センターからの紹介	6. その他（ ）

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。（○は1つだけ）

1. 1年未満	2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満	4. 5年以上

問14-4 仕事のことでも悩んでいることや困っていることがありますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 仕事がむずかしい	2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない	
4. 職場までの通勤が大変	5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない	
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない	
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある	
9. 障害がない人と比べて給料が安い	10. その他（ ）
11. 特に困っていることや悩みはない	

⇒ 問15ハ

【問14で「2. 仕事はしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 働く所がないため | 2. 通勤が困難なため |
| 3. 自分に合った仕事がないため | 4. 高齢のため |
| 5. 病気のため | 6. 重度の障害のため |
| 7. 家事に専念しているため | 8. その他 () |

⇒ 問15へ

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
| 3. わからない | |

問16 障害福祉サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 利用できる回数や日数を増やす |
| 2. 利用したいサービスを受けやすくする |
| 3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする |
| 4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする |
| 5. 利用できる事業所の数を増やす |
| 6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える |
| 7. サービス利用料を安くする |
| 8. サービスの質をよくする |
| 9. サービスについての情報提供を増やす |
| 10. 利用者同士がお互いに安心してサービスを利用しやすい環境をつくる |
| 11. その他 () |
| 12. 特になし |

問17 音声や言語に障害のある人とない人の意思疎通を図るために派遣する手話通訳者あるいは要約筆記者の利用状況と希望を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 利用している | 2. 今は利用していないが、利用したことはある |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したい | 4. 利用したことはないが、今後もしない |

問18 外出時における移動の介護などのお手伝いをする同行支援または移動支援事業の利用状況と希望を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 利用している | 2. 今は利用していないが、利用したことはある |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したい | 4. 利用したことはないが、今後もしない |

外出について

問19 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週3～4回 | 3. 週1～2回 |
| 4. 月1～2回 | 5. 年に数回 | 6. ほとんど外出していない |

問20 あなたが外出する際に、よく利用する移動手段は何ですか。(○は1つだけ)

- | | | | | |
|-----------------|----------------|-------|-------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 電車 | 4. バス | 5. タクシー |
| 6. 自家用車(乗せてもらう) | 7. 自家用車(自分で運転) | | | |
| 8. 施設・事業所の車 | 9. その他 () | | | |

問21 外出するうえで困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. 電車・バスなどの便が悪い | |
| 2. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない | |
| 3. 乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい | |
| 4. 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い | |
| 5. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない | |
| 6. 車などに危険を感じる | 7. まわりが気にかかる |
| 8. 介助してくれる人がいない | 9. 人と話すのがむずかしい |
| 10. ほとんど外出しないのでわからない | 11. その他 () |
| 12. 特に困ることはない | |

災害時について

問22 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。

(あてはまるもの2つまで○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 避難所までの避難方法 | 2. 避難するタイミング |
| 3. 避難所での生活 | 4. 家屋の倒壊や家具などの転倒 |
| 5. 災害情報が分からないこと | 6. その他 () |

問23 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の準備などしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難経路も含め避難場所を確認している
2. 地域の人に助けを頼んである
3. 非常持出し品(水食料,常備薬,医薬品など)を準備してある
4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
6. 杖や車いすなどの福祉用具
7. その他()
8. 特に何もしていない

問24 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、日頃からその情報を地域の方に提供し、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です。

1. どのような制度か知っているが登録していない ⇒ 問24-1ハ
2. 既に登録している ⇒ 問25ハ
3. 全く知らない ⇒ 問25ハ

【問24で「1. どのような制度か知っているが登録していない。」に○をつけた方におたずねします。】

問24-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 支援を必要としていない
2. 個人情報や地域の人に知られるのが嫌だ
3. 登録したいが地域で頼れる人がいない
4. その他()

医療について

問25 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 薬の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他()
12. 特に困っていることはない

相談先について

問26 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 身体障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいかわからない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問27 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問28 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問29 障害や疾病などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。(1つに○)

1. すでに利用している ⇒ 問30ハ
2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい ⇒ 問30ハ
3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない ⇒ 問29-1ハ
4. どのような制度か知らない ⇒ 問30ハ

【問29で「3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない」に○を
つけた方おたずねします。】

問29-1. 利用しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 利用方法がわからない | 2. 相談先がわからない |
| 3. 制度の利用に不安があるから | 4. 親族や自分でなんとかしたい |
| 5. 必要としないため | 6. その他 () |

情報入手等について

問30 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 市の広報 | 2. 市のガイドブック |
| 3. 新聞・雑誌 | 4. テレビ・ラジオ |
| 5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど) | 6. 家族や友人 |
| 7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など | 8. 障害福祉関係事業所・施設 |
| 9. 学校・職場 | 10. 病院などの医療機関 |
| 11. 障害者団体 | 12. 障害者就業・生活支援センター |
| 13. その他 () | 14. 福祉に関する情報を得たことがない |
| 15. 福祉に関する情報を必要としていない | |

問31 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 案内表示がわかりにくい |
| 2. 音声情報や文字情報が少ない |
| 3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない |
| 4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない |
| 5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない |
| 6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手 |
| 7. うまく語や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう |
| 8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける |
| 9. 読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい |
| 10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい |
| 11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない |
| 12. その他 () |
| 13. 特に困ることはない |

福祉施策について

問32 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい |
| 2. 外出 (買物、映画など) の支援をしてほしい |
| 3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい |
| 4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい |
| 5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい |
| 6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい |
| 7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい |
| 8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい |
| 9. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい |
| 10. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい |
| 11. グループホームを整備してほしい |
| 12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい |
| 13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい |
| 14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい |
| 15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい |
| 16. その他 () |
| 17. 特にない |

問33 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかも一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、
12月15日 (月曜日) までに、お近くのポストに投函してください。

2 アンケート調査票（障害のある市民-知的障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。富山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの療育手帳をお持ちの方々にこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決まてございません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分かりにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
 - なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
 - このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
 - 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
 - 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
 - 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。
- <調査票の返信について>
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日（月曜日）**までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満 () 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅 4. グループホーム
5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8へ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1へ
3. わからない/決められない ⇒ 問8へ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅 4. グループホーム
5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までご移住を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く 2. 5年以内
3. 10年以内 4. 特に考えていない

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(〇は3つ)

1. 同居者(家族等)と折り合われないから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 家族に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活(食事・入浴・排せつなど)の支援が必要だから
9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅で生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職(支援員・看護師等)が身近だと安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
17. その他()

問8 あなたの主な介護者(支援者)は、どなたですか。(〇は1つだけ)

- | | | | | |
|--------------|---------|---|--------------|---------|
| 1. 父または母 | ⇒ 問8-1ハ | } | 2. 夫または妻 | ⇒ 問8-1ハ |
| 3. 子どもやその配偶者 | ⇒ 問9ハ | | 4. その他の家族 | ⇒ 問9ハ |
| 5. 各種ヘルパー | ⇒ 問9ハ | } | 6. 施設・病院の職員 | ⇒ 問9ハ |
| 7. その他() | ⇒ 問9ハ | | 8. 介護は受けていない | ⇒ 問9ハ |

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に〇をつけた方におたずねします。】
問8-1 介護されている方は何歳代ですか。(〇は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問8-2 あなたが主な介護者(支援者)から介助(支援)を受けられないときはどうしますか。(〇は1つだけ)

1. 同居している他の家族や縁戚に頼む
2. 別居している他の家族や縁戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護師に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他()
10. ひとりであるとなんとかする

あなたの障害の状況について

問9 あなたが持つ手帳の種類についてお答えください。

- | | | |
|------|------|------|
| 療育手帳 | 1. A | 2. B |
|------|------|------|

問10 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4
5. 区分5
6. 区分6
7. 受けていない
8. わからない

問11 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 強度行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の身体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、降圧吸引等を受けることが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問12 あなたは何により生活費を得ていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 就労(給料・自営業)
2. 家賃などの不動産収入
3. 同居家族による扶養
4. 仕送り
5. 障害年金
6. 障害年金以外の年金
7. 特別障害者手当
8. 生活保護
9. その他

問13 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありますか。(〇は1つだけ)

1. ある ⇒ 問13-1ハ
2. ない ⇒ 問14ハ
3. わからない ⇒ 問14ハ

【問13で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望した学校に入學できなかった
2. 希望する仕事に就けなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 輪流の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった
7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が退院を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された
12. 貸付物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 貸付物件やホテルなどで利用を断られた
14. 図録掲載から受診や治療を断られた
15. その他()

就労・昼間の活動の場について

問14 仕事や通学の状況は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている(就労継続支援・作業所を含む)
2. 仕事をしていない
3. 通学・職業訓練中(学生を含む)

問14-1ハ
問14-5ハ
問14-6ハ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤(正課)の職員・社員
2. 自営業(家の仕事)
3. パート、臨時雇用(派遣社員含む)
4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職
6. その他()

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 一般募集
2. 学校(卒業時)からの紹介
3. 知人等からの紹介
4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者職業生活支援センターからの紹介
6. その他()

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上

問14-4 仕事のことなどで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が好きでない
2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない
4. 職場までの通勤が大変
5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある
9. 障害がない人と比べて給料が安い
10. その他()
11. 特に困っていることや悩みはない

⇒ 問15ハ

【問14で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 働く所がないため
2. 通勤が困難なため
3. 自分に合った仕事がないため
4. 高齢のため
5. 病気のため
6. 重症の障害のため
7. 家事に専念しているため
8. その他

⇒ 問15ハ

【問14で「3. 通学・職業訓練中(学生を含む)」に○をつけた方におたずねします。】

問14-6 平日の昼間はどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

なお、「4. 自宅にいる」に○をつける方はその理由もあわせてお答えください。

1. 高等学校に通っている(特別支援学校を含む)
2. 大学・専門学校・高等技術専門学校(職業訓練校)に通っている
3. 障害福祉サービス事業所等に通所・入所している
4. 自宅にいる(理由:)
5. その他()

問14-7 活動している場について困っていることや不満はありますか。(〇は1つだけ)

1. 施設や学校での理解や配慮が足りない
2. 施設や学校での人間関係が難しい
3. 違うのが大変である
4. その他 ()
5. 特に困っていることや不満などはない

問14-8 学校・施設に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 相談体制を充実させてほしい
2. 能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい
3. 施設・設備・教材等を充実してほしい
4. 医療的ケア(導尿・経管栄養・痰の吸引など)が受けられるようにしてほしい
5. 障害特性の理解と支援
6. その他 ()
7. 特に望むことはない

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(〇は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

問16 障害福祉サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業所の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者が互いに安心してサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他 ()
12. 特にない

問17 外出時における移動の介護などのお手伝いをする行動援護または移動支援事業の活用状況と希望を教えてください。(〇は1つだけ)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない

問18 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(〇は1つだけ)

1. はは毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 単に数回
6. ほとんど外出していない

成年後見制度について

問19 障害や疾病などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。(1つに〇)

1. すでに利用している ⇒問20ハ
2. どのような制度が知っており、今後、制度を利用したい ⇒問20ハ
3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない ⇒問19ハ
4. どのような制度が知らない ⇒問20ハ

【問19で「3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない」に〇をつけた方におたずねします。】

問19-1. 利用しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用方法がわからない
2. 相談先がわからない
3. 制度の利用に不安があるから
4. 親族や自分でなんとかしたい
5. 必要としないため
6. その他 ()

災害時について

問20 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。(あてはまるもの2つまで〇)

1. 避難までの避難方法
2. 避難するタイミング
3. 避難時の生活
4. 家族の避難や家具などの取崩
5. 災害情報がわからないこと
6. その他 ()

問21 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の確認や備蓄物資の準備などしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難経路も含め避難場所を確認している
2. 地域のひとに助けを頼んである
3. 非常持ち出し品(水、食料、常備薬、医薬品など)を準備してある
4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
6. 杖や車いすなどの補助用具
7. その他()
8. 特に何もしてない

問22 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、自身からその情報を地域の芳に提供し、災害時の安全確認や避難誘導等に役立てる制度です

1. どのような制度か知っているが登録してない ⇒ 問22-1A
2. 既に登録している ⇒ 問23A
3. 全く知らない ⇒ 問23A

【問22で「1. どのような制度か知っているが登録してない」に○をつけた方におたずねします。】

問22-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 支援を必要としていない
2. 個人情報を地域のひとに知られるのが嫌だ
3. 登録したいが地域で頼れる人がいない
4. その他()

医療について

問23 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 歯の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他()
12. 特に困っていることはない

相談先について

問24 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 知的障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(精神相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主権
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいか分からない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問25 障害者に対する不当な差別取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。
あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問26 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。
あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

情報入手等について

問27 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど)
6. 家族や友人
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他 ()
14. _____
15. 福祉に関する情報を得たことがない

問28 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手
7. うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける
9. 読むことが難しくかったり、複雑な文章義理がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他 ()
13. 特に関することはない

福祉施策について

問29 あなたが、喜ばしやすくなるために、特にしてほしいこととはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出 (買物、映画など) の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に連した設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他 ()
17. 特になし

問30 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
記入もれがないかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、**12月15日 (月曜日) までに** お近くのポストに投函してください。

3 アンケート調査票（障害のある市民-精神障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
富山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方々はこの調査票を送らせていただきます。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決まらせていません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分かりにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
- このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、回封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月15日（月曜日）**までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満 () 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む）
2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅
4. グループホーム
5. 福祉入所施設
6. その他 ()

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8ハ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1ハ
3. わからない/決められない ⇒ 問8ハ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む）
2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅
4. グループホーム
5. 福祉入所施設
6. その他 ()

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く
2. 5年以内
3. 10年以内
4. 特に考えていない

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

1. 同居者(家族等)と折り合いが悪いから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 家族に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活(食事・入浴・排せつなど)の支援が必要だから
9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職(支援員・看護師等)が身近にいると安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
17. その他()

問8 あなたの主な介護者(支援者)は、どなたですか。(○は1つだけ)

1. 父または母
 2. 夫または妻
 3. 子どもやその配偶者
 4. その他の家族
 5. 各種ヘルパー
 6. 施設・病院の職員
 7. その他()
 8. 介助は受けていない
- ⇒ 問8-1ハ } ⇒ 問8-1ハ
 ⇒ 問9ハ } ⇒ 問9ハ
 ⇒ 問9ハ } ⇒ 問9ハ

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】
 問8-1 介助されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問8-2 あなたが主な介護者(支援者)から介助(支援)を受けられないときはどうしますか。(○は1つだけ)

1. 同居している他の家族や親戚に頼む
2. 別居している他の家族や親戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護師に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他()
10. ひとりですることかする

あなたの障害の状況について

問9 あなたがお持ちの手帳の等級についてお答えください。

- | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|
| 精神障害者保健福祉手帳 | 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
|-------------|-------|-------|-------|

問10 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|-----------|----------|
| 1. 区分1 | 2. 区分2 | 3. 区分3 | 4. 区分4 |
| 5. 区分5 | 6. 区分6 | 7. 受けていない | 8. わからない |

問11 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 強行行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等を受けることが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問12 あなたは何により生活費を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 就労(給料・自営業) | 2. 家賃などの不動産収入 | 3. 同居家族による扶養 |
| 4. 仕送り | 5. 障害年金 | 6. 障害年金以外の年金 |
| 7. 特別障害者手当 | 8. 生活保護 | 9. その他() |

問13 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありませんか。(○は1つだけ)

- | | | | | | |
|-------|----------|-------|--------|----------|--------|
| 1. ある | ⇒ 問13-1ハ | 2. ない | ⇒ 問14ハ | 3. わからない | ⇒ 問14ハ |
|-------|----------|-------|--------|----------|--------|

【問13で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

- 問13-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 希望した学校に入学できなかった
 2. 希望する仕事に就けなかった
 3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
 4. 障害を理由に退職を迫られた
 5. 電車や施設の利用を断られた
 6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった
 7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
 8. 家族が退院を許可しなかった
 9. 家族が治療・受診させなかった
 10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
 11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された
 12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
 13. 食堂やホテルなどで利用を断られた
 14. 医療機関から受診や治療を断られた
 15. その他()

就労について

問14 仕事や通学の状況は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている (就労継続支援・作業所を含む) ⇒ 問14-1へ
2. 仕事をしていない ⇒ 問14-5へ
3. 通学・職業訓練中 ⇒ 問15へ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤 (正規の職員・社員)
2. 自営業 (家の仕事)
3. パート、臨時雇用 (派遣社員含む)
4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職
6. その他()

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 一般募集
2. 学校 (卒業時) からの紹介
3. 知人等からの紹介
4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者就業・生活支援センターからの紹介
6. その他()

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上

問14-4 仕事のことなどで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事がおもしろくない
2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない
4. 職場までの通勤が大変
5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある
9. 障害がない人と比べて給料が安い
10. その他()
11. 特に困っていることや悩みはない

⇒ 問15へ

【問14で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 働く所がないため
2. 通勤が困難なため
3. 自分に合った仕事がないため
4. 高齢のため
5. 病気のため
6. 重度の障害のため
7. 家事に専念しているため
8. その他()

⇒ 問15へ

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

医療について

問23 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 薬の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他 ()
12. とくに困っていることはない

問24 あなたが初めて精神科（神経科・神経内科・心療内科等）で診療を受けたのは何歳頃ですか。

() 歳頃

問25 あなたの病名は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 統合失調症
2. うつ病エピソード
3. 双極性感情障害
4. 広汎性発達障害
5. アルツハイマー病型認知症
6. てんかん
7. 多動性障害
8. 他の不安障害
9. 知らない
10. 答えたくない
11. その他 ()

問26 あなたは現在、精神科（神経科・神経内科等）で治療を受けていますか。

(○は1つだけ)

1. 通院中
2. 入院中
3. 治療を受けていない

問27 あなたはこれまでに精神科（神経科・神経内科・心療内科等）に入院されたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問27-1へ
2. ない ⇒ 問28へ

【問27で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問27-1 入院の回数は通算何回くらいですか。(○は1つだけ)

1. 1回
2. 2～5回
3. 6～10回
4. 11～20回
5. 21回以上

問27-2 入院の期間は通算するとどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上5年未満
5. 5年以上10年未満
6. 10年以上

相談先について

問28 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 身体(知的)障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他 ()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいかわからない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問29 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問30 雇用の分野における障害者に対する差別的禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っていないし、どのような法律かも知っていない
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

情報入手等について

問31 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど)
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他 ()
14. 福祉に関する情報を得たことがない
15. 福祉に関する情報を必要としていない

問32 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手
7. うまく話や質問ができず、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける
9. 読むことが難しくかったり、複雑な文章表現がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他 ()
13. 特に困ることはない

10

福祉施策について

問33 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出 (買物、映画など) の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他 ()
17. 特にない

問34 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、**12月15日 (月曜日) までに** お近くのポストに投函してください。

11

4 アンケート調査票（障害のある市民-障害児）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
 富山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
 同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの身体障害者福祉手帳及び療育手帳をお持ちの方々にこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決してございません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- このアンケートは、お子様の保護者の方が、封筒の宛名のお子様についてご回答ください。保護者が回答できない場合は、ご家族の方や、日頃からお子様の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、封筒の返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月15日【月曜日】**までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
 FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満()歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

()人家族

問5 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む) 2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
 3. 公営住宅 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問6 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問7A 2. 現在と違う場所 ⇒ 問6-1A
 3. わからない/決められない ⇒ 問7A

【問6で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問6-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む) 2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
 3. 公営住宅 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問6-2 問6-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く
2. 5年以内
3. 10年以内
4. 特に考えていない

問6-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

1. 同居者(家族等)と折り合いが悪いから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 家族に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活(食事・入浴・排せつなど)の支援が必要だから
9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職(支援員・看護師等)が身近にいると安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
17. その他()

問7 あなたの主な介護者(支援者)は、どなたですか。(○は1つだけ)

1. 父または母 ⇒ 問7-1ハ
2. 夫または妻 ⇒ 問7-1ハ
3. 子どもやその配偶者 ⇒ 問7-1ハ
4. その他の家族 ⇒ 問7-1ハ
5. 各種ヘルパー ⇒ 問8ハ
6. 施設・病院の職員 ⇒ 問8ハ
7. その他() ⇒ 問8ハ
8. 介護は受けていない ⇒ 問8ハ

【問7で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 介護されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問7-2 あなたが主な介護者(支援者)から介助(支援)を受けられなるときはどうしますか。(○は1つだけ)

1. 同居している他の家族や親戚に頼む
2. 別居している他の家族や親戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他()
10. ひとりでなんとかする

あなたの障害の状況について

問8 あなたがお持ちの手帳の種類と等級について、該当する番号1つに○をつけてください。
 ※ただし、障害が重複している方は、主な障がいをもつ選んで○をつけてください。

また、身体障害者手帳と療育手帳両方をお持ちの方は、両方に○をつけてください。

①視覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
②聴覚障害	1. 2級	2. 3級	3. 4級	4. 6級
	5. 持っていない			
③音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	1. 3級	2. 4級	3. 持っていない	
④肢体不自由(上肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑤肢体不自由(下肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑥肢体不自由(体幹)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
⑦内部障害(①～⑥以外)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 持っていない		
⑧持っていない、わからない				

身体障害者手帳

療育手帳	1. A	2. B
------	------	------

問9 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4
5. 区分5
6. 区分6
7. 受けていない
8. わからない

問10 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 強硬行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、降痰吸引等を受けることが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問11 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問11-1ハ 2. ない ⇒ 問12ハ 3. わからない ⇒ 問12ハ

【問11で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問11-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望した学校に入学できなかった
2. 希望する仕事に就けなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった
7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が退院を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金が引き出されるなど、障害が侵害された
12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 食堂やホテルなどで利用を断られた
14. 医療機関から受診や治療を断られた
15. その他()

就学等の状況や将来について

問12 就学の状況や将来についておたずねします。現在の通園・通学先(在宅訪問教育も含む)は次のうちどれですか(○は1つだけ)

なお、「4. 小学校・小学部」～「6. 高等学校・高等部」に○を付けた方は【】の中もあわせてお答えください。

1. 幼稚園
2. 保育園(認可外保育施設・小規模保育施設・事業所内保育施設等を含む)・認定こども園
3. 児童発達支援施設
4. 小学校・小学部 ⇒【1. 通常の学級 2. 特別支援学級 3. 特別支援学校】
5. 中学校・中学部 ⇒【1. 通常の学級 2. 特別支援学級 3. 特別支援学校】
6. 高等学校・高等部 ⇒【1. 通常の学級 2. 特別支援学校】
7. 専門学校・専修学校・各種学校
8. 職業訓練校
9. 仕事をしている(就労施設・作業所を含む)
10. 小学校入学前のため、自宅にいる
11. その他()

問13 通園・通学などで特に困っていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通うのに付き添いが必要
2. 授業についていけない・よくわからない
3. 設備などが障害のある児童に配慮されていない
4. 学校内・園内での介助が十分でない
5. 友だちがてきない
6. 先生の配慮や生徒たちの理解が得られない
7. 「特別支援学級」に入れてもらえない
8. 「通常の学級」に入れてもらえない
9. 教科指導が十分に受けられない
10. 寄宿舎が利用しにくい
11. その他()
12. 特にない

災害時について

問21 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。

(あてはまるもの2つまで○)

1. 避難所までの避難方法
2. 避難するタイミング
3. 避難所での生活
4. 家屋の倒壊や家具などの転倒
5. 災害情報が分からないこと
6. その他 ()

問22 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の準備などしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 避難経路も含め避難場所を確認している。
2. 地域の人に助けを頼んである
3. 非常持出し品(水食料,常備薬,医薬品など)を準備してある
4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
6. 杖や車いすなどの福祉用具
7. その他 ()
8. 特に何もしていない

問23 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、日頃からその情報を地域の方に提供し、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です。

1. どのような制度か知っているが登録していない ⇒ 問23-1ハ
2. 既に登録している ⇒ 問24ハ
3. 全く知らない ⇒ 問24ハ

【問23で「1.どのような制度か知っているが登録していない。」に○をつけた方におたずねします。】

問23-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 支援を必要としていない
2. 個人情報や地域の人に知られるのが嫌だ。
3. 登録したいが地域で頼れる人がいない
4. その他 ()

医療について

問24 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちよつとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 薬の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大き
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他 ()
12. とくに困っていることはない

相談先について

問25 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 身体(知的)障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他 ()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいかわからない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問26 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問27 雇用の分野における障害者に対する差別的禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

情報入手等について

問28 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど)
6. 家族や友人
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他 ()
14. 福祉に関する情報を得たことがない
15. 福祉に関する情報を必要としない

問29 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手
7. うまく話や質問ができず、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける
9. 読むことが難しくかったり、複雑な文章表現がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他 ()
13. 特に困ることはない

福祉施策について

問30 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがほしい
2. 外出 (買い物、映画など) の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他 ()
17. 特になし

問31 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
記入もれがないかも一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、**12月15日 (月曜日) までに** お近くのポストに投函してください。

5 アンケート調査票（障害のない市民）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
富山市では、障害のある方々の生活全般の向上を目指して、「障害者計画」を策定します。同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内に住所を有する方の中から無作為に抽出してこの調査票を送らせていただきます。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーが漏れることは決してございません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- この調査票は、あて名のご本人がお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問に進んでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、**12月15日（月曜日）**までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
FAX 076-443-2143

あなたのことについておたずねします

問1 あなたの年齢、性別（自認する性別でも可）についておたずねします。

(1) 年齢	満()歳(令和7年11月1日現在)
(2) 性別	1. 男性 2. 女性 3. その他

あなたのお住まいの地域についておたずねします

問2 富山市には、何年住んでいますか（合併前の旧町村の年数も含む）。(○は1つだけ)

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20年以上	

問3 あなたのお住まいの地域では、日頃住民同士が交流できる機会がありますか。

(○は1つだけ)

1. 多くある	2. 多少ある	3. あまりない	4. まったくない
---------	---------	----------	-----------

問4 日常生活をううえで、地域で助け合うことを意識した場合、あなたの考える地域とはどの範囲ですか。(○は1つだけ)

1. 隣近所	2. 町内会	3. 小学校区
4. 中学校区	5. 旧市町村域	6. 富山市全域
7. その他()	8. わからない	

問10 あなたは、障害を理由とした差別を見たことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問10-1へ
 2. ない ⇒ 問11へ
 3. わからない ⇒ 問11へ

【問10において「1. ある」を選んだ方におたずねします。】

問10-1 その差別は、どのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 周囲からの視線、態度、言葉 2. 交通機関利用時の周囲の態度
 3. 仕事での待遇の差 4. 窓口での応対
 5. 学校、職場でのいじめ 6. その他 ()

問11 あなたは、社会全体として障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。(それぞれ○は1つだけ)

	深まって きた	少し 深まって きた	あまり 深まって いない	深まって いない	わからない
身体障害者への理解	1	2	3	4	5
知的障害者への理解	1	2	3	4	5
精神障害者への理解	1	2	3	4	5
発達障害者への理解	1	2	3	4	5
高次脳機能障害者への理解	1	2	3	4	5
強度行動障害者への理解	1	2	3	4	5

問12 あなたは、障害のある方に対する理解を深めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの時から障害のある方との交流の機会を増やす
 2. イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通して障害のある方と市民の交流の機会をもつ
 3. 障害者施設や地域住民への開放や地域住民との交流の機会の促進
 4. 学校教育の中で障害に対する理解を深める
 5. 障害に関する講演会や学習会の開催
 6. テレビ・新聞などを活用した広報活動の充実
 7. 障害者団体の活動をPRする
 8. 障害のある方の地域活動への参加の機会の促進
 9. 障害のある方に対するボランティア活動を育成・支援する
 10. その他 ()
 11. わからない
 12. 特にない

障害のある方との関わりについておたずねします

問13 あなたの身近に障害のある方がいますか(いましたか)。また、それは、どのようなところで関わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身または家族など 2. 自分の職場
 3. 仕事関係(自分の職場以外) 4. 近所、町内会
 5. 学校 6. 趣味などの活動
 7. よく利用するお店 8. その他 ()
 9. わからない 10. 身近にいないし、いたことはない

問14 あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問14-1へ 2. ない ⇒ 問14-2へ

【問14において「1. ある」を選んだ方におたずねします。】

問14-1 それほどのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちよっととした買い物やごみ出し |
| 3. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い | 4. 通院の送迎や外出の手助け |
| 5. 子どもの預かり | 6. 話し相手や相談相手 |
| 7. 具合がよくない時に、病院などに連絡 | 8. 電車・バスでの席のゆずりあり |
| 9. その他 () | |

⇒ 問15へ

【問14において「2. ない」を選んだ方におたずねします。】

問14-2 そのようなことがないのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. そのような機会がなかったから |
| 2. 「おせっかい」になるような気がしたから |
| 3. 障害のある方とのコミュニケーションの方法がわからなかったから |
| 4. 専門家や関係者に任せられた方がよいと思ったから |
| 5. 自分が何を求められているかわからなかったから |
| 6. 関わるのが面倒だったから |
| 7. 自分にとって負担になると思ったから |
| 8. その他 () |

問15 あなたは、将来において自分や家族が、障害のある状態になることがあり得ると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 十分あり得ると思う | 2. ある程度はあり得ると思う |
| 3. あまりあり得ないと思う | 4. ほとんどあり得ないと思う |
| 5. 現在自分や家族に障害がある | 6. わからない |

問16 あなたは、街の中で何が困っている障害のある方に出会ったら、どのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う | 3. ほかの人が何か手伝えば自分も手伝う |
| 2. 声をかけられたら手伝う | 5. 責任が持てないので関わらないようにする |
| 4. 手伝いたい気持ちはあるが勇気がない | 6. 相手の態度による |
| 7. 声をかけられぬように逃げてしまう | 8. その時になってみないとわからない |
| 9. その他 () | |

問17 あなたのご近所で、障害のために困っている世帯があったら、どのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 積極的にお手伝いする |
| 2. できる限りお手伝いする |
| 3. 支援を求められた時はお手伝いする |
| 4. 特に何もしない |
| 5. その他 () |
| 6. よくわからない |

障害のある方の社会参加についておたずねします

問18 あなたのお住まいの地域で開催される行事やイベントなどに、障害のある方は参加していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. よく見かける | 2. 時々見かける |
| 3. あまり見かけない | 4. まったく見かけない |
| 5. 地域の行事やイベントに参加しないのでわからない | |

問19 障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 困っているような場面を見かけたら、一声かけて自分ができる手伝いをする |
| 2. 障害者専用駐車場に駐車しない、点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある方のための施設や設備の利用を妨げないようにする |
| 3. 仕事や地域活動をするうえで、障害のある方のことも考えてみる |
| 4. 障害のある方に関するボランティア活動に参加する |
| 5. 簡単な挨拶ができて話すなどのコミュニケーション方法を身につける |
| 6. 障害疑似体験（アイマススクや車いすを使っての体験）などに参加してみる |
| 7. 病气や障害のことについて理解を深める |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |
| 10. 特にない |

問20 障害のある方が、地域や社会に積極的に参加できるようにするために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 障害のある方への理解を深める
2. 障害のある方が参加できる機会をつくる
3. 障害のある方が使いやすい施設をつくる
4. ボランティアの育成を図る
5. 移動困難な障害のある方に配慮した交通機関、道路・歩道の整備
6. 地域住民が障害のある方を受け入れられるよう、広報や福祉教育を充実する
7. 障害のある方が働ける場を増やす
8. 障害のある方ご本人や家族が社会参加に対して積極性をもつ
9. その他 ()
10. わからない

障害のある方の地域生活についておたずねします

問21 現在あなたがお住まいの地域は、障害のある方にとって住みやすい地域だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 住みやすい } ⇒ 問22ハ
2. やや住みやすい } ⇒ 問21-1ハ
3. やや住みにくい } ⇒ 問22ハ
4. 住みにくい
5. わからない

【問21において「3. やや住みにくい」または「4. 住みにくい」を選んだ方におたずねします。】

問21-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(〇は2つまで)

1. 地域住民の理解が少ない
2. 道路や歩道などの整備が遅れている
3. バリアフリー化された住宅が少ない
4. 障害のある方が利用できる施設が少ない
5. ボランティアなどマンパワーが少ない
6. その他 ()

8

問22 あなたは、障害のある方が、長期に入所（入院）していた施設（病院）を退所（退院）して、あなたのお住まいの地域のグループホームやアパート・借家などを利用し生活する「地域移行」についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

1. 大いに賛成 } ⇒ 問22-1ハ
2. 賛成 } ⇒ 問22-2ハ
3. どちらかというと反対 } ⇒ 問23ハ
4. 反対 } ⇒ 問23ハ
5. わからない

【問22において「1. 大いに賛成」または「2. 賛成」を選んだ方におたずねします。】

問22-1 「地域移行」を進めるには、どのような基盤が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 地域住民の理解と協力
2. 行政機関の支援
3. 医師など専門家の支援
4. ボランティアの支援
5. 町内会や地区社協など地域団体の協力
6. その他 ()

【問22において「3. どちらか」というと反対」または「4. 反対」を選んだ方におたずねします。】

問22-2 その理由は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 近隣トラブルが増えるのではないかな不安
 2. 地域の治安や安全が悪化しないかな不安
 3. いろいろな方がいるので一概にいえない
 4. 騒音やマナーの面で心配
 5. 地域の行事や活動に参加しにくくなるのではないかな不安
 6. 専門的な支援や対応が十分にあるかな不安
 7. 緊急時やトラブルが起きたときに対応できるかな不安
 8. その他 ()
 9. 特にない
- ⇒ 問23ハ

ボランティアについておたずねします

問23 あなたは、「ボランティア」に関心がありますか。(〇は1つだけ)

1. 大変関心がある
2. 関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

9

問24 あなたは、障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか）。(○は1つだけ)

1. 参加している（参加したことがある） 2. 参加したことがない

問25 あなたは、今後障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 参加したい（現在、参加している） ⇒ 問25-1へ
 2. 参加したくない ⇒ 問25-2へ
 3. わからない ⇒ 問26へ

【問25において「1. 参加したい（現在、参加している）」を選んだ方におたずねします。】
 問25-1 あなたが、障害のある方に関わるボランティア活動で、今後参加したいと思う（あるいは、現在参加している）ものはどれですか。
 （あてはまるものすべてに○）

1. 話し相手や相談相手
 2. 外出時の付き添い
 3. 外出時の送迎（移送ボランティアなど）
 4. スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流
 5. 家族が外出した時の託児・見守り
 6. 手話通訳、要約筆記
 7. 本や情報誌などの点訳や朗読
 8. 募金活動
 9. 家や庭の手入れ
 10. 買い物や諸手続きの代行
 11. 介助者が緊急で不在の時の支援
 12. 家事の手伝い
 13. 地震などの災害時の連絡や支援
 14. その他（ ）
 ⇒ 問26へ

【問25において「2. 参加したくない」を選んだ方におたずねします。】

問25-2 その理由は何ですか。(○は1つだけ)
 1. 障害のある方と多く関わられるか不安である
 2. 何をしたらよいかわからない
 3. 時間がない
 4. 関心がない
 5. その他（ ）
 ⇒ 問26へ

問26 障害のある方に関わるボランティア活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 情報提供や相談窓口の充実
 2. 学校などでボランティア学習・体験活動を行う
 3. 入門講座、障害者体験、手話・点字などの専門講座の開催
 4. ボランティア同士の交流の促進
 5. 保険加入や交通費などの実費支給
 6. ボランティアアクトグループ、NPO団体などの育成
 7. ボランティア活動者への感謝状やマスメディアでの紹介など社会的な評価
 8. ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備
 9. その他（ ）
 10. わからない

障害のある方の権利擁護についておたずねします

問27 障害や疾病などにより判断能力が十分でない方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. どのような制度か知っている
 2. 制度について聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない
 3. 全く知らない

問28 障害者虐待防止法では、家族、施設の職員、雇用主から障害者が虐待を受けていることに気づいた人は、市の窓口に通報することが義務付けられています。高山市の通報窓口は、障害福祉課の「障害者虐待相談窓口」です。あなたは、「障害者虐待に気づいた人の通報義務」について知っていますか。(どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問29 障害者施策に関するご意見、ご要望などがあれば、自由にご記入ください。

（ここに記入欄が用意されています）

調査にご協力いただき大変ありがとうございます。

記入漏れがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
 12月15日（月曜日）までに お近くのポストに投函してください。

富山市障害福祉に関するアンケート調査報告書

発行年月：令和8年3月

発行者：富山市福祉保健部障害福祉課

発行者：〒930-8510

富山県富山市新桜町7番38号

TEL 076-443-2056

FAX 076-443-2143

URL <https://www.city.toyama.lg.jp/>